

arrows We

User Guide 取扱説明書 詳細版 Android 13 対応版

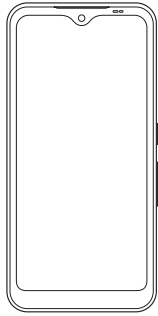
はじめに

ごあいさつ

このたびは、「arrows We」(以下、「本製品」または「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
『取扱説明書 詳細版 Android 13 対応版』(本書)は、Android™ 13へのOSアップデート後の内容について記載しています。OSアップデートをされていない場合、本製品に付属する『クイックスタートガイド』『ご利用にあたっての注意事項』およびauホームページに掲載の『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

同梱品一覧

ご使用いただく前に、次の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。
・本体



- ・クイックスタートガイド(Android 13 非対応版)
- ・ご利用にあたっての注意事項(Android 13 非対応版)

次のものは同梱されていません。

- ・microSDメモ리카ード
- ・ACアダプタ
- ・イヤホン
- ・USB Type-C®ケーブル

memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■ 『クイックスタートガイド』『ご利用にあたっての注意事項』
OSアップデート前の必要な情報や注意事項を説明しています。OSアップデート後の操作やさまざまな機能のより詳しい説明については、『オンラインマニュアル Android 13 対応版』やauホームページより『取扱説明書 詳細版 Android 13 対応版』(本書)をご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

■ 『オンラインマニュアル』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル』は、本製品から次の操作でご確認できます。

ホーム画面で画面を上をスライド→[取扱説明書]



また、『オンラインマニュアル』はauホームページからもご確認できます。
<https://www.au.com/online-manual/fcg01/>

■ 『取扱説明書 詳細版』

Android 13へのOSアップデート後のさまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版 Android 13 対応版』(本書)は、auホームページでご確認いただけます。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website.

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています。

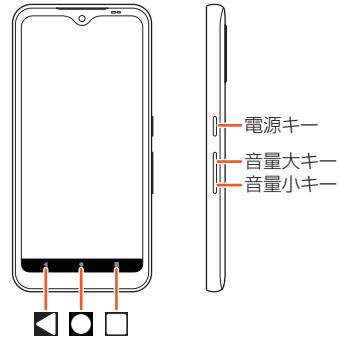
Download URL:

<https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■ 項目/アイコン/ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、メニューの項目/アイコン/画面上のボタンなどをタップ(▶P.22)する操作を、[(項目などの名称)]と省略して表記しています。本書では、操作手順を次のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面で[🏠]→[🔍]→[1][4][1]→[🔍]	ホーム画面下部の🏠をタップし、表示される画面で🔍をタップします。続けて1、4、1をタップして、最後に🔍をタップします。
ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]	ホーム画面で画面を上をスライドし、表示される画面で🔧をタップします。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書は特に記載のある場合を除き、auのSIMカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法などの説明内容となります。

本書に記載されているイラスト・画面は、実際のイラスト・画面とは異なる場合があります。

また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

実際の画面



本書の表記例



memo

- ◎ 本書では、『クイックスタートガイド』『ご利用にあたっての注意事項』『取扱説明書 詳細版 Android 13 対応版』(本書)を総称して『取扱説明書』と表記します。
- ◎ 本書は、Android 13の内容で記載しています。
- ◎ 本書では、本体カラー「ローズゴールド」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では、「microSD™メモ리카ード(市販品)」「microSDHC™メモ리카ード(市販品)」「microSDXC™メモ리카ード(市販品)」の名称を「microSDメモ리카ード」と省略しています。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

はじめに	1
ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	1
目次	2
注意事項	5
注意事項	6
本製品のご利用について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
材質一覧	9
取り扱い上のご注意	9
防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意	11
ご使用にあたっての注意事項	11
充電のときは	12
洗いかたについて	12
水に濡れたときの水抜きについて	12
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について	13
2.4GHz帯ご使用上の注意	13
5GHz帯ご使用上の注意	13
各種暗証番号/PINコードについて	13
各種暗証番号について	13
PINコードについて	13
データ通信料についてのご注意	14
通話料についてのご注意	14
アプリケーションについて	14
アプリの権限を設定する	14
マナーも携帯する	14
ご利用の準備	15
ご利用の準備	16
各部の名称と機能	16
SIMカードについて	17
SIMカードを取り付ける/取り外す	17
SIMカードを取り付ける	17
SIMカードを取り外す	17
充電する	18
ACアダプタを使って充電する	18
パソコンを使って充電する	18
電源を入れる/切る	18
電源を入れる	18
電源を切る	18
強制的に電源を切る	18
強制的に再起動する	18
画面をロックする/画面ロックを解除する	19
画面をロックする	19
画面ロックを解除する	19
初期設定を行う	19
Google アカウントをセットアップする	19
イヤホンを使用する	19
基本操作	21
基本操作	22
タッチパネルの使いかた	22
ナビゲーションバーの使いかた	22
ホーム画面を利用する	22
ホーム画面のメニューを利用する	23
ホーム画面のアイコンを移動する	23
ウィジェットを利用する	23
ショートカットを利用する	23
フォルダを利用する	23
ホーム画面を切り替える	23
アプリを起動する	23
最近使用したアプリを表示する	23
本製品の状態を知る	24
アイコンの見かた	24
通知パネルについて	24
パネルスイッチについて	25
本製品内やWebページを検索する	25
音声で入力して検索する	25
画像を撮影して検索する	25
縦/横画面表示を自動で切り替える	25
マナーモードを設定する	25
マナーモード(バイブあり)を設定する	25

マナーモード(バイブなし)を設定する	25
メニューを表示する	26
設定を切り替える	26
データを複数選択する	26
表示されている画面を撮影する	26
分割画面を利用する	26
指紋認証機能	27
指紋認証機能を利用する	27
指紋認証利用時のご注意	27
指紋センサー利用時のご注意	27
指紋を登録する	27
指紋認証を行う	27
FASTフィンガーランチャーを利用する	27
スライドイン機能	28
スライドイン機能の使いかた	28
スライドインランチャーを利用する	28
キャプメモを利用する	28
なぞってコピーを利用する	28
防犯ツール	28
緊急時ブザーを利用する	28
イミテーションコールを利用する	28
文字入力	29
文字を入力する	29
ソフトウェアキーボードについて	29
Super ATOK ULTIASの設定	29
文字入力のしかた	29
テンキーキーボードの入力方式	29
テキストを編集する	30
文字入力の設定をする	30
電話・連絡先	31
電話	32
電話をかける	32
履歴を利用して電話をかける	32
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)	32
電話を受ける	32
着信に伝言メモで応答する	33
着信を拒否する	33
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する	33
伝言メモを利用する	33
自分の電話番号を確認する	33
連絡先	33
連絡先について	33
連絡先に登録する	33
連絡先から電話をかける	33
連絡先を編集する	33
連絡先を削除する	33
メール	35
メール	36
メールについて	36
auメール	36
auメールのご利用にあたって	36
auメールの初期設定について	36
auメールを利用する	36
auメールの利用方法を確認する	36
迷惑メールフィルターを設定する	36
UQ mobileメール	37
UQ mobileメールのご利用にあたって	37
メールサービスの初期設定について	37
迷惑メールフィルターを設定する	37
+メッセージ(SMS)	38
+メッセージについて	38
+メッセージのご利用にあたって	38
+メッセージのモードについて	38
+メッセージの利用方法を確認する	38
連絡先を登録する	38
公式アカウントを登録する	38
メッセージを送信する	38
グループを作る・グループに送信する	38
+メッセージを設定する	38
ブロックリストを設定する	39
公式アカウントとのやりとりをブロックする	39
Gmail	39
Gmail を起動する	39
Gmail を送信する	39
Gmail を受信する	39

インターネット	41	USB Type Cケーブルでパソコンと接続する.....	57
インターネット接続.....	42	メモリの使用量を確認する.....	57
インターネットに接続する.....	42	microSDメモリカードをフォーマットする.....	57
データ通信を利用する.....	42	ファイルを利用する.....	57
Chrome™	42	本体内のファイルをmicroSDメモリカードにコピーする.....	57
Webページを表示する.....	42	データ通信	59
タブを利用する.....	42	Bluetooth®機能.....	60
ページ内のテキストを検索する.....	42	Bluetooth®機能を利用する.....	60
ページ内のテキストをコピーする.....	43	Bluetooth®機能をONにする.....	60
ページ内の画像をダウンロードする.....	43	Bluetooth®機器を登録する.....	60
リンクを操作する.....	43	Bluetooth®でデータを送受信する.....	60
ブックマーク／履歴を利用する.....	43	Bluetooth®でデータを送信する.....	60
ブックマークに登録する.....	43	Bluetooth®でデータを受信する.....	60
ブックマークを開く.....	43	無線LAN(Wi-Fi®)機能	61
履歴を確認する.....	43	無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する.....	61
履歴を削除する.....	43	無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする.....	61
ツール・アプリケーション	45	無線LAN(Wi-Fi®)機能をOFFにする.....	61
アプリ.....	46	Wi-Fi®ネットワークに接続する.....	61
アプリ一覧.....	46	Wi-Fi®の設定をする.....	61
カメラ.....	47	接続中のWi-Fi®ネットワークの設定を削除する.....	61
カメラをご利用になる前に.....	47	テザリング機能.....	62
撮影画面の見かた.....	47	テザリングについて.....	62
静止画を撮影する.....	48	Wi-Fi®テザリング機能を利用する.....	62
動画を撮影する.....	48	Bluetooth®テザリング機能を利用する.....	62
Live Auto Zoomで撮影する.....	48	USBテザリング機能を利用する.....	62
カメラの撮影設定.....	48	イーサネットテザリング機能を利用する.....	62
QRコードを読み取る.....	49	機能設定	63
画像や動画を再生する.....	49	機能設定.....	64
NFC／おサイフケータイ®.....	50	設定メニューを表示する.....	64
おサイフケータイ®とは.....	50	設定メニューを起動する.....	64
おサイフケータイ®のご利用にあたって.....	50	ネットワークとインターネットの設定をする.....	64
リーダー／ライターとデータをやりとりする.....	50	モバイルネットワークに関する設定をする.....	64
NFC機能を設定する.....	50	機内モードをONにする.....	64
画面ロック連動機能を設定する.....	50	VPNを利用する.....	65
FeliCa®に対応したサービスを利用する.....	50	接続済みのデバイスの設定をする.....	65
My au.....	51	アプリの設定をする.....	65
My auを利用する.....	51	アプリの管理をする.....	65
My UQ mobile.....	51	通知の設定をする.....	66
My UQ mobileを利用する.....	51	バッテリーの設定をする.....	66
あんしんフィルター for au.....	51	ストレージの設定をする.....	66
あんしんフィルター for auを利用する.....	51	表示の設定をする.....	66
管理者情報を登録する.....	52	画面の明るさを設定する.....	66
管理者ページを利用する.....	52	画面の消灯までの時間を設定する.....	66
Android アプリ	52	ロック画面の表示を設定する.....	67
Google Play を利用する.....	52	くっきり表示を利用する.....	67
アプリケーションを検索してインストールする.....	52	スクリーンセーバーを設定する.....	67
Google Play のアプリの削除.....	52	音の設定をする.....	67
アプリケーションを管理する.....	52	音量を設定する.....	67
提供元不明のアプリケーションをダウンロードする.....	52	通話に関する設定をする.....	68
アプリをアンインストールする.....	52	ユーザー補助の設定をする.....	68
時計.....	53	セキュリティの設定をする.....	69
時計を利用する.....	53	画面ロックの解除方法を設定する.....	69
らくらくコミュニティ.....	53	arrows passportを利用する.....	69
らくらくコミュニティを利用する.....	53	Smart Lockを利用する.....	69
radiko+FM.....	53	SIMカードロックを設定する.....	70
ラジオを聴く.....	53	PINコードを変更する.....	70
ララしあコネクト.....	53	利用アプリを固定する.....	70
ララしあコネクトを利用する.....	53	プライバシーの設定をする.....	70
ララしあコネクトでの測定.....	53	位置情報の設定をする.....	70
FASTメモ.....	54	緊急情報と緊急通報の設定をする.....	70
FASTメモを起動する.....	54	arrows オススメ機能.....	71
FASTメモを確認する.....	54	FAST Appドライブを利用する.....	71
FASTウォレット.....	54	スライドイン機能を設定する.....	71
お店を登録する.....	54	迷惑電話対策機能を利用する.....	71
FASTウォレットを利用する.....	54	緊急時ブザーを設定する.....	71
かんたんお引越し.....	54	オンラインコミュニケーションマネージャーを利用する.....	72
かんたんお引越しを利用する.....	54	ジュニアモードを設定する.....	72
ゲームゾーン.....	54	パスワードとアカウントの設定をする.....	72
ゲームゾーンを利用する.....	54	アカウントを追加する.....	72
ファイル管理	55	システムの設定をする.....	73
ファイル管理.....	56	言語と入力に関する設定をする.....	73
本製品の保存領域について.....	56	歩数計を利用する.....	73
microSDメモリカードを利用する.....	56	日付と時刻の設定をする.....	74
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す.....	56	本製品をリセットする.....	74
microSDメモリカードを取り付ける.....	56	デバイス情報に関する設定をする.....	74
microSDメモリカードを取り外す.....	57		

auのネットワークサービス..... 75

auのネットワークサービス	76
auのネットワークサービスについて	76
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	76
着信お知らせサービスについて	76
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	76
応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)	76
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	76
着信転送サービスを停止する	76
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	77
電話番号を通知する	77
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	77
番号通知リクエストサービスを開始する	77
番号通知リクエストサービスを停止する	77
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	77
お留守番サービスEXについて	77
お留守番サービス総合案内(141)を利用する	77
応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)	77
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	78
お留守番サービスを停止する	78
電話をかけてきた方が伝言を録音する	78
ボイスメールを録音する	78
伝言お知らせについて	78
伝言・ボイスメールを聞く	78
応答メッセージの録音/確認/変更をする	78
伝言の蓄積を停止する(不在通知)	79
伝言の蓄積停止を解除する	79
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	79
英語ガイダンスへ切り替える	79
日本語ガイダンスへ切り替える	79
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	79
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	79
割込通話サービスを開始する	79
割込通話サービスを停止する	80
割込通話を受ける	80
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	80
撃退する電話番号を登録する	80
登録した電話番号を全件削除する	80
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	80

海外利用 81

海外利用	82
au世界サービスについて	82
海外利用に関する設定を行う	82
データ通信を利用する	82
海外でVoLTEを利用する	82
渡航先で電話をかける	82
渡航先で電話を受ける	82
お問い合わせ方法	83
海外からのお問い合わせ	83
海外でのご利用上の注意	83

付録・索引..... 85

付録	86
ソフトウェアを更新する	86
ソフトウェアをダウンロードして更新する	86
故障とお考えになる前に	86
アフターサービス	87
遠隔操作サポート	87
遠隔操作サポートを利用する	87
位置検索サポート	87
位置検索サポートを利用する	87
位置検索をご利用いただくにあたって	87
SIMロック解除	87
周辺機器	88
主な仕様	88
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	88
Declaration of Conformity	89
Federal Communications Commission (FCC) Notice	89
FCC RF Exposure Information	89
輸出管理規制	90
知的財産権について	90
索引	91

注意事項

注意事項.....	6
本製品のご利用について.....	6
安全上のご注意(必ずお守りください).....	6
材質一覧.....	9
取り扱い上のご注意.....	9
防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意.....	11
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	13
各種暗証番号/PINコードについて.....	13
データ通信料についてのご注意.....	14
通話料についてのご注意.....	14
アプリケーションについて.....	14
アプリの権限を設定する.....	14
マナーも携帯する.....	14

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」(▶P.86)で症状をご確認ください。

または、次のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。(ただし、5G/LTE/WiMAX 2+/GSM/LUMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています。)
- 日本国内の緊急通報受付機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。
- 本製品はau世界サービスに対応しておりますが、「取扱説明書」で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼働状況の把握」のために、お客さまが利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる随時的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の計測センサーやGPSにより得られる測位などの情報は、あくまで目安となり、高度な信頼性を必要とする目的でのご利用はできません。測位の誤差による損害および逸失利益に関して、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはパソコンのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因に関わらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先や画像/動画などのデータは、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されている静止画/動画データや音楽データは、パソコンやクラウドサービスなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品を含む)の回収にご協力ください。auショップ/au Styleなどで本製品の回収を行っております。

※本書で表す「当社」とは、次の企業を指します。

発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元: FCNT株式会社

memo

- 「取扱説明書」の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 「取扱説明書」の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- OSの仕様変更やサービスの変更・終了などにより一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- 「取扱説明書」の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} 」を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} 」を負う可能性が想定される内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。

*1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

*2 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

*3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水/防塵性能については、「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」(▶P.11)をご参照ください。

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については、「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」(▶P.11)をご参照ください。

本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする

・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む

・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

・電車やバスなどの座席シートに挟み込む

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

本製品の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については、「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」(▶P.11)をご参照ください。

充電端子やUSB Type-C接続端子、ステレオイヤホン端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については、「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」(▶P.11)をご参照ください。

オプション品は、auが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 充電端子やUSB Type-C接続端子、ステレオイヤホン端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。
- お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、充電端子、外部接続端子、マイク、スピーカー部に入らないようにしてください。
本製品の破損により、けが、感電などの原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 可燃性ガスが発生する可能性がある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
- ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
- 使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
 - 電源プラグをコンセントから抜く。
 - 本製品の電源を切る。上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
バイブレーション設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水/防塵性能については、「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」(▶P.11)をご参照ください。
- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
microSDメモリーカード/SIMカードのトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
- 本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さまの体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- フラッシュ/ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
- 自動車などの運転者に向けてフラッシュ/ライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。
- 点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。
- 本製品内のmicroSDメモリーカード/SIMカード挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、microSDメモリーカードやSIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ブザーを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。
難聴など耳への障害の原因となります。
- 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。
- 心臓の弱い方は、着信バイブレーション(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレーション(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
- ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。
不要となった本製品は、auショップ/au Styleなど窓口をお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。



本製品のアウトカム部、受話口部、スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



■ 充電用機器について



警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定の充電用機器(別売)のケーブルが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。



コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)のケーブルの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)に変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手で指定の充電用機器(別売)のケーブルや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタ(別売)で充電してください。



誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ(別売): AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ(別売): AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かすに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。



注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。



■ SIMカードについて



注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。



■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について



警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。



電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。



電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。



付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。



電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材料	表面処理
ディスプレイパネル	強化ガラス	AFコーティング
外装ケース	PA-GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装背面	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
受話口	PET	—
アウトカメラパネル	強化ガラス	—
電源キー、音量大キー／音量小キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
microSDメモリーカード／SIMカード挿入口の スロットキャップ(キャップ本体)	PC-GF樹脂+SUS	アクリル系UV硬化塗装処理
microSDメモリーカード／SIMカード挿入口の スロットキャップ(キャップ本体パッキン部)	シリコンゴム	—
microSDメモリーカード／SIMカードトレイ	PC-GF樹脂+SUS	—
ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子	PA樹脂	—
銘板プレート(プレート)	PCシート	—
銘板プレート(バーコード)	PET	—
指紋センサー	エポキシ樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れて、中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部機器をUSB Type-C接続端子、ステレオイヤホン端子に差しした状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、microSDメモリーカード／SIMカード挿入口のスロットキャップをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、指定の充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままmicroSDメモリーカード／SIMカード挿入口のスロットキャップの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の範囲内では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
 - ・本製品本体
 - ・SIMカード(本製品本体装着状態)
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・充電用機器
 - ・周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- USB Type-C接続端子、ステレオイヤホン端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてUSB Type-C接続端子、ステレオイヤホン端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 本製品はアルコール除菌シート・スプレーを使用し、噴霧または拭き取りにより、本製品の消毒や一定量のウイルス除去ができます。^{*1}
本製品を除菌・消毒する際には、誤動作防止のため画面を消してから行ってください。
スプレーをご使用の場合は、本製品から5cm程度離し、霧かきで噴霧して拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。アルコール除菌シートまたは液剤を浸み込ませたキッチンペーパーをご使用の場合は、製品を拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。
除菌・消毒の詳細については「FCNT株式会社のWebサイト」をご覧ください。
<https://www.fcnt.com/support/clean/>
 - ・使用できる薬剤等は以下のとおりです。
アルコール^{*2}、次亜塩素酸水、界面活性剤(台所用洗剤)、界面活性剤(家具用洗剤)。ただし、塩素や塩素系添加物の含有量が0.05wt/v%以下の液剤をご使用ください。
^{*1} 厚生労働省「経済産業省」独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)「消費者庁発表の消毒方法をもとに、FCNT株式会社試験方法により検証実施済み(本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての消毒用製品・洗剤で洗えることを保証するものではありません)。
^{*2} 市販のアルコール(エタノール)消毒液およびアルコールタイプ(エタノール)のウェットティッシュ。

- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中や充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反となります。
- USB Type-C接続端子、ステレオイヤホン端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などでおおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やパイプレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップ／au Styleもしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明など、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定などを受けており、その証として、「技適マーク」が本製品内で確認できるようになっております。
確認方法: ホーム画面で画面を上へスライド→[設定]→[デバイス情報]→[規制ラベル]
本製品の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴がつくことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリーカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 明るさ／近接センサーを指でふさいだり、明るさ／近接センサーの上にシールなどを貼り付けたりすると、周囲の明暗に明るさ／近接センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 明るさ／近接センサーの上にシールなどを貼り付けると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常になく、操作が行えなくなることがありますのでご注意ください。
- 通常はmicroSDメモリーカード／SIMカード挿入口のスロットキャップを閉めた状態で使用してください。microSDメモリーカード／SIMカード挿入口のスロットキャップを開けずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- USB Type-C接続端子、ステレオイヤホン端子、microSDメモリーカード／SIMカード挿入口、受話口、送話口／マイク、スピーカー、セカンダリマイクなどに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口／マイク、スピーカー、セカンダリマイクなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。

- 操作方法や使用環境によっては、本製品の温度が高くなる場合があります。その際には安全のため、充電が停止されたり、画面の明るさが調整される場合があります。また、本製品の温度が高い状態が続くときは、警告画面が表示され、本製品の電源が切れる場合があります。

- カメラ使用時には、本製品の温度が高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され自動終了する場合があります。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・手袋をしたままでの操作
 - ・爪の先での操作
 - ・異物を操作面にのせたままでの操作
 - ・保護シートやシールなどを貼り付けての操作
 - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・水中での操作
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼り付けると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づくと、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。



- 夏期、閉めきった自動車(車内)に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用になれる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いときや内蔵電池が膨れているときなど、機能が回復せず劣化している場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップ/au Styleなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池の残量表示は、劣化度や使用環境、使用状況により数値をまたぐような変化になる事があります。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)のケーブルをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタとケーブルの接続部を無理に曲げたりしないでください。アダプタやケーブルの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ SIMカードについて

- SIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードにシールなどを貼り付けしないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- SIMカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

本製品は、microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップが完全に装着された状態でIPX5相当^{*1}、IPX8相当^{*2}の防水性能およびIP6X相当^{*3}の防塵性能を有しております。また、MIL規格に準拠する試験^{*4}をクリアした耐衝撃性能を実現しております。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

^{*1} IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての機能を保つことです。

^{*2} IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての機能を保つことです。

^{*3} IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

^{*4} 米国国防総省が制定したMIL-STD-810H Method 516.8 Procedure IVに準拠した独自の落下試験を実施しています。

^{*} 日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客さまの取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップをしっかり閉じた状態にしてください。完全に閉まっていることで防水／防塵性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態でのmicroSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口／マイク、スピーカー、セカンドマイクなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- 風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るものそばには置かないでください。また、衣服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 受話口、送話口／マイク、スピーカー、セカンドマイクに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 業務用・無添加・アルカリ性の泡ハンドソープあるいは業務用・無添加・アルカリ性の食器用洗剤は使用しないでください。本体が変色するおそれがあります。
- 指定(▶P.12)以外の石鹸、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔剤、メイク落とし、歯磨き粉などで洗わないでください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。
- 風呂場で使用できます。
 - 風呂場でご使用後は、所定の方法(▶P.12)で水抜きしてください。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落ちてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法(▶P.12)で水抜きしてください。
 - 温泉や指定(▶P.12)以外の石鹸、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、洗い流してください。洗いかたについては、「洗いかたについて」(▶P.12)をご参照ください。
 - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%でご使用ください(ただし、温度36℃以上または湿度86%以上は一時的な使用に限ります)。なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
 - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。
 - 寒いところから暖かい風呂場などに本製品を持ち込むと、急激な温度変化でディスプレイやケース表面に結露が発生する場合があります。結露によりディスプレイが見にくくなったり、タップ操作がしにくくなったりした場合は、本製品が常温になるまでお待ちください。
- 本製品は、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使って洗うことができます(FCNT株式会社試験方法による)。上記以外(固形石鹸や粉末石鹸など)は使用しないでください。
- 洗いかたについては「洗いかたについて」(▶P.12)をご参照ください。

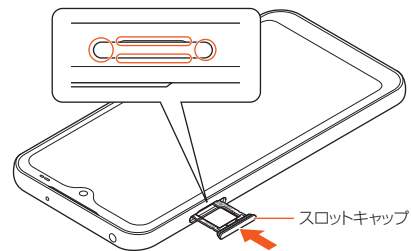
^{*} 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡タイプのハンドソープあるいは液体タイプの食器用洗剤で洗えることを保証するものではありません。

microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップについて

- microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップはしっかりと閉じた状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。
- microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップに劣化・破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。

microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップの閉じかた

- microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込み、○部分をしっかりと押します。本体とmicroSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。



水以外が付着した場合

- 万一、水以外(海水・洗剤・アルコール・ジュースなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップが開かないように押さえながら手で洗ってください。

水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したまま使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

ゴムパッキンについて

- microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップ周囲のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷つけたり、はがしたりしないでください。
- microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷つき、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。
- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性を維持できなくなる場合があります。
- microSDメモリカード／SIMカード挿入口のスロットキャップのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷ついたりするおそれがあり、水や粉塵が侵入する原因となります。

部品の交換について

- 防水／防塵性能を維持するための部品は、異常の有無に関わらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップ／au Styleまでご連絡ください。

耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

充電のときは

オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから充電してください。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災・やけど・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。火災・やけど・感電・故障の原因となります。

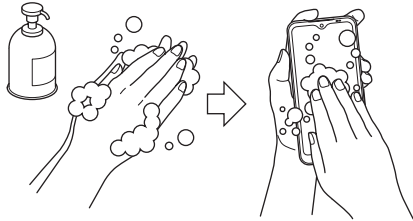
洗いかたについて

本製品を洗う場合には注意事項をご確認の上、次の手順で行ってください。

- 市販のアクセサリ商品(端末カバー、ケースなど)は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外(固形石鹸や粉末石鹸など)は使用しないでください。
- 塩素や塩素系添加物の含有量が0.05w/v%以下の液剤をご使用ください。
- 食器用洗剤を使用する場合は、各製品の使用上の注意をよくお読みの上、使用量の目安を守って洗ってください。
- 本製品に、食器用洗剤の原液を直接つけないでください。原液がついた場合はすぐに水で洗い流してください。
- 本製品を洗う際は、腕時計、指輪、付け爪などの装飾品は外してください。本体に傷がつくおそれがあります。
- 本製品を洗う際は、電源を切ってから行ってください。
- microSDメモリーカード／SIMカード挿入口のスロットキャップはしっかりと閉じてください。

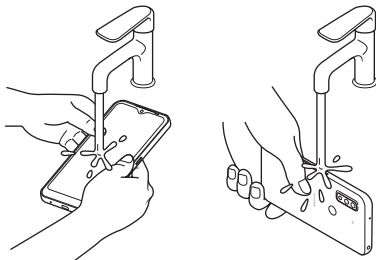
① 泡ハンドソープまたは食器用洗剤を手にとり泡立てたあと、本製品を手のひらに乗せ、正面と背面を泡でこするよう洗ってください。

- microSDメモリーカード／SIMカード挿入口のスロットキャップが開かないように押さえたまま洗ってください。



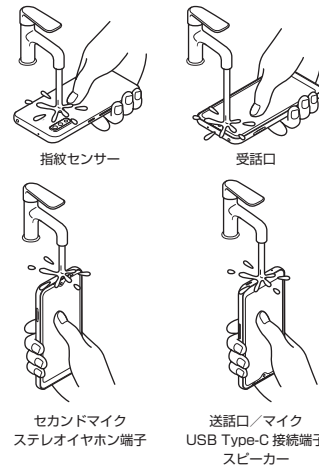
② 正面、背面、各キーなど、本製品について泡が完全になくなるまですすいでください。

- やや弱めの水流(6リットル/分以下、常温の水道水)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗ってください。
- microSDメモリーカード／SIMカード挿入口のスロットキャップの開閉はしないでください。
- microSDメモリーカード／SIMカード挿入口のスロットキャップに直接水をかけないでください。



③ 指紋センサー、受話口、セカンドマイク、ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、USB Type-C接続端子、スピーカーをすすいでください。

- セカンドマイク、受話口、送話口／マイク、スピーカーに泡ハンドソープや食器用洗剤の成分が残っていると目詰まりが発生し、着信音や通話時の音質が低下するおそれがあります。また、USB Type-C接続端子は充電不良など故障の原因となります。しっかりと洗い流してください。



④ 水抜きしてください(▶P.12)。

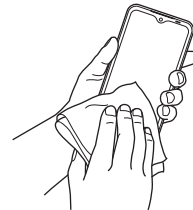
- 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、必ず次の部分の水抜きをしてください。

- 受話口
 - 送話口／マイク
 - スピーカー
 - USB Type-C接続端子
 - セカンドマイク
 - ステレオイヤホン端子
 - 電源キー
 - 音量大キー／音量小キー
 - 指紋センサー
 - microSDメモリーカード／SIMカード挿入口のスロットキャップ
- そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。次の手順で水抜きを行ってください。

① 本製品をしっかりと持ち、正面、背面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

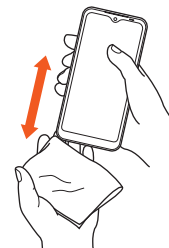


② 本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。受話口とフラッシュ／ライト、指紋センサーの位置を入れ替えて同じように振ってください。

- ※ 本製品を振り落とさないように、しっかりと振ってください。



③ 指紋センサー、ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、セカンドマイク、キーなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本製品を10回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。



④ 本製品から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- ※ 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

- ※ すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認証を取得しています。
- 一部の国/地域ではBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能/無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

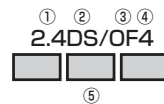
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 - ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップ/au Styleもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
 - 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に基づいたセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
 - 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
 - Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

Bluetooth®機能:



- 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- FH/XX: 変調方式がFH-SS方式およびその他の方式(DS-SS方式/DS-FH方式/FH-OFDM複合方式/OFDM方式以外)であることを示します。
- 1: 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能:



- 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- DS: 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- OF: 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- 4: 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。無線LAN(Wi-Fi®)を海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内での利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

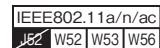
圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャンネルは使用できません。

5GHz帯ご使用上の注意

5.2/5.3GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)の屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く)。

本製品が日本で使用できる周波数とチャンネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯: 5180~5240MHz(36, 38, 40, 42, 44, 46, 48ch)
- 5.3GHz帯: 5260~5320MHz(52, 54, 56, 58, 60, 62, 64ch)
- 5.6GHz帯: 5500~5720MHz(100, 102, 104, 106, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 122, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140, 144ch)



各種暗証番号/PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号の各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客さまの独自の番号に変更の上お使いください。

暗証番号

使用例	① お留守番サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客さまが記入した任意の4桁の番号

PINコードについて

PINコード

第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力が必要にすることができます(▶P.70「SIMカードロックを設定する」)。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客さまの必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。

「入力必要」で使用する場合は、必ずお客さま独自の番号に変更の上ご利用ください。

- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、SIMカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください(▶P.70「PINコードを変更する」)。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ/au Style・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

通話料についてのご注意

- 通話を終了される際は、通話終了の操作を行って確実に通話が切断されていることをご確認ください。通話の切り忘れにより、通話料が高額になる場合があります。

アプリケーションについて

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリによっては、他のアプリや本製品全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客さまの位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客さまがインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となることがありますので、あらかじめご了承ください。
- お客さまがインストールを行ったアプリなどにより、お客さまご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中、スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、「取扱説明書」に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ/機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可」/「許可しない」などをタップしてください。

例:「かんたん電話帳」アプリを初めて起動した場合

1 ホーム画面で画面を上をスライド→「かんたん電話帳」→「次へ」

確認画面が表示されます。

2 「許可」/「許可しない」→「許可」/「許可しない」

以降は画面の指示に従って操作してください。



memo

- 許可をしないとアプリ/機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で画面を上をスライド→「設定」→「アプリ」→「XX 個のアプリをすべて表示」→設定を変更するアプリをタップ→「権限」→変更する権限の機能や情報をタップ→「許可」/「許可しない」などをタップします。
- アプリ/機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 「取扱説明書」では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画などを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

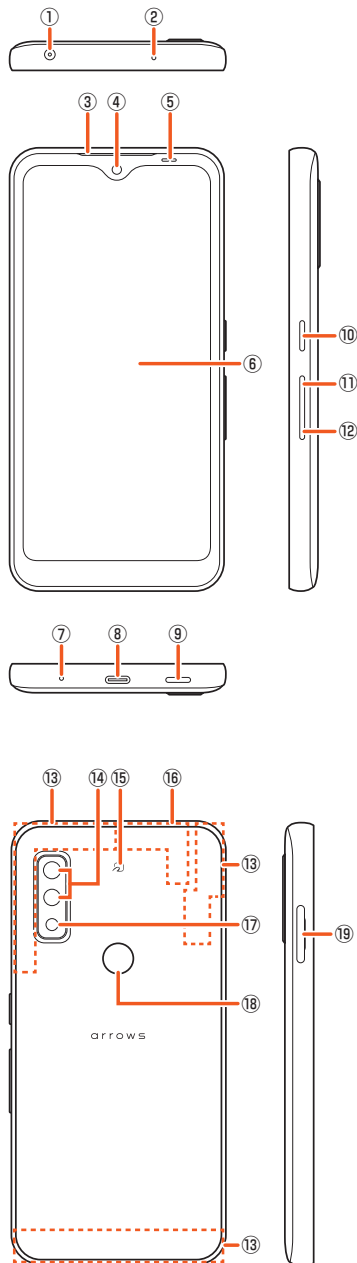
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでの通話は、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品を「機内モード」に設定する、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

ご利用の準備	16
各部の名称と機能	16
SIMカードについて	17
SIMカードを取り付ける／取り外す	17
充電する	18
電源を入れる／切る	18
画面をロックする／画面ロックを解除する	19
初期設定を行う	19
イヤホンを使用する	19

ご利用の準備

各部の名称と機能



- ① ステレオイヤホン端子
 - ② セカンドマイク^{*1}
 - ③ 受話口^{*1}
相手の声が聞こえます。
 - ④ インカメラ
 - ⑤ 明るさ／近接センサー^{*1}
周囲の明るさなどを感知するセンサーです。
 - ⑥ ディスプレイ(タッチパネル)
 - ⑦ 送話口／マイク^{*1}
自分の声を相手に伝えます。
 - ⑧ USB Type-C接続端子
USB Type-Cケーブル(市販品)などを接続します。
 - ⑨ スピーカー^{*1}
 - ⑩ 電源キー
画面を消灯／点灯します。
長押しで電源オン／オフを行います。
 - ⑪ 音量大キー
 - ⑫ 音量小キー
 - ⑬ 5G／4Gアンテナ部^{*2}
 - ⑭ アウトカメラ
お買い上げ時にカメラに貼付してある透明の保護フィルムは、はがしてお使いください。
 - ⑮ マーク
 - ⑯ 5G／4G／GPS／Wi-Fi[®]／Bluetooth[®]アンテナ部^{*2}
 - ⑰ フラッシュ／ライト
カメラ撮影時などのライトとして利用できます。
 - ⑱ 指紋センサー^{*3}
指紋を登録している場合は、指紋認証で画面ロックを解除できます。
 - ⑲ microSDメモリカード／SIMカード挿入口^{*4*5}
- ^{*1} 保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
- ^{*2} アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおくと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- ^{*3} センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けないでください。
- ^{*4} 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。
- ^{*5} 銘板プレートが中に格納されており、IMEI情報などを印刷したシールが貼られています。シールをはがしたり、銘板プレートを取り外したりしないでください。

memo

◎ 外装ケースは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は本体に内蔵されており、お客さまによる取り外しはできません。

SIMカードについて

SIMカードにはお客様の電話番号などが記録されています。本製品にはSIMロックはされておりません。



memo

- ◎ SIMカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ SIMカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ SIMカードを正しく取り付けていない場合やSIMカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したSIMカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

SIMカードが挿入されていない場合

SIMカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

- ・ 電話をかける*1 / 受ける
- ・ SMSの送受信
- ・ +メッセージの送受信
- ・ auメールの初期設定および送受信
- ・ SIMカードロック設定
- ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

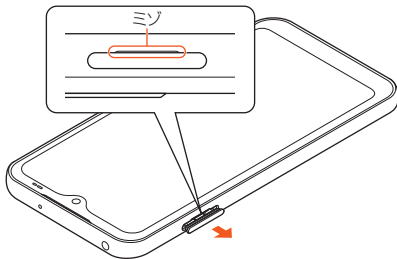
*1 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国/地域によって異なります)。

SIMカードを取り付ける / 取り外す

SIMカードの取り付け / 取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

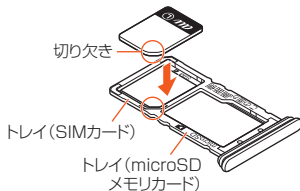
SIMカードを取り付ける

- 1 本製品のディスプレイ面を上に向け、ミゾに指先をかけて、microSDメモリカード / SIMカード挿入口のスロットキャップをまっすぐ水平に引き出す



- 2 SIMカードのIC(金属)部分を下にして、トレイ(SIMカード)にはめ込む

切り欠き位置にご注意ください。
トレイからSIMカードが浮かないように、はめ込んでください。

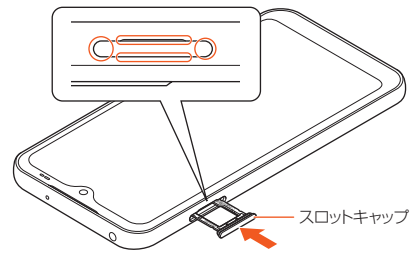


- 3 本製品のディスプレイ面が上に向いていることを確認して、トレイをまっすぐ水平に差し込む

- 4 スロットキャップをしっかりと押しつけて閉じる

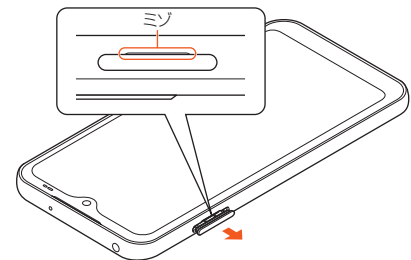
トレイを差し込む方向にご注意ください。

○部分をしっかりと押し、本体とスロットキャップにすき間がないことを確認してください。

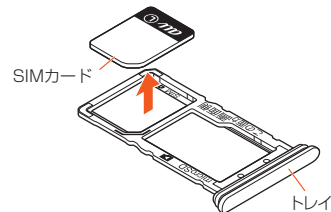


SIMカードを取り外す

- 1 本製品のディスプレイ面を上に向け、ミゾに指先をかけて、microSDメモリカード / SIMカード挿入口のスロットキャップをまっすぐ水平に引き出す



- 2 トレイからSIMカードを取り出す

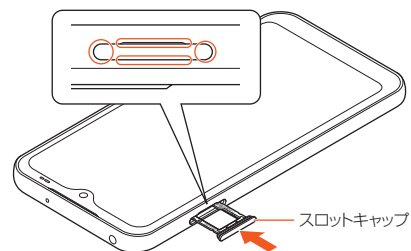


- 3 本製品のディスプレイ面が上に向いていることを確認して、トレイをまっすぐ水平に差し込む

- 4 スロットキャップをしっかりと押しつけて閉じる

トレイを差し込む方向にご注意ください。

○部分をしっかりと押し、本体とスロットキャップにすき間がないことを確認してください。



充電する

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

memo

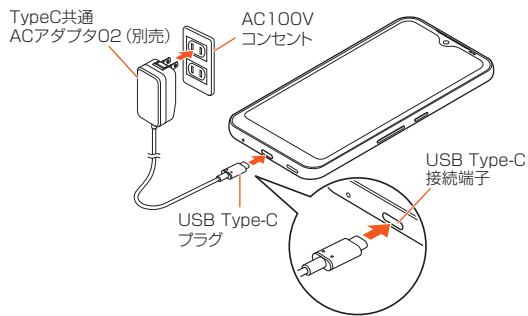
- ◎ 指定の充電用機器(別売)はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- ◎ 充電中に本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ アプリや機能などのご利用状況により、使用時間が短くなることがあります。

ACアダプタを使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む

2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを本製品のUSB Type-C接続端子にまっすぐに差し込む



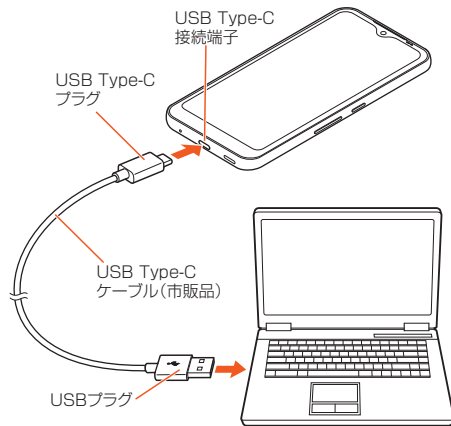
3 充電が完了したら、TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを本製品から抜く

4 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

パソコンを使って充電する

1 USB Type-Cケーブル(市販品)のUSBプラグをパソコンのUSB端子に差し込む

2 USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを本製品のUSB Type-C接続端子にまっすぐに差し込む



3 充電が完了したら、USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを本製品から抜く

4 USB Type-Cケーブル(市販品)のUSBプラグをパソコンから抜く

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを2秒以上長押し

ロック画面が表示されます。画面ロックを解除してください(▶P.19「画面ロックを解除する」)。
画面を上(フリック)すると、ホーム画面が表示されます。

memo

- ◎ 電源を入れたとき、画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ◎ 電源を入れた後に初期設定画面が表示されたときは、画面の指示に従って初期設定を行ってください(▶P.19「初期設定を行う」)。
- ◎ 画面ロック/SIMカードロックを設定している場合はロックを解除してください(▶P.69「画面ロックの解除方法を設定する」、▶P.70「SIMカードロックを設定する」)。

電源を切る

1 電源キーを1秒以上長押し

2 [電源を切る]→[OK]

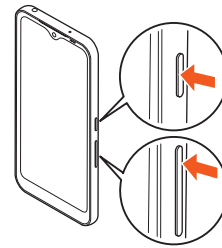
再起動や緊急通報、ロックダウンなどの操作も行うことができます。
* ロックダウンはセキュリティ解除方法を設定(▶P.69)したときに利用できます。

memo

- ◎ ロックダウンをタップすると、Smart Lockや指紋認証による認証操作、ロック画面の通知表示を無効にすることができます。

強制的に電源を切る

1 電源キーと音量大キーを同時に8秒以上長押しし、画面が消灯した後に指を離す



強制的に再起動する

1 電源キーと音量大キーを同時に32秒以上長押しし、起動画面が表示された後に指を離す

画面をロックする／画面ロックを解除する

画面をロックする

画面を消灯してスリープモードにすると、タッチパネルやキーの誤動作が防止できたり、画面ロックがかかったりします。

1 画面表示中に電源キーを押す

memo



◎ 何も操作せずに「画面消灯」(▶P.66)で設定した時間が経過すると、自動的に画面が消灯してスリープモードになります。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたときや、電源キーを押してスリープモードを解除したときに表示されます。

1 ロック画面で画面を上をスワイプ(フリック)

memo

- ◎ ロック画面で「」や「」をスワイプ(フリック)すると、FASTメモやカメラを利用できます。
- ◎ 画面ロックの解除方法を設定／変更するには、「画面ロックの解除方法を設定する」(▶P.69)をご参照ください。
- ◎ ロックダウンを設定した場合、ロック解除はパターン／暗証番号／パスワードのみとなります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

- 1 [開始]
- 2 ネットワークの接続方法を設定する
- 3 アプリとデータのコピーを設定する
- 4 Google アカウントを設定する
- 5 Google サービスを設定する
- 6 画面ロックや指紋によるロック解除を設定する
- 7 Google アシスタントを設定する
- 8 ソフトウェア更新の確認画面で[同意する]
- 9 ホーム画面を設定する
- 10 迷惑電話対策機能を設定する
- 11 診断データ送信の確認画面で[同意する]
- 12 その他の設定項目を設定する
- 13 必要に応じて最適なアプリを取得する
ホーム画面が表示されます。

memo

◎ 操作の状況により、表示される設定などが異なる場合があります。

Google アカウントをセットアップする

本製品に Google アカウントをセットアップすると、Google が提供するオンラインサービスを利用できます。

Google アカウントのセットアップ画面は、Google アカウントが必要なアプリを起動したときなどに表示されます。

1 Google アカウントのセットアップ画面→Gmail のメールアドレスまたは電話番号を入力／[アカウントを作成]

Google アカウントをすでにお持ちの場合は Gmail のメールアドレスまたは電話番号を入力して「次へ」をタップし、画面の指示に従って設定してください。

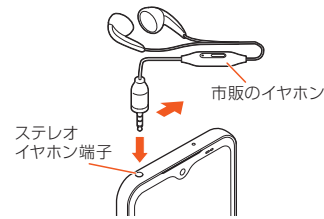
Google アカウントをお持ちではない場合は「アカウントを作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎ ログインするためには Google アカウントおよびパスワードが必要です。

イヤホンを使用する

1 市販のイヤホンの接続プラグを、本製品のステレオイヤホン端子に接続する



基本操作

基本操作	22
タッチパネルの使いかた.....	22
ナビゲーションバーの使いかた.....	22
ホーム画面を利用する.....	22
ホーム画面のメニューを利用する.....	23
ホーム画面を切り替える.....	23
アプリを起動する.....	23
最近使用したアプリを表示する.....	23
本製品の状態を知る.....	24
本製品内やWebページを検索する.....	25
縦／横画面表示を自動で切り替える.....	25
マナーモードを設定する.....	25
メニューを表示する.....	26
設定を切り替える.....	26
データを複数選択する.....	26
表示されている画面を撮影する.....	26
分割画面を利用する.....	26
指紋認証機能	27
指紋認証機能を利用する.....	27
指紋を登録する.....	27
指紋認証を行う.....	27
スライドイン機能	28
スライドイン機能の使いかた.....	28
スライドインランチャーを利用する.....	28
キャプメモを利用する.....	28
なぞってコピーを利用する.....	28
防犯ツール	28
緊急時ブザーを利用する.....	28
イミテーションコールを利用する.....	28
文字入力	29
文字を入力する.....	29
ソフトウェアキーボードについて.....	29
文字入力のしかた.....	29
テキストを編集する.....	30
文字入力の設定をする.....	30

基本操作

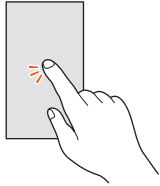
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- ・ 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面にのせたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼り付けての操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・ 水中での操作

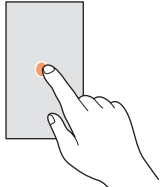
■ タップ/ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



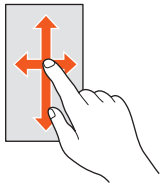
■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。



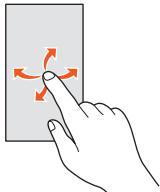
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



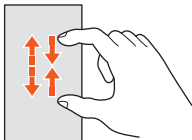
■ スワイプ(フリック)

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



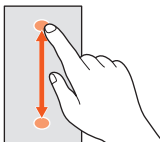
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。



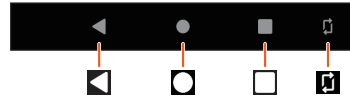
■ ドラッグ






項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーの主な操作は次の通りです。



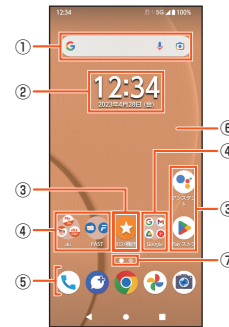
アイコン	説明
	戻る 1つ前の画面に戻ります。
	ホーム タップするとホーム画面が表示されます。ロングタッチすると Google アシスタントを起動できます。
	最近使用したアプリ ホーム画面やアプリ利用中の画面で、「  」をタップすると、最近使用したアプリがサムネイルで一覧表示され、アプリの起動/終了(▶P.23「最近使用したアプリを表示する」)や、分割画面(▶P.26「分割画面を利用する」)を利用することができます。また、スクリーンショットを撮影することもできます(▶P.26「表示されている画面を撮影する」)。
	画面の回転 本製品の向きと表示画面の向きが異なる場合に表示されます。タップすると縦/横画面表示が切り替わります。

memo

◎ 表示中の画面により、アイコンの色が異なる場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にスワイプ(フリック)すると切り替えることができます。



① クイック検索ボックス

アプリなどを検索したり、入力した語句を「Google」アプリで検索したりできます(▶P.25)。

② ウィジェット

③ ショートカット(アプリ)

アプリによってはロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。＝が表示された場合は、ロングタッチして追加する場所までドラッグすることで、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

④ フォルダ

複数のショートカット(アプリ)などが格納されています。

⑤ ドック

ショートカット(アプリ)やフォルダなどを配置でき、ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

⑥ 壁紙

⑦ 現在の表示位置

ホーム画面の数と現在の表示位置を示します。ホーム画面を左右にスワイプ(フリック)するとホーム画面を切り替えられます。

ホーム画面のメニューを利用する

ホーム画面では、壁紙を変更したり、連絡先などのショートカットやウィジェットを追加したりできます。

1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ

壁紙とスタイル	ホーム画面やロック画面の壁紙を設定したり、ダークモードやテーマアイコンを設定したりします。
ウィジェット	▶P.23「ウィジェットを追加する」
ホームの設定	通知ドット ▶P.66「通知の設定をする」 ホーム画面にアプリのアイコンを追加

ホーム画面のアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 移動する場所までドラッグ

ウィジェットを利用する

■ ウィジェットを追加する

1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ

2 [ウィジェット]→ウィジェットの種別をタップ→追加するウィジェットをロングタッチ

3 追加する場所までドラッグ

■ ウィジェットを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ

2 画面上部に表示される「削除」までドラッグ

memo

◎追加したウィジェットをロングタッチして枠が表示された場合は、枠をドラッグして表示サイズを変更できます。

ショートカットを利用する

■ ショートカットを追加する

1 ホーム画面で画面を上にスライド

2 追加するアイコンをロングタッチ

3 追加する場所までドラッグ

■ ショートカットを削除する

1 ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ

2 画面上部に表示される「削除」までドラッグ

フォルダを利用する

■ フォルダを追加する

1 ホーム画面でアイコンをロングタッチ

2 別のアイコンの上までドラッグ

■ フォルダにアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 フォルダの上までドラッグ

■ フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ→フォルダ名をタップ

2 フォルダ名を入力→[確定]

■ フォルダを削除する

1 ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ

2 画面上部に表示される「削除」までドラッグ

ホーム画面を切り替える

ホームアプリを変更することで、ホーム画面を切り替えることができます。

1 ホーム画面で画面を上にスライド→[設定]

2 [ホーム画面切替]

シンプルホーム	アイコンや文字が大きくて見やすい、シンプルホームに切り替えます。
arrowsホーム	▶P.22「ホーム画面を利用する」

アプリを起動する

アプリのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

1 ホーム画面で画面を上にスライド

アプリ画面が表示されます。

アプリ画面上部の検索バーをタップすると本製品にインストールされているアプリを検索できます。

2 使用するアプリのアイコンをタップ



最近使用したアプリを表示する

最近使用したアプリをサムネイル表示して、アプリの起動や切り替え、終了ができます。

1 ホーム画面やアプリ利用中の画面で[□]

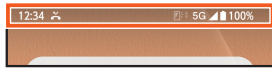
アプリがサムネイル表示されます。

memo

- ◎サムネイルをタップすると、アプリの起動や切り替えができます。ただし、表示されているサムネイルによっては、アプリを起動できない場合があります。
- ◎アプリのサムネイルを削除するには、削除するサムネイルの上にスワイプ(フリック)します。サムネイルを右にスワイプ(フリック)して、「すべてクリア」をタップすると、すべてのサムネイルを削除できます。
- ◎アプリのサムネイルを削除すると、アプリを終了できます。
- ◎「利用アプリの固定」(▶P.70)をONに設定している場合は、サムネイル上部のアプリアイコンをタップ→[固定]→[OK]と操作すると画面が固定されて表示中のアプリ以外は使用できなくなります。固定を解除するときは、「」と「」を同時にロングタッチしてください。

本製品の状態を知る

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、本製品の状態を確認できます。ステータスバーの左側には新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には電波状態や電池残量などをお知らせするステータスアイコンが表示されます。



アイコンの見かた

■ 主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	伝言メモあり
	着信中／発信中／通話中
	新着 Gmail あり
	新着auメールあり
	新着+メッセージあり／新着SMSあり
	データを受信／ダウンロード
	データを送信／アップロード
	Bluetooth®通信でデータなどの受信通知あり
	カレンダーの予定通知あり
	アラームの鳴動中／アラームのスヌーズ中／次のアラームあり
	Wi-Fi®オープンネットワーク利用可能
	ソフトウェア更新通知あり
	エラーメッセージ／注意メッセージ
	内部ストレージの空き容量低下
	カメラが自動的に終了
	非表示の通知あり

■ 主なステータスアイコンの例

アイコン	概要	ページ
	電池の状態 100% 充電中	—
	持ってる間ON設定中(動きを検出して画面点灯中)	—
	電波状態 4段階表示*1 圏外	—
	5Gデータ通信状態*2	—
	4G(LTE/WiMAX 2+)データ通信状態*3	—
	GSM/UMTS/LTEネットワークローミング中	—
	マナーモード(パイプあり)設定中*4	P.25
	マナーモード(パイプなし)設定中	P.25
	送話口/マイクをOFFにして通話中(ミュート)	P.32
	ハンズフリーで通話中(スピーカーON)	P.32
	Wi-Fi®接続中*1*5	P.61
	Wi-Fi®テザリングをONに設定中	P.62
	Bluetooth®機器と接続中	P.60
	機内モード設定中	P.64
	サイレントモードを設定中	P.67
	GPS測位中	P.70
	VPN接続中	P.65
	データセーバー設定中	P.64

*1 通信中は が表示されます。

*2 「5G」エリア外では「4G」のネットワークをご利用いただけます。

*3 「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。

回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

*4 「パイプレーション」モードのときにアイコンを常に表示し(▶P.67)がONの場合に表示されます。

*5 アイコンの右側に表示される数字は、接続中の無線LAN(Wi-Fi®)の規格により異なります。

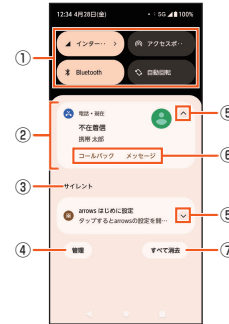
memo

◎ アプリを起動しているときに、アプリが利用している機能の通知が画面の右上に緑色のアイコンで表示される場合があります。

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知の内容を確認したり、対応するアプリを起動したりできます。

1 ステータスバーを下にスライド



① パネルスイッチ

パネルスイッチ(▶P.25)の一部が表示されます。タップして各機能のON/OFFなどを設定できます。ロングタッチすると、機能によっては設定画面などが表示されます。

② 通知

通知を左右にスワイプ(フリック)すると、一覧から削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合があります。通知をロングタッチして表示される「」をタップすると、通知設定を変更できます。

③ 通知の種別

「サイレント」など通知の種別を表示します。種別によってはタップすると設定メニューの「通知」(▶P.66)が表示されます。

④ 管理

タップすると設定メニューの「通知」(▶P.66)が表示されます。

⑤ 通知を開く／閉じる

タップして通知を開くと、表示しきれない通知内容や操作メニューを表示できます。ただし、通知によっては表示されない場合があります。

⑥ 操作メニュー

通知を開くと「コールバック」や「削除」などの操作メニューが表示される場合があります。通知によっては、操作メニューの項目をタップして、通知パネル上でメッセージの返信などの操作ができる場合があります。

⑦ すべて消去

通知をすべて削除します。ただし、通知によっては削除できない場合があります。

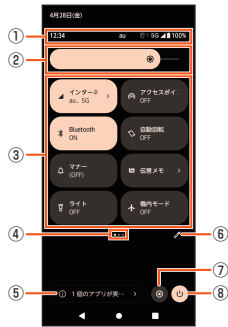
memo

◎ 通知/パネルを閉じるには、「」をタップするか、通知パネルを上をスライドします。
◎ ロック画面でも、画面を下にスワイプ(フリック)すると通知パネルが表示され、通知を確認できます。

パネルスイッチについて

機能のON/OFFなどを設定できます。

1 2本の指でステータスバーを下にスライド



- 情報の表示**
マナーモードの設定状況などを表示します。
- 明るさのレベル**
画面の明るさを調節できます。
- パネルスイッチ**
タップして各機能のON/OFFなどを設定できます。
ロングタッチすると、機能によっては設定画面などが表示されます。
- 現在の表示位置**
パネルスイッチのページ数と現在の表示位置を示します。パネルスイッチを左右にスワイプ(フリック)するとページを切り替えられます。
- 実行中のアプリ**
使用していない状態でも実行中のアプリを表示できます。
- 編集**
編集画面を表示して、パネルスイッチの追加や削除、並び順の変更ができます。
編集画面→[🔍]→[リセット]と操作すると、初期状態に戻ります。
- 設定**
設定メニューを表示します(▶P.64)。
- 電源**
電源を切ったり、再起動や緊急通報、ロックダウンなどの操作ができます。
※ロックダウンはセキュリティ解除方法を設定(▶P.69)したときに利用できます。

memo

- ◎ 通知パネルを下にスライドしたり、ロック画面でステータスバーを下にスライドしたりしても、パネルスイッチを表示できます。
- ◎ パネルスイッチを閉じるには、「」をタップするか、パネルスイッチを上スライドします。

本製品内やWebページを検索する

- ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ**
- 検索するキーワードを入力**
検索候補が一覧表示されます。
- 検索候補を選択/ソフトウェアキーボードの[🔍]**

memo

- ◎ 検索候補にアプリが表示された場合は、選択するとアプリが起動します。
- ◎ ホーム画面で画面を上スライド→画面上部の検索バーをタップ→検索するアプリの名前を入力すると、本製品内のアプリを検索できます。

音声で入力して検索する

- ホーム画面でクイック検索ボックスの[🗣️]**
Google 音声検索画面が表示されます。
- 送話口/マイクに向かってキーワードを話す**
Google 検索の検索結果が表示されます。

画像を撮影して検索する

- ホーム画面でクイック検索ボックスの[📷]**
Google レンズ™の画面が表示されます。
 - 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- カメラで検索する対象を枠内に入れて[🔍]**
Google レンズでの検索結果が表示されます。

縦/横画面表示を自動で切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定できます。

- ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[表示の設定]**
- [画面の自動回転]の「」をタップしてにする**

memo

- ◎ 本機能をOFFに設定中でも、本製品の向きを変えたときにが表示された場合は、「」をタップして縦/横画面表示を切り替えることができます。
- ◎ 表示中の画面によっては、縦画面または横画面に固定されて表示される場合があります。

マナーモードを設定する

- マナーモード設定中でも、シャッター音、動画撮影時の撮影開始/終了音、アラーム、動画・音楽などの音声は消音されません。
- マナーモード設定中に「音」の「着信音と通知の音量」(▶P.67)で音量を調節すると、マナーモードは解除されます。
- 音量大キー/音量小キーを押し、音量調節バーでスライダを上下にドラッグすると、メディアの音量を調節できます。また、「」をタップすると音量設定メニューが表示され、着信音と通知音、アラームなどの音量を変更できます。音量設定メニューで「設定」をタップすると、設定メニューの「音」が表示されます(▶P.67)。

マナーモード(バイブあり)を設定する

- 音量大キー/音量小キーを押す**
音量調節バーが表示されます。
- [🔔]→[🔔]**
音量調節バーのアイコンがに変わります。

マナーモード(バイブなし)を設定する

- 音量大キー/音量小キーを押す**
音量調節バーが表示されます。
- [🔔]→[🔕]**
音量調節バーのアイコンがに変わります。

メニューを表示する

メニューを表示する方法は、メニューアイコン(☰や☰)をタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法があります。

例: Webページ画面で「☰」をタップする場合



《Webページ画面》

メニュー

例: Webページ画面でリンクをロングタッチする場合



《Webページ画面》

メニュー

memo

◎ アプリ/機能によっては、メニューアイコンの色や形、メニューの表示方法が異なる場合があります。

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックス/ラジオボタンなどが表示されているときは、タップして設定のON/OFFを切り替えることができます。

アイコン	説明
<input checked="" type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="radio"/> / <input checked="" type="radio"/> / <input type="checkbox"/>	ONの状態です。
<input type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/> / <input type="radio"/> / <input type="radio"/> / <input checked="" type="radio"/>	OFFの状態です。

データを複数選択する

データの削除や共有などをする際、データをロングタッチしたりメニューなどから操作項目を選択したりすると、複数のデータをまとめて選択できる場合があります。

複数選択を行うには、選択するデータをタップしてハイライト表示させるか、データまたはチェックボックスをタップしてチェックを入れます。
・ 選択を解除するには、ハイライト表示したデータ、またはチェックを入れたデータ/チェックボックスをもう一度タップします。

memo

◎ アプリ/機能によっては、操作方法が異なる場合や、複数選択ができない場合があります。

表示されている画面を撮影する

現在表示されている画面の静止画を撮影できます(スクリーンショット)。

・ 表示中のアプリによっては、画面を撮影できません。

1 撮影する画面で電源キーと音量小キーを同時に押す
静止画が保存されます。

memo

◎ [] → [スクリーンショット] と操作しても画面を撮影できます。
◎ [キャプチャ範囲を拡大] が表示されたときは、表示できる画面全体を1枚のスクリーンショットで撮ることができます(スクロールスクリーンショット)。[キャプチャ範囲を拡大] → 保存する範囲を選択 → [保存] と操作してください。
◎ 撮影した静止画は「フォト」アプリで確認することができます。

分割画面を利用する

画面を分割し、2つのアプリを同時に表示して操作できます。

・ ご使用のアプリによっては、分割画面で利用できない場合があります。

1 アプリ利用中の画面で[]

アプリがサムネイル表示されます。

2 設定するアプリのサムネイル上部のアプリアイコンをタップ → [上に分割]

分割画面が表示されます。

3 アプリのサムネイル表示の中から、次に設定するアプリをタップ

アプリ画面から表示するアプリを起動してください。

memo

◎ 分割画面のアプリは、縦画面表示では上下、横画面表示では左右に分割して表示されます。

◎ [] を画面上端または下端(横画面表示の場合は左端または右端)までドラッグすると、分割画面を終了できます。

指紋認証機能

指紋認証機能を利用する

本製品には指紋センサー(▶P.16)が搭載されており、登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

指紋認証利用時のご注意

指紋認証機能利用時は、次の点にご注意ください。

- ・ロックダウンを設定した場合は、ご利用になれません。
- ・指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客さまの場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- ・認証性能(指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能)は、お客さまの使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。
 - ・お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
 - ・指に汗や脂が多く付着している
 - ・泥や油などで指が汚れている
 - ・手が荒れていたり、指に損傷(切傷やただれなど)を負ったりしている
 - ・指が極端に乾燥している
 - ・太ったりやせたりして指紋が変化した
 - ・指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - ・登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- ・デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本製品をUSB Type-Cケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本製品を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- ・指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・セキュリティ解除方法を指紋認証に設定しても、72時間ごとおよび本製品起動時には予備のセキュリティ解除方法で画面ロックを解除する必要があります。予備のセキュリティ解除方法をお忘れにならないようご注意ください。

指紋センサー利用時のご注意

- ・指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ・次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - ・ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
 - ・ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
 - ・爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面に傷が入る
 - ・泥などで指紋センサー表面に傷が入る、表面が汚れる
 - ・シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- ・次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - ・ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- ・次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
 - ・指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- ・指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまる場合がありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- ・静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

指紋を登録する

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[セキュリティ]→[指紋管理/FASTフィンガーランチャー]
 - ・認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行って手順3に進みます。
- 2 予備のセキュリティ解除方法を選択→画面の指示に従って設定
- 3 登録する指をタップ→画面の指示に従って指紋を登録→[完了]

指紋認証を行う

- 1 ロック画面表示中に、登録した指で指紋センサーに触れる
正しく認証されない場合は、指紋登録時に設定した予備のセキュリティ解除方法(パターン/暗証番号/パスワード)で認証操作を行ってください。

FASTフィンガーランチャーを利用する

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[セキュリティ]→[指紋管理/FASTフィンガーランチャー]→認証操作
- 2 指紋を登録済みの指をタップ
 - ・指紋を登録していない指をタップすると、指紋を追加できます。
 - ・「■」をタップすると指紋を削除できます。
- 3 [ダイレクトモード]/[ランチャーモード]
モード名をタップすると、モードを切り替えることができます。
- 4 画面の指示に従ってアプリを登録→[完了]

スライドイン機能


スライドイン機能の使いかた

画面の端にあるスライドスポット(スライドを始める位置)から指をスライドすることで、スライドインランチャーを呼び出すことができます。

- ・スライドイン機能の設定については、「スライドイン機能」で行ってください(▶P.71)。

スライドインランチャーを利用する

スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動します。

- 1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーのショートカットで指を離す**
スライドイン機能をONにすると、画面の右上のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されます。
スライドインランチャーと同時に呼び出される「」の位置で指を離すと、スライドイン機能を設定できます。

2 目的的操作を行う


memo

◎スライドスポットをロングタッチして、画面右端に沿って上下にスライドすると、スライドインランチャーの位置を変更できます。

キャプメモを利用する

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリと共有したりできます。

- ・画面によってはキャプチャできない場合があります。

- 1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーの「」で指を離す**

■ 画像を編集する場合

- 2 ツールをタップして編集操作を行う→[保存]**

- ・画像は、「フォト」アプリなどで確認できます。
- ・描画ツールで画像に文字や絵などを手書きしたり、トリミングや拡大/縮小したりできます。


■ 他のアプリと共有する場合

- 2 [共有]→アプリを選択→画面の指示に従って操作**

「共有」の隣に表示されているアプリアイコンをタップしてもアプリを起動できます。

なぞってコピーを利用する

画面を指でなぞって選択した文字列を、コピーしたり他のアプリと共有したりできます。



- 1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーの「」で指を離す**

- 2 コピーしたい文字列を指でなぞる**

- 認識された文字にマーカーが引かれ、プレビュー表示されます。
- ・プレビューをタップするとキーボードが表示され、文字を編集することができます。
 - ・選択した文字列や背景画像によっては、正しく認識されない場合があります。

■ 文字列をコピーする場合

- 2 [コピーする]**

- ・「」/「」をタップして、プレビューの表示/非表示を切り替えられます。「クリア」をタップすると、文字列の選択が解除されます。

■ 他のアプリと共有する場合

- 2 貼り付け先のアプリを選択**

選択した文字列によって、表示されるアプリが異なります。

防犯ツール

緊急時ブザーを利用する

緊急時などに大音量のブザーを鳴らすことができます。ブザーを鳴らしたとき、自動で電話を発信したり、SMSを送信したりすることもできます(▶P.71)。

- 1 電源キーを1秒以上長押し**

- 2 [防犯ツール]→[緊急時ブザー]**


大音量でブザーが鳴ります。

- ・ブザーを停止する場合は「ブザー鳴動停止」をタップしてください。
電源キーを1秒以上長押し→[防犯ツール]と操作してもブザーを停止できます。

■ 自動音声電話発信を設定している場合

ブザーが鳴ると、発信先番号に自動で電話が発信されます。相手が電話を受けるとブザー音は停止し、「緊急通話です」という音声ガイダンスが3回流れます。

音声ガイダンスが終了すると、再度ブザーが鳴ります。なお、相手の音声は聞こえません。

- ・登録した発信先番号のいずれかの相手が電話を受けるまで、順次発信を繰り返します。
- ・発信者番号通知の設定に関わらず、相手に自分の電話番号が通知されません。
- ・電話発信を中止したり、音声ガイダンスや通話を終了したりする場合は、「」をタップします。

■ 自動SMS送信を設定している場合

ブザーが鳴ると、送信先番号に自動的にSMSが送信されます。

memo

- ◎PINコードがロックされているときは、ブザーは鳴りますが電話発信、SMS送信は行われません。
- ◎セキュリティロック設定時、本製品を起動してから一度もロック解除をしていない場合、ブザーは鳴りますが電話発信、SMS送信は行われません。
- ◎SIMカードを取り付けていない場合は、電話発信、SMS送信は行われません。
- ◎緊急時ブザーの音量は調節できません。大音量で音が鳴りますので、ご使用の際はご注意ください。
- ◎マナーモード中も緊急時ブザーは動作します。
- ◎サイレントモードが設定されている場合は、ブザー鳴動時サイレントモードを一時的に解除します。
- ◎自動音声電話発信をした場合は通話に対してミュート/保留/電話の追加操作ができません。
- ◎緊急時ブザー動作中の電話着信は次のようになります。
 - ・自動で電話発信する設定にしている場合は、登録している発信先番号からの電話着信のみ受け取ることができます(自動的に応答します)。発信先番号以外の電話着信は拒否され、不在着信として記録されます。
 - ・自動で電話発信しない設定にしている場合は、電話着信を受けることができます(自動的に応答しません)。
- ◎呼出中から約30秒経過後にも相手の応答がないと、発信を中断します。発信先番号を複数登録した場合は、登録番号順に次の発信先に音声電話を発信します。
- ◎緊急時ブザーは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保障するものではありません。
本機能を使用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

イミテーションコールを利用する

イミテーションコールとは、電話の着信や通話中を装うことができる機能です。通信を伴わないため、電波状態に関わらず利用でき、通話料金もかかりません。

- 1 電源キーを1秒以上長押し**

- 2 [防犯ツール]→[イミテーションコール]**

着信音が鳴り、着信中画面に似た画面が表示されます。


- 3 **

着信音が止まり、通話中画面に似た画面が表示され、イミテーションコールのガイダンスが受話口から流れます。

- 4 **

イミテーションコールが終了します。

memo

- ◎イミテーションコール利用時は、次の点にご注意ください。
 - ・イヤホンを接続していても本製品から着信音が鳴ります。
 - ・マナーモード中でも着信音が鳴動します。
 - ・着信音は固定です。
 - ・イミテーションコール通話中は、「」以外はタップできません。
 - ・イミテーションコール中に、本物の着信/発信や緊急時ブザー鳴動があると、イミテーションコールが終了します。

文字入力

文字を入力する

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にSuper ATOK ULTIASでの入力方法について説明します。

ソフトウェアキーボードについて

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書き入力方式で文字を入力できます。

テンキーキーボード	1つのキーに複数の文字が割り当てられています。 •フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。
QWERTYキーボード	ローマ字入力を入力します。
手書き入力	手書きで文字を入力します。

memo

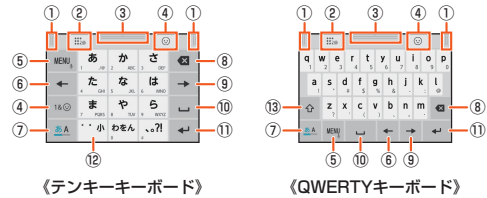
- ◎各キーボードから、音声入力を起動できます。
- ◎上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。

Super ATOK ULTIASの設定

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[画面キーボード]→[Super ATOK ULTIAS]

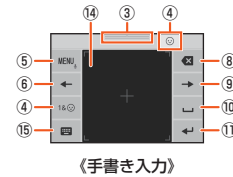
2	ULTIASオススメ機能	選べるキーボード、スマホ入力(フリック)学習モード、ATOK キーワードExpressを設定します。
	操作音・パイプ	キー操作音、キー操作パイプを設定します。
	テンキー	テンキーキーボードの機能を設定します。
	QWERTYキーボード	QWERTYキーボードの機能を設定します。
	手書き入力	上書き手書き入力を設定、手書き説明を確認します。
	共通設定	Super ATOK ULTIAS共通の機能を設定します。
	変換候補一覧の表示	変換候補一覧の表示に関する機能を設定します。
	デザイン	キーボードのデザインに関する機能を設定します。
	ユーティリティ	ユーザー辞書や設定のインポート/エクスポート、パスワード入力時のウェブサイト安全性確認などを設定します。 •「パスワード入力時のウェブサイト安全性確認」はフィッシング詐欺警告機能としてご利用いただけます。
	初期化	設定の初期化、学習データの初期化を行います。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
	Super ATOK ULTIAS	Super ATOK ULTIASのバージョンを確認します。

文字入力のしかた



(テンキーキーボード)

(QWERTYキーボード)



(手書き入力)

- 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

- 左右にドラッグしてキーボードの横幅を調整
- 上書き手書き入力の有効/無効
- 上下にドラッグしてキーボードの高さを調整
- 数字/記号/顔文字/絵文字一覧の表示
- メニューの表示^{*1}
機能の切り替えや設定を行えます。
- カーソルを左に移動^{*2}
- 入力モードの切り替え
- カーソルの左側の文字を削除^{*3}
- カーソルを右に移動^{*2}
- 空白の入力
- 文字の確定/改行、入力した文字を使用した検索や機能実行
- 小文字/大文字の切り替え、濁点/半濁点をつける
- シフトキー
- 手書き入力領域
- テンキーキーボードまたはQWERTYキーボードに戻る

*1 上にフリックして引用アプリを起動します。右にフリックすると郵便番号を利用した住所入力ができます。ロングタッチすると音声入力を起動します。

*2 上下などにフリックしてカーソルを上下左右に移動させることもできます。キーボードにより移動できる方向や操作は異なります。

*3 文字確定後に上フリックでカーソル右側の文字削除、左フリックでカーソルの左側の文字全削除を行います。下フリックで削除した文字を戻します。


テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- 「テンキー」で入力方式を選択して利用します(▶P.29)。


フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの上に文字(フリックガイド)が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音/半濁音/拗音/促音を入力するには、フリックした後「」を1回または2回タップします。

ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- 濁音/半濁音/拗音/促音を入力するには、タップした後「」を1回または2回タップします。


ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りに文字(ジェスチャーガイド)が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音/半濁音/拗音/促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音/半濁音/拗音/促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。
- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字/小文字の切り替えができます。

2タッチ入力





1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

- 濁音/半濁音/拗音/促音を入力するには、タップした後「」を1回または2回タップします。

テキストを編集する

文字入力画面やWebページなどのテキストをロングタッチまたはダブルタップすると、選択した文字列の周辺に編集メニューが表示され、文字のコピー、切り取り、貼り付けなどの操作が行えます。

例:文字入力中に入力した文字を切り取り／コピーして貼り付ける場合

- 1 文字入力を確定した後に編集する文字をダブルタップ
- 2 「」／「」をドラッグして切り取り／コピーする範囲を選択
「すべて選択」をタップ(表示されていない場合は[]→[すべて選択]と操作)すると、入力した文字列全体を選択できます。
- 3 [切り取り]／[コピー]
- 4 貼り付ける位置でロングタッチ→[貼り付け]
テキストが入力されている場合は、挿入する位置でタップし、→[貼り付け]と操作します。



memo

◎アプリによっては、本機能を利用できない場合や、編集メニューの表示が異なる場合があります。

文字入力の設定をする

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[システム]→[言語と入力]
- 2 [画面キーボード]→入力方法を選択
表示される画面の項目をタップして設定してください。
サインインの画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



memo

◎設定できる項目は、入力方法により異なります。

電話・連絡先

電話	32
電話をかける	32
電話を受ける	32
伝言メモを利用する	33
自分の電話番号を確認する	33
連絡先	33
連絡先について	33
連絡先に登録する	33
連絡先から電話をかける.....	33
連絡先を編集する	33
連絡先を削除する	33

電話

電話をかける

1 ホーム画面で[☎]→[+]

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

☎：入力した数字を1桁削除

3 [🔊]→通話

通話中に音量大キー／音量小キーを押すと、通話音量(相手の声の大きさ)を調節できます。

4 [🔴]

memo

- ◎ 発信中／通話中に顔などによって画面をおおうと、誤動作を防止するため画面が消滅します。
- ◎ 送話口／マイクをおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→電話番号を入力→[:]

通知で電話する	電話番号に「186」を追加します。
非通知で電話する	電話番号に「184」を追加します。
2秒間の停止を追加	電話番号の後ろに「.」を追加します。 「.」の後ろに入力した番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
待機を追加	電話番号の後ろに「.」を追加します。 「.」の後ろに入力した番号を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

通話中に利用できる操作

通話中は次の操作が行えます。

操作	説明
ミュート	送話口／マイクをOFFにします。 タップすると相手にこちらの声が聞こえなくなります。 再度タップすると聞こえるようになります。
キーボード	プッシュ信号を送信します。
スピーカー	ハンズフリーで通話できます。 タップするとスピーカーから相手の声が聞こえるようになります。再度タップすると元に戻ります。
通話を追加	別の相手に電話をかけます。
保留	通話を保留／保留を解除します。
ゆっくりボイス	相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。
[🔴]	通話を終了します。

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客さまの現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客さまの現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により通知されます。
- ◎ 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客さまの所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後の一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否を設定した状態で、緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に無効になります。

履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面で[☎]→[通話履歴]

発信／着信履歴一覧画面が表示されます。

↑：発信

↓：着信

✖：不在着信または拒否した着信

2 電話をかける履歴の[☎]

選択した履歴の番号から電話を発信します。

発信／着信履歴一覧画面で履歴をタップすると履歴詳細画面が表示され、音声発信以外にもメッセージの送信や連絡先の作成などの操作を行うことができます。

memo

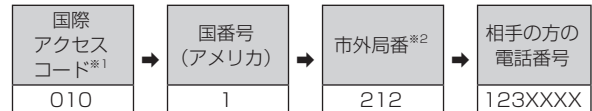
- ◎ 通話履歴をロングタッチすると番号を編集したり、履歴を削除したりするなどの操作が行えます。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[☎]



※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

memo

- ◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
 - ◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
 - ◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
 - ◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
- au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から (局番なし) 157番(通話料無料)
一般電話から ☎ 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

1 着信画面→[🔴]を上をスワイプ(フリック)

画面が点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合は、「電話に出る」をタップします。

2 通話→[🔴]

■ 着信を拒否する場合

1 着信画面→[🔴]を下をスワイプ(フリック)

着信音が止まって電話が切れ、相手の方には音声ガイドでお知らせします。

電話がかかってきた場合の表示について

初期状態では、着信すると次の内容が表示されます。


- 相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。連絡先に登録されている場合は、名前が表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※1」

※1 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

◎ 5G NET、5G NET for DATAをご契約いただいていない場合、「モバイルデータ」(▶P.64)をOFFにしてご利用ください。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または連絡先に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

◎ 着信時に音量大キー/音量小キーまたは電源キーを押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎ 動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモの設定(▶P.33)がOFFのときでも、着信時に手で伝言メモを起動できます。

あらかじめ伝言メモの設定を表示して、画面の指示に従って必要な権限を許可してください。

1 着信画面→を上をスワイプ(フリック)

画面が点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合は、画面上部の着信中表示をタップして全画面にしてから操作します。

着信を拒否する

1 着信画面→を下をスワイプ(フリック)



画面が点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合は、「拒否」をタップします。着信音が止まって電話が切れます。

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する

1 着信画面→を上をスワイプ(フリック)→メッセージを選択

画面が点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合は、画面上部の着信中表示をタップして全画面にしてから操作します。「カスタム返信を作成…」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

memo

◎ 既存のメッセージを編集する場合は、ホーム画面で→→[設定]→[クイック返信]→既存のメッセージを選択して編集→[OK]と操作します。

伝言メモを利用する


伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に回答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音時間は約60秒です。

1 ホーム画面で→→[設定]→[通話]

2 [伝言メモ]

3	伝言メモ	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
	伝言メモリスト	伝言メモリスト画面を表示します。録音された伝言メモを確認できます。
	着信呼出設定	着信呼出時間の設定を行います。

memo

◎ 録音された伝言メモを1件削除するには、伝言メモリスト画面で伝言メモをロングタッチ→[1件削除]→[はい]と操作します。伝言メモを全件削除するには、伝言メモリスト画面で→[全件削除]→[はい]→[OK]と操作します。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[連絡先]→→[設定]→[ユーザー情報]

連絡先

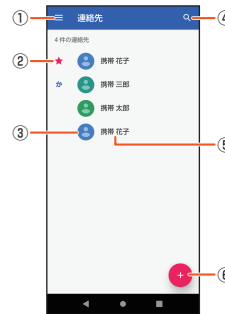
連絡先について

連絡先を登録できます。登録した連絡先に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

memo

◎ 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

連絡先画面



《連絡先リスト画面》

- ① メニュー
- ② クイックアクセスに登録した連絡先
- ③ 連絡先に設定された写真/画像
- ④ 検索
- ⑤ 連絡先に登録された名前
タップするとプロフィール画面が表示されます。
- ⑥ 登録(▶P.33)

連絡先に登録する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[連絡先]

連絡先リスト画面が表示されます。

2

新しい連絡先の作成画面が表示されます。


3 名前を入力



4 必要に応じて他の項目を入力

電話番号やメールアドレスなどを設定できます。「その他の項目」をタップして項目を増やすことができます。

5 [保存]

memo

◎ 新しい連絡先のデフォルトアカウントを変更するには、連絡先リスト画面で→[設定]→[新しい連絡先のデフォルト アカウント]と操作してアカウントを選択します。

◎ 連絡先のプロフィール画面で、をタップしてにするとクイックアクセスに登録され、電話帳画面の上部に表示されます。

連絡先から電話をかける

1 連絡先リスト画面→電話をかける連絡先をタップ

2 電話番号をタップ

連絡先を編集する

1 連絡先リスト画面→編集する連絡先をタップ

2 →各項目を編集→[保存]

連絡先を削除する

1 連絡先リスト画面→削除する連絡先をタップ

2 →[削除]→[削除]

memo

◎ シンプルホームの短縮ダイヤルに連絡先を登録している場合、連絡先を削除しても、シンプルホームの短縮ダイヤルは自動では削除されません。次の手順で削除してください。
短縮ダイヤルアイコンをロングタッチ→[ホーム配置をやめる]→[OK]

メール

メール	36
メールについて	36
auメール	36
auメールのご利用にあたって	36
auメールを利用する	36
迷惑メールフィルターを設定する	36
UQ mobileメール	37
UQ mobileメールのご利用にあたって	37
迷惑メールフィルターを設定する	37
+メッセージ(SMS)	38
+メッセージについて	38
+メッセージのご利用にあたって	38
+メッセージの利用方法を確認する	38
連絡先を登録する	38
公式アカウントを登録する	38
メッセージを送信する	38
グループを作る・グループに送信する	38
+メッセージを設定する	38
ブロックリストを設定する	39
Gmail	39
Gmail を起動する	39
Gmail を送信する	39
Gmail を受信する	39

メール

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ auメール

auメールのアドレスを利用してメールの送受信ができるauのサービスです(▶P.36)。

■ UQ mobileメール

UQ mobileメールをご利用になるお客さまは、メールアプリとしてCosmoSiaを利用することができます(▶P.37)。

memo

- ◎ アプリ表示名称は、「メール(CS)」です。
- ◎ UQ mobileのEメールサービスは、有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。詳細はUQ mobileお客さまセンターまたはUQ mobileホームページをご確認ください。

■ +メッセージ(SMS)

電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。auの電話番号宛だけでなく、国内他事業者にもメッセージを送信できます(▶P.38)。

■ Gmail

Google が提供するメールサービスです。Gmail のアカウントだけでなく、PCメールのアカウントも設定できます(▶P.39)。

auメール

auメールのご利用にあたって

- auメールを利用するには、5G NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップ/au Styleまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- auメールサービスの詳細については、auホームページをご参照ください。<https://www.au.com/support/service/mobile/email/>
- 操作方法や画面表示は予告なく変更される場合があります。

auメールの初期設定について

- auメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。初回起動時に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信やVPN接続では初期設定できません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒~3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。

memo

- ◎ auメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。
- ◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、auメールの送受信に時間がかかることがあります。

auメールを利用する

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[auメール]
auメールのトップ画面が表示されます。

auメールの利用方法を確認する

auメールの「アプリ操作ガイド」で利用方法を確認できます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[auメール]→[≡]→[アプリ操作ガイド]
auメールアプリの操作説明に関するWebページが表示されます。
- 2 確認する利用方法をタップ
「動画で確認する」で動画による説明も確認できます。

memo

- ◎ データセーバー(▶P.64)設定中の場合、メールを受信するときは、auメールのトップ画面を下方向にスワイプ(フリック)してください。
- ◎ auメールの利用方法の確認には、データ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信/拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[auメール]→[≡]→[アドレス変更/迷惑メール設定]
• 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ おすすめの設定にする場合

- 2 [おすすめの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

- 2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

ヘルプ	迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
おすすめ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメです。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録/アドレス帳受信設定をする 個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯/PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯/PHS等の事業者毎に受信/拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」にチェックを入れることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のauメールアドレス」またはその一部(au.com/@ezweb.ne.jp)などを設定する場合は、「必ず受信」のチェックを外してください。 アドレス帳受信設定へ:「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
携帯/PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯/PHS事業者毎にメールを一括で受信/拒否します。
その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制:メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制:送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを入れて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制:メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制:本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウイルスメール規制:添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

memo

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

UQ mobileメール

UQ mobileメールのご利用にあたって

- UQ mobileメールは有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。UQ mobileメールの詳細については、UQ mobileホームページをご参照ください。
<https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/mail/>
- UQ mobileメールのご利用にはCosmoSiaアプリが必要です。
- 操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。

メールサービスの初期設定について

- UQ mobileメールを利用するには、あらかじめCosmoSiaアプリの初期設定が必要です。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 操作中に確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定の詳細については、UQ mobileホームページをご参照ください。
<https://www.uqwimax.jp/mobile/support/guide/mail/>

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[メール(CS)]
サービス一覧画面が表示されます。

2 [UQ mobile メール]

3 画面の指示に従ってデフォルトのSMSアプリを「メール(CS)」に変更

メール設定が完了するとメールアドレスが表示されます。
メールアドレスを変更することもできます。



memo

- ◎メールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。
- ◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、メールの送受信に時間がかかることがあります。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[メール(CS)]→[E]→[メール設定画面]→[メールアドレス変更・迷惑メールフィルター・自動転送]**
・確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ おすすめの設定にする場合

2 [おすすめの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3	ヘルプ	迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
おすすめ設定	おすすめ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメです。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 ・受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。
	拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。 また、携帯／PHS事業者毎にメールを一括で受信／拒否します。
	その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制: メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制: 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 HTMLメール規制: メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制: 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウィルスメール規制: 添付ファイルがウィルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
	全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。



memo

- ◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

+メッセージ(SMS)

+メッセージについて

「+メッセージ(SMS)」アプリは、電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。

auの電話番号宛だけでなく、国内他事業者(NTTドコモ、ソフトバンクなど)にもメッセージを送信でき、企業の公式アカウントとメッセージのやりとりができます。

+メッセージのご利用にあたって

初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

+メッセージのモードについて

+メッセージは、相手が+メッセージを利用している場合、スタンプや写真、動画などのコンテンツを送信できます。相手が+メッセージを利用していない場合は、SMSとしてテキスト文のみを送信します。

+メッセージの利用方法を確認する

1 ホーム画面で[🔍]

2 [マイページ]→[ヘルプ]

次の内容をブラウザで確認できます。ご希望の操作説明をご確認ください。

- ・よくあるご質問
- ・使い方ガイド

※なるホーの使い方練習(下記QRコードにアクセスすると、基本的な使い方を実際に体験できます。)



連絡先を登録する

■ QRコードで連絡先を登録する

+メッセージの利用者どうしてであれば、専用のQRコードを読み込むことで、連絡先に登録できます。

1 ホーム画面で[🔍]

2 [連絡先]→[+]→[QRコードで追加]



◎専用のQRコードを表示するには、ホーム画面で[🔍]→[マイページ]→[QRコード]と操作します。

■ 新しい連絡先を登録する

1 ホーム画面で[🔍]

2 [連絡先]→[+]→[新しい連絡先]

「連絡先」アプリまたは「かんたん電話帳」アプリの新しい連絡先の作成画面が表示されます。

3 連絡先を登録

公式アカウントを登録する

1 ホーム画面で[🔍]

2 [公式アカウント]または[連絡先]→[公式アカウントを探す]→[ホーム]または[カテゴリ]

おすすめやカテゴリごとに分けられた公式アカウントが表示されます。登録した公式アカウントは「利用中」に表示されます。

メッセージを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字のメッセージ(メール本文)に加え、スタンプや写真・動画などのコンテンツを送信できます。

1 ホーム画面で[🔍]

連絡先:連絡先一覧画面を表示

メッセージ:メッセージ一覧画面を表示

2 [メッセージ]→[+]→[新しいメッセージ]

メッセージの作成画面が表示されます。

- ・同じ相手にメッセージを送信するときは、メッセージ一覧で相手をタップしてもメッセージを作成できます。

3 連絡先一覧から相手先を選択

- ・「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
- ・「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
- ・SMSを海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。
[010] + [国番号] + [相手先電話番号]
※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

- ・本文は、相手先が+メッセージを利用している場合、2,730文字相当まで入力できます。
- ・SMSモード利用の場合、全角最大670/半角最大1,530文字まで入力できます。

5 [👉]

メッセージが送信されます。

- ・送信したメッセージをロングタッチすると、コピー、転送、削除ができます。

グループを作る・グループに送信する

1 ホーム画面で[🔍]

2 [メッセージ]→[+]→[新しいグループメッセージ]

3 連絡先一覧から相手先を選択

- ・「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
 - ・「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
- ※グループは100人まで選択できます。

4 [OK]

5 [グループ名(入カスキップ可)]→任意の名称を入力

[👤]をタップしてグループのプロフィール写真を設定することもできます。

6 [OK]

7 メッセージを入力し、送信

メッセージの送信方法については「メッセージを送信する」(▶P.38)をご参照ください。

+メッセージを設定する

1 ホーム画面で[🔍]

2 [マイページ]→[設定]

+メッセージの設定メニューが表示されます。

3	メッセージ	バックアップや連絡先未登録者フィルタリングなどの設定をします。
	公式アカウント	公式アカウントの通知音設定をします。
	写真や動画	写真や動画のダウンロード設定やサイズなどの設定をします。
	テーマカラー・背景	テーマカラーや背景の設定をします。
	通知	メッセージ着信時の通知に関する設定をします。
	プライバシー	パスコードやブロックリストなどの設定をします。
	その他	ユーザー情報引き継ぎ設定や初期化などの設定をします。

ブロックリストを設定する

相手とのやりとりをブロックすることができます。ブロック/ブロック解除の設定ができます。

- 1 ホーム画面で[🔍]
- 2 [マイページ]→[設定]→[プライバシー]→[ブロックリスト]
- 3 [ブロックリスト編集]
ブロックリストが表示されます。
- 4 [⊕]→連絡先一覧からブロックする相手先を選択
 - ・「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
 - ・「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。

公式アカウントとのやりとりをブロックする

- 1 ホーム画面で[🔍]
- 2 [メッセージ]
ブロックしたい公式アカウントを選択します。
- 3 公式アカウントのメッセージ画面→[☰]
- 4 [ブロック]



◎公式アカウントをブロックすると、同時に利用が停止されます。また、「利用中」から削除されます。

Gmail

Gmail を起動する

Gmail とは、Google が提供するメールサービスです。本製品からの確認・送受信などができます。

- ・ Gmail の利用には Google アカウントの設定が必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.19)をご参照ください。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[Gmail]
Gmail 画面が表示されます。

Gmail を送信する

- 1 Gmail 画面→[作成]
- 2 宛先を入力
- 3 件名入力欄をタップ→件名を入力
- 4 本文入力欄をタップ→本文を入力
- 5 [▶]

Gmail を受信する

- 1 Gmail 画面→画面を下をスライド
- 2 メールをタップ
メールの内容が表示されます。

インターネット

インターネット接続.....	42
インターネットに接続する.....	42
Chrome™	42
Webページを表示する	42
ブックマーク/履歴を利用する	43

インターネット接続

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi[®])機能を使用してインターネットに接続できます。

- データ通信(5G NET, 5G NET for DATA)(▶P.42「データ通信を利用する」)
- 無線LAN(Wi-Fi[®])機能(▶P.61「無線LAN(Wi-Fi[®])機能を利用する」)

memo

◎5G NETまたは5G NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「5G NET」や「5G NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめ5G NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

5G NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]→[アクセス ポイント名]→[5G NET for DATA]と操作してください。

memo

◎5G NET, 5G NET for DATA, データ通信料定額/割引サービスについての最新情報は、auのホームページをご参照ください。

データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額/割引サービスのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

ご利用データ通信料の確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。
<https://www.au.com/support/>

Chrome™

Webページを表示する

1 ホーム画面で[🌐]

2 画面上部のアドレスバーをタップ

アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスライドして表示します。

3 URLまたは検索する文字を入力

入力した文字から始まる候補が入力欄の下に一覧表示されます。

4 一覧表示から項目を選択

入力した文字を直接検索するには、ソフトウェアキーボードの「実行」をタップします。

memo

◎手順3でアドレスバーに🔍が表示されているときは、タップすると検索する語句を音声で入力できます。

◎前のページに戻るには[◀]をタップします。

タブを利用する

Webページを表示中に新しいタブを開き、複数のページを表示することができます。

新しいタブを開く

1 Webページ→[⋮]→[新しいタブ]

2 Webページを表示

アドレス入力欄の横に表示されているアイコン内の数字は、開いているタブの件数です。

タブを切り替える

1 [🔍]

現在開いているタブがサムネイルで一覧表示されます。

2 表示するタブをタップ

memo

◎手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

タブを閉じる

1 [🔍]→閉じるタブの[×]

閉じるタブを左右にスワイプ(フリック)してもタブを閉じることができます。

memo

◎手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

◎手順1のタブを閉じるアイコンは、タブによって色が異なります。

ページ内のテキストを検索する

1 Webページ→[⋮]→[ページ内検索]

画面上部に検索バーが表示されます。

2 検索バーに検索する文字を入力



文字を入力すると、一致する文字がハイライト表示されます。

「^」/「v」をタップすると、前後の一致項目にハイライトが移動します。

memo

◎検索バーを閉じるには[×]をタップします。

ページ内のテキストをコピーする

- 1 Webページ→コピーするテキストをロングタッチ
- 2 「」/「」をドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択
選択されたテキストはハイライト表示されます。
- 3 [コピー]



- ◎ コピーしたテキストは、他のアプリでも利用できます。貼り付け先のテキストボックスをロングタッチ→[貼り付け]と操作します。
- ◎ テキストを選択できないWebページもあります。

ページ内の画像をダウンロードする

- 1 Webページ→ダウンロードする画像/画像を含むリンクをロングタッチ
- 2 [画像をダウンロード]
ダウンロードした画像は、「フォト」アプリなどから確認できます。
 - ・確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

リンクを操作する

- 1 Webページ→リンクをロングタッチ
メニューが表示され、リンクのダウンロードやURLのコピーなどができます。



- ◎ リンクやWebページによってはメニューが表示されなかったり、ダウンロードなどができなかつたりする場合があります。

ブックマーク/履歴を利用する

ブックマークの保存や履歴の確認ができます。

ブックマークに登録する

- 1 ブックマークに登録するWebページを表示
- 2 [:]→[☆]

ブックマークを開く

- 1 Webページ→[:]→[ブックマーク]
ブックマーク画面が表示されます。
- 2 開くブックマークをタップ



- ◎ ブックマーク画面で「:」をタップするか、ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集/削除/フォルダ移動などができます。

履歴を確認する

- 1 Webページ→[:]→[履歴]
履歴画面が表示されます。
- 2 確認する履歴をタップ

履歴を削除する

- 1 履歴画面→削除する履歴の[✕]



- ◎ 履歴をすべて削除するには、履歴画面→[閲覧履歴データを削除...]→削除する期間を選択→[閲覧履歴]にチェックが入っているかを確認→[データを削除]と操作します。

ツール・アプリケーション

アプリ	46
アプリ一覧	46
カメラ	47
カメラをご利用になる前に	47
静止画を撮影する	48
動画を撮影する	48
Live Auto Zoomで撮影する	48
カメラの撮影設定	48
QRコードを読み取る	49
画像や動画を再生する	49
NFC／おサイフケータイ®	50
おサイフケータイ®とは	50
FeliCa®に対応したサービスを利用する	50
My au	51
My auを利用する	51
My UQ mobile	51
My UQ mobileを利用する	51
あんしんフィルター for au	51
あんしんフィルター for auを利用する	51
Android アプリ	52
Google Play を利用する	52
アプリケーションを管理する	52
時計	53
時計を利用する	53
らくらくコミュニティ	53
らくらくコミュニティを利用する	53
radiko+FM	53
ラジオを聴く	53
ララしあコネクト	53
ララしあコネクトを利用する	53
FASTメモ	54
FASTメモを起動する	54
FASTメモを確認する	54
FASTウォレット	54
お店を登録する	54
FASTウォレットを利用する	54
かんたんお引越し	54
かんたんお引越しを利用する	54
ゲームゾーン	54
ゲームゾーンを利用する	54

アプリ

アプリ一覧

アプリ画面に表示されているアプリは次のとおりです。
お客さまの契約状況や使用状況などにより、搭載されるアプリや、アプリ名が異なる場合があります。

アプリ	概要	ページ
アシスタント	Google アシスタントを起動できます。	—
あんしんフィルター for au	お子さまが「スマートフォン」「タブレット」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.51
ウイルスブロック	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックしたりできるアプリです。	—
おサイフケータイ	複数の登録済みおサイフケータイ®対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。	P.50
オススメ機能	かんたんアプリ起動や文字入力の設定、洗いや方の確認などができます。	—
カメラ	静止画や動画を撮影します。	P.47
カレンダー	カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。	—
かんたんお引越	電話帳やスケジュールなどのデータをmicroSDメモリカードを利用して本製品に移行できます。	P.54
かんたん電話	電話の利用や通話の設定ができます。	—
かんたん電話帳	電話帳を利用できます。	—
ゲームゾーン	快適にゲームをプレイするための各種設定やランチャー／ギャラリー機能が利用できます。	P.54
ケンタッキー	ケンタッキーフライドチキンの公式モバイルアプリのインストーラー(ダウンローダー)です。	—
サービスToday	ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、スマートフォンを楽しむためのおトクで便利な情報をお届け。	—
スプレッドシート	スプレッドシートの作成・編集・共有ができます。	—
スライド	プレゼンテーションの作成・編集・共有ができます。	—
データお預かり	写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されているデータをauのサーバーに預けるアプリです。	—
デジラアプリ	データ容量の残量が分かる、データ容量がなくなったらデータチャージ(データ容量の購入)が簡単にできるアプリです。	—
ドキュメント	ドキュメントの作成・編集・共有ができます。	—
ドライブ	本製品に保存されている写真や動画などをGoogle ドライブにアップロードして、複数のデバイスからアクセスできます。文書を作成して共有したり、編集したりできます。	—
ニュース	最新のニュースやお好みの情報をまとめて閲覧できます。	—
フォト	写真の閲覧や加工ができます。またGoogleのクラウドに保存することもできます。	—
マップ	現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行うことができます。	—
メール(GS) ^{*1}	CosmoSiaアプリを使用して、UQ mobileのEメールサービスを利用できます。	P.37
らくらくコミュニティ	共通の趣味や話題を通じて会員同士が交流できる安心・安全なインターネットコミュニティです。	P.53
ララしあコネク	歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧などのデータを元に、健康管理をサポートする総合アプリです。	P.53
遠隔操作サポート	「スマートフォン」「タブレット」などの操作で困ったとき、お客さまの端末の画面を共有し、お客さまの操作をサポートするアプリです。	—

アプリ	概要	ページ
使い方サポート	<p>【お困りごと解決のサポート】 スマートフォンの初期設定やデータ移行、スマートフォンにまつわる様々な機器のお困りごとを解決します。コールセンターへのお電話やメッセージでのお問い合わせ、電話でのご予約もかんたんに行えます。</p> <p>【お知らせ通知】 お客さまにぴったりの各種情報をお知らせ機能から随時ご提供します。</p> <p>【かんたん診断機能】 タップ一つで気軽にスマートフォンの健康診断ができます。</p> <p>【ネットワークスピードチェック】 現在使用しているWi-Fi®やモバイルデータ通信の通信速度が遅いと感じたとき、ネットワークのスピードをチェックし、改善につながる方法をご提案します。</p>	P.86
時計	アラーム、時計(世界時計)、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間が利用できます。	P.53
取扱説明書	本製品の取扱説明書です。	—
設定	本製品の各種設定を行います。	P.64
洗いや方の説明	本製品の洗いや方を確認できるアプリです。	—
通話設定	通話の設定ができます。	—
電卓	加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。	—
電話	電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。	P.32
迷惑メッセージ・電話ブロック	迷惑SMS・電話からお客さまを守るサービスです。 架空請求などの迷惑SMSや迷惑電話を自動検知し、スマートフォンの画面に警告画面を表示したり、迷惑メッセージフォルダに自動振り分けをします。 また、公共施設や企業などからの着信時には、アドレス帳になくても発信元を自動表示します。	—
連絡先	連絡先を管理します。	P.33
Amazonショッピング	Amazonショッピングアプリは、「探す」「比べる」「買う」「受け取る」を簡単、便利にする機能で、お客様のお買い物をサポートします。	—
Apple Music	9000万曲以上聴き放題。au・UQ mobileからApple Musicにご加入で6カ月間無料。	—
arrows passport	ID(アカウント)やパスワードなどの認証情報を登録して管理します。	P.69
arrowsポータル	上手に製品を使いこなすための情報に加え、あなたのエシカルな行動を後押しするサービスをご利用できます。 また、La Member's会員サービスへ登録・ログインいただくと、La Pointのご利用などもっとお楽しみいただけます。	—
au 5Gチャンネル	「au 5Gチャンネル」はドラマ・アニメ・映画、音楽などのエンタメ情報や生活に根差したお役立ち情報、かわいい動物達の癒し動画や話題のおもしろ動画など、様々なトレンド動画を情報料無料でお楽しみいただけます。 また、5Gマップにてお客さまの生活圏が5Gエリアかどうかを確認でき、5Gエリア化された際にお知らせする機能もご利用いただけます。	—
au PAY	au PAY コード支払い、au PAY プリペイドカード、au PAY カードをより便利に使いこなすためのアプリです。 au PAY決済のご利用、au PAY カード情報確認、au PAY 残高へのチャージ、チャージ残高、保有ポイント数、利用履歴、使えるお店・ポイントアップ店の確認などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	—
au PAYマーケット	商品点数4000万品以上の多種多様な品揃え。Pontaポイントがすぐくたまってつかえる「au PAY マーケット」は、au公式の総合ショッピングサイトです。	—
au Wi-Fi アクセス	カフェなどにある全てのauのWi-Fi®スポットについて、位置情報対応マップでのご案内と自動接続を提供します。 auスマートパスプレミアム/au登録の場合、フリーWi-Fi®も安心して使えるVPN機能もご利用いただけます。	—
auスマートパス	「auスマートパスプレミアム/auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。おトクで、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。	—

アプリ	概要	ページ
auセルフケア	お客さまの端末における設定状態の確認や設定の変更を支援するアプリです。	—
auメール	auメールのアドレスを利用してメールを送受信できます。	P.36
Chrome	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。	P.42
Facebook	友達や家族などの親しい人々や、同じ興味・関心を持つ人々とのコミュニティとつながることができる無料の「实名制」コミュニケーションアプリです。	—
FASTウォレット	お店での支払いや、アプリの利用をスムーズにできるアプリです。	P.54
FASTメモ	すばやくメモ(テキスト・音声)を登録したり、写真をメモとして保存することができるアプリです。	P.54
Files	本製品やmicroSDメモ리카ードなどのデータを管理できるアプリです。	—
Gmail	Google や一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。	P.39
Google	本製品内やWebサイトを検索します。	P.25
Google TV	映画などを購入またはレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。	—
Instagram	写真や動画などのビジュアルを通して、友達や家族などの親しい人々やお気に入りのクリエイター、同じ興味・関心を持つ世界中の人たちとつながることができる無料のアプリです。	—
Meet (Duo)	ビデオ通話ができるアプリです。	—
Messenger	家族や友達、知り合いと、いつでも、どこでも、どんなデバイスからでもメッセージをカスタマイズして自分の気持ちを表現したり、コンテンツやその瞬間の体験を相手とシェアできるアプリです。	—
My au	毎月のご請求額や、データ通信量(ギガ)、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。	P.51
My UQ mobile ^{*1}	データ残量(ギガ)や月々のご請求額が確認できるUQ mobileご契約者様専用アプリです。データ消費せずに通信できる節約モードへの切り替えもワンタッチです。	P.51
Netflix	世界最大級の動画配信サービス。各種受賞作を含む幅広いジャンルの作品や、Netflixでしか観られないオリジナル作品が完全見放題!	—
Photoshop Express	Photoshop Expressを利用できます。	—
Playストア	Google Playを利用できます。	P.52
Prime Video	映画、TV番組、アニメ、おすすめのタイトルを視聴しましょう。Amazon限定配信オリジナル作品や、世界のオリジナル作品を配信しています。©Copyright 2023 Amazon.com and its affiliates.	—
radiko+FM	地上波のラジオ音声を、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサービスです。FMラジオにも対応しています。	P.53
TELASA	テレ朝の人気番組をはじめとする、ドラマ、バラエティ、アニメ、映画、特撮に加え、ドキュメンタリー、海外ドラマ、韓国ドラマ&音楽番組・タイドラマ&バラエティなど、豊富なラインナップをお届けします。	—
ULTIASオススメ機能	選べるキーボード、スマホ入力(フリック)学習モード、ATOKキーワードExpress(有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信)を設定します。	—
YouTube	YouTube™の動画を再生できます。	—
YT Music	YouTube Musicの音楽を再生します。	—
+メッセージ(SMS)	電話番号でメッセージのやりとりをしたり、写真や動画などのコンテンツを送信したりできるアプリです。	P.38


*1 UQ mobileのSIMカードを利用時に表示されます。



◎ ご利用のSIMカードによって、表示されるアプリが異なる場合があります。
◎ 表に記載のアプリ以外にも、以前にご利用・ご契約いただいたアプリがアプリ画面に表示される場合があります。

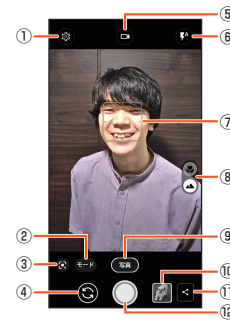
カメラ

カメラをご利用になる前に

- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがつかないようにご注意ください。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- 撮影待機中に約2分間操作をしないとカメラは終了し、ステータスバーに「」が表示されます。

撮影画面の見かた

静止画・動画撮影画面で、シャッターボタン／録画開始ボタンをタップして、静止画の撮影／動画の録画をすることができます。



- ① 設定メニュー表示
- ② 撮影モード
撮影モードを選択できます。
- ③ Google レンズ
Google レンズを起動します。
- ④ カメラ切替
アウトカメラ／インカメラを切り替えます。
- ⑤ 静止画撮影／動画撮影切替
- ⑥ フラッシュ
フラッシュを切り替えます。
- ⑦ フォーカス枠
顔が検出された場合は、顔に自動的にフォーカスを合わせて顔検出枠を表示します。顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせるか、または被写体をタップしてフォーカス枠を表示します。
- ⑧ マクロ切替
マクロ撮影と通常の撮影を切り替えます。
- ⑨ 撮影モード表示
- ⑩ 直前に撮影した静止画／動画
撮影した静止画や動画を確認できます。
カメラ再起動後は枠のみの表示となりますが、タップして撮影した静止画や動画を表示できます。
- ⑪ 共有
- ⑫ シャッターボタン／録画開始ボタン

静止画を撮影する

- 1 ホーム画面で[📷]
静止画撮影画面が表示されます。
- 2 撮影画面に被写体を表示→[👁]
シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
 - 音量大キー／音量小キーを押しても、静止画を撮影できます。

動画を撮影する

- 1 ホーム画面で[📷]→[🎥]
動画撮影画面が表示されます。
- 2 撮影画面に被写体を表示→[👁](開始)
撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
 - 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。
 - 録画中に[👁]をタップして一時停止できます。[👁]をタップして録画を再開します。
 - 音量大キー／音量小キーを押しても、撮影を開始できます。
- 3 [👁](停止)
撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。
 - 音量大キー／音量小キーを押しても、撮影を停止できます。

Live Auto Zoomで撮影する

撮影画面で被写体をタップするかまたは丸で囲むと、自動で被写体をズームして画面中央に配置した追従状態の動画が撮影できます。

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 [モード]→[Live Auto Zoom]
- 3 ズームする被写体をタップ(または丸で囲む)
被写体に丸い白色のフォーカス枠が表示され、被写体をズームします。
 - 白色のフォーカス枠内をタップすると、フォーカス枠がグレーに変わりズームを一時的に解除します。
 - もう一度タップするとズームします。フォーカス枠外の別の被写体をタップする(または丸で囲む)と、フォーカスの対象が変わります。
 - 撮影画面をダブルタップすると、フォーカスを解除します。
 - 被写体選択後は、画面をピンチアウト／ピンチインして拡大／縮小ができます。
- 4 [👁](開始)
撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
 - 被写体が撮影画面の中央から多少ずれた場合、白いフォーカス枠がズームした状態で被写体を撮影画面の中央にとらえ直します。
 - ズームしている被写体が撮影画面から外れた場合、フォーカス枠が赤色になりズームは解除されます。再び被写体を撮影画面にとらえると、被写体を追従します。
 - 音量大キー／音量小キーを押しても、撮影を開始できます。
- 5 [👁](停止)
撮影停止音が鳴り、撮影が停止して保存されます。
 - 音量大キー／音量小キーを押しても、撮影を停止できます。

memo

- ◎ Live Auto Zoomでの撮影サイズは、「Full HD」(1920×1080)となり変更できません。
- ◎ 被写体と同色系の背景上で撮影している場合、背景の一部が選択された状態となったり、追従が外れてしまうことがあります。
- ◎ 同様の形状の被写体と重なった場合、追従が外れてしまうことがあります。
- ◎ 背景の一部が選択されたり、追従が外れたりした場合、撮影画面で被写体をタップするか、または丸で囲み、再選択してください。

カメラの撮影設定

撮影画面で「モード」をタップすると、撮影モードの切り替えができます。また、「📷」をタップするとカメラの設定画面が表示され、静止画・動画の各種撮影設定を変更できます。

■ 撮影モードの切り替え

カメラを起動すると、静止画撮影画面が表示されます。「モード」をタップして静止画以外の撮影モードに切り替えることができます。

■ 写真

静止画を撮影できます。
他の撮影モード画面から戻るときには「モード」をタップして切り替えます。

■ ビデオ

動画を撮影できます。

■ Photoshop Expressモード

Photoshop Expressを起動し、撮影した静止画を自動で補正します。

- 補正前と補正後の静止画が保存されます。
- Adobe IDでのログインが必要です。

■ ポートレート

顔を認識し、人物の背景にぼかしを付けて撮影します。ぼかしの度合いは調整できます。

■ Live Auto Zoom

狙った被写体をズームして画面中央に配置して撮影します。被写体の動きに合わせてカメラを動かす追従状態の動画を撮影できます(▶P.48)。

■ スロモ録画

スローモーション効果を適用した動画を録画できます。

■ Google Lens

Google レンズを起動します。

■ 共通設定

■ 保存先

microSDメモ리카ードを装着している場合に、タップしてONにすると、撮影したデータの保存先をmicroSDメモ리카ードに設定できます。

■ 位置情報

撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。タップしてONにすると、位置情報を取得中(未取得)📍は、取得すると📍のアイコンが撮影画面に表示されます。

■ 露出/WB調整

タップしてONにすると、撮影画面に露出補正とホワイトバランス調整のアイコン(🔆)のアイコンが表示されます。タップしてそれぞれの設定値を変更できます。

- 「露出/WB調整」をONにすると、静止画の自動シーン認識は利用できません。

■ グリッド表示

撮影画面で構図を決める補助線(グリッド)を表示します。

■ QRコード[®]読み取り

撮影画面にQRコードを表示させると、自動的にQRコードを読み取るように設定します。

■ 指紋センサー長押し撮影

指紋センサーを長押しして静止画を撮影したり、動画撮影中に静止画を撮影したりします。

■ 静止画設定

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

- ・アウトカメラとインカメラでは撮影サイズは異なります。

■ セルフタイマー

ONに設定すると、撮影画面に \odot (インカメラでは \odot など)が表示されます。タップして、2秒後/3秒後/5秒後に撮影されるように設定できます。アウトカメラ/インカメラそれぞれ個別にセルフタイマーを設定できます。

■ HDR撮影

露光時間の違う3枚の画像を連写・合成して、白飛びや黒つぶれを補正した静止画を撮れるように設定します。

- ・「HDR撮影」をONに設定すると、フラッシュ、露出/WB調整、連写、手ぶれ補正、自動シーン認識、輪郭強調は使用できません。

■ 自動シーン認識

ONに設定すると、シーンを自動で判断して撮影します。

自動検出したシーンは、「人物」「夜景」「逆光/HDR」などのシーン名称が表示されます。

シーン認識を解除する場合は、シーン名称の横の「 \otimes 」をタップします。

- ・フラッシュを \odot (オート)に設定して、「夜景」を選択すると、フラッシュは点灯しません。フラッシュアイコンをタップして \odot / \odot (点灯)にすると、フラッシュ撮影ができます。
- ・逆光を検出した場合は自動シーン認識はOFFになり、自動で「HDR撮影」になります。
- ・「自動シーン認識」をONに設定すると、露出/WB調整を使用できません。

■ 自動シーン認識説明文表示

ONに設定すると、シーンを認識したときに説明文を表示します。

■ 手ぶれ補正

静止画撮影時の手ぶれを軽減します。

- ・「手ぶれ補正」をONに設定すると、長押し連写は使用できません。

■ 長押し連写

シャッターボタンをロングタッチまたは音量大キー/音量小キーを長押しして連写撮影ができます。

- ・最大100枚までの連写撮影ができます。
- ・「長押し連写」をONに設定すると、手ぶれ補正、ビューティーは使用できません。
- ・「長押し連写」は、インカメラでの撮影やHDR撮影、フラッシュやセルフタイマーの設定には対応していません。

■ ビューティー

美肌、肌の明るさ、目の大きさ、輪郭補正の効果をかけて撮影します。

- ・「ビューティー」をONに設定すると、長押し連写は使用できません。
- ・「ビューティー」は、マクロカメラでの撮影には対応していません。

■ インカメラタッチシャッター

インカメラで撮影画面をタップして撮影できるように設定します。

■ 輪郭強調

被写体が鮮明に見えるように補正して撮影します。

- ・マクロ撮影時のみ設定できます。アウトカメラの通常の撮影およびインカメラでの撮影時には設定できません。

■ 動画設定

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ 手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを軽減します。

■ コーデック

撮影する動画の圧縮方式をH.264、H.265から選択します。

■ その他

■ 設定のリセット

カメラ設定を初期状態にリセットします。

■ 撮影画面での設定

■ アイキャッチアニメ

インカメラではアイキャッチアニメを表示することができます。視線をアニメーションに合わせることで、自然と視線がカメラに合った静止画や動画を撮影できます。

インカメラの撮影画面で \odot 「 \odot 」などをタップして設定できます。

QRコードを読み取る

カメラの静止画撮影画面でQRコードのデータを読み取ります。

初期状態ではカメラの「QRコード[®]読み取り」機能がONに設定されています。

- ・被写体(QRコード)からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- ・QRコードのバージョン(種類やサイズ)によっては読み取れない場合があります。
- ・傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- ・QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で \odot

2 静止画の撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると、撮影画面の上部にポップアップが表示され、「詳細」をタップすると、読み取り結果画面が表示されます。

- ・「コピー」をタップして表示されたURLなどのテキストをコピーできます。
- ・読み取り結果が電話帳の場合は、「電話帳に登録」をタップして登録できます。
- ・読み取り結果がWi-Fi[®]のアクセス情報の場合は、「Wi-Fiに接続」をタップし、再度QRコードをスキャンして接続操作ができます。

画像や動画を再生する

静止画や動画を閲覧・再生できます。

1 ホーム画面で \odot

「フォト」アプリが起動します。

NFC / おサイフケータイ[®]

おサイフケータイ[®]とは

おサイフケータイ[®]とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa[®]機能やリーダー/ライター(R/W)機能などが本製品でご利用いただけます。おサイフケータイ[®]を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービス提供会社のおサイフケータイ[®]対応アプリをダウンロードする必要があります。おサイフケータイ[®]対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。なお、ご利用にあたっては、auホームページをあわせてご参照ください。<https://www.au.com/mobile/service/osaifu/support/caution/>

おサイフケータイ[®]のご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ[®]対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ[®]のロックをおすすめします(▶P.50)。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客さまにて十分ご留意の上管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ[®]をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。NFC機能をOFFに設定している場合は、NFC機能をONにした上で電源をお切りください。
- おサイフケータイ[®]対応アプリをアンインストールするときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してからアンインストールしてください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ[®]の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客さまにFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ[®]対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ[®]対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ[®]がご利用いただけないことがあります。
- おサイフケータイ[®]対応アプリ起動中は、おサイフケータイ[®]によるリーダー/ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

リーダー/ライターとデータをやりとりする

マークをリーダー/ライターにかざすだけでFeliCaチップ内のデータをやりとりできます。



- マークをリーダー/ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー/ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー/ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー/ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

memo

- ◎ おサイフケータイ[®]対応アプリを起動せずに、リーダー/ライターとのデータの読み書きができます。
- ◎ 本製品の電源を切っただけでもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用いただけません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用になれます。
- ◎ 「画面ロック中はロック」をONにしている場合、画面ロック中はご利用いただけません(▶P.50)。
- ◎ NFC機能をOFFにしている場合はご利用いただけません。

NFC機能を設定する

NFC機能をONにする

- 1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[NFC/おサイフケータイ 設定]
NFC/おサイフケータイ設定画面が表示されます。
- 2 [NFC/おサイフケータイ]の「」をタップしてにする
NFC機能がONになります。NFC機能をONにすると、おサイフケータイ[®]対応サービスのすべてが利用できます。

memo

- ◎ 「おサイフケータイ」アプリで「」/「」→[NFC/おサイフケータイ 設定]と操作してもNFC/おサイフケータイ設定画面を表示することができます。
- ◎ NFC機能がOFF中に電池が切れると、NFC機能をONにできなくなります。電池残量にご注意ください。充電が切れた場合は、充電後にNFC機能をONにしてください。

NFC機能をOFFにする

- 1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[NFC/おサイフケータイ 設定]
- 2 [NFC/おサイフケータイ]の「」をタップしてにする
NFC機能をOFFにすると、おサイフケータイ[®]対応サービスの利用を制限できます。これにより、おサイフケータイ[®]対応サービスの機能がロックされます。

画面ロック連動機能を設定する

NFC機能がONの場合に「画面ロック中はロック」をONにすると、画面ロック時および画面消灯時にNFC機能が自動的にOFFになります。画面ロック解除時にNFC機能は自動的にONに戻ります。

- 1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[NFC/おサイフケータイ 設定]
- 2 「画面ロック中はロック」の「」をタップしてにする

FeliCa[®]に対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

- 1 ホーム画面で画面を上スライド→[おサイフケータイ]
サービス一覧画面が表示されます。
初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 利用するサービスを選択
サービスに対応したアプリをダウンロードするか、またはサービス紹介サイトに移動して、画面の指示に従って操作してください。

My au

My auを利用する

月々のご請求額やデータ残量(ギガ)を簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。


1 ホーム画面で画面を上をスライド→[My au]

My auのホーム画面が表示されます。
・初めて起動したときは、画面の指示に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択する

データ利用量、ご請求額、Pontaポイントやau PAY残高等の確認や、プラン変更など各種お手続きができます。

memo

◎困ったときやご契約内容の確認・変更は、My auのホーム画面右上の「」をタップし、メッセージサポート画面からお問い合わせください。
24時間いつでもお気軽にお問い合わせできます。

My UQ mobile

My UQ mobileを利用する

データ残量の確認や節約モードへの切り替え、データチャージができます。また、月々のご請求額の確認や料金プラン、オプションサービスの確認・変更もできます。

※本アプリはUQ mobileご契約者さま専用です。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[My UQ mobile]

My UQ mobileのホーム画面が表示されます。
・初めて起動した時は、画面の指示に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択する

データ残量、ご請求額の確認や節約モードへの切り替えや各種お手続きが可能です。

memo

◎My UQ mobileの詳細については、UQ mobileホームページをご参照ください。
https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/portal_app/
◎操作方法や画面表示は予告なく変更される場合があります。

あんしんフィルター for au

あんしんフィルター for auを利用する

お子さまにスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なWebページへのアクセスやアプリの利用を制限するフィルタリングサービスです。

お子さまの年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のWebページやアプリの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。また、保護者が夜間などスマートフォンの利用を制限したり、お子さまの居場所を確認したりすることもできます。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[あんしんフィルター for au]

初めて起動したときは、アクセス権限の同意画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 [この電話番号でログイン]

画面の指示に従って操作してください。
※ご利用になるお子さまの電話番号でログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	スマートフォンを初めて使うお子さまや操作に少し慣れたお子さま向け。 制限対象: ゲーム/動画/音楽、懸賞、成人娯楽、SNS/掲示板、出会い、アダルトなど。
中学生	スマートフォンの操作におおむね慣れたお子さま向け。 制限対象: 懸賞、成人娯楽、SNS/掲示板、出会い、アダルトなど。
高校生	スマートフォン利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け。 制限対象: SNS/掲示板、出会い、アダルトなど。
高校生プラス	SNS利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け。 制限対象: 出会い、アダルトなど。

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]

利用規約を必ずご確認ください。

6 [位置情報、利用情報の取得・利用について]の内容を確認→[はい]

「いいえ」を選択するとエリア検索など一部の機能が利用できません。

7 [利用登録が完了しました]の表示を確認→[OK]

8 [このデバイス管理アプリを有効にする]

9 [よく使うアプリの設定]で利用したいアプリを選択→[設定する]

事前に利用したいアプリを許可してください。

10 SNS利用の危険性について確認→[確認しました]

11 [同意して設定する]→[あんしんフィルター for au アプリ規制]をタップし、「あんしんフィルター for au アプリ規制の使用」の「」をタップしてにする

12 権限の許可とリスクについて確認し、[許可]

13 設定完了

Webページが表示されます。
以降は「あんしんフィルターアプリ」をブラウザアプリとしてご利用ください。

管理者情報を登録する

お子さまのスマートフォンで設定してください。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[あんしんフィルター for au]
- 2 画面上の「ここをタップして、あんしんフィルター for auの管理者IDを登録してください。」の表示をタップ
- 3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]
- 4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。
- 5 [申請する]
管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。
- 6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]



memo

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

保護者の方のパソコンまたはスマートフォンからご利用ください。保護者の方が遠隔で、お子さまのスマートフォンの設定を行うことができます。

- 1 メールで受信した「管理者ページURLのご連絡」に記載されている管理者ページのURLをタップ
<https://anshin-access.netstar-inc.com/>
- 2 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]
- 3 必要に応じて管理者メニューを操作
設定を行える主な機能は以下です。
 - ・フィルタリング強度の変更
 - ・個別のWebページやアプリの制限/許可設定
 - ・利用時間帯の設定
 - ・利用状況の確認
 - ・エリア検索



memo

◎ 詳しくは、auホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/anshin-filter/>

Android アプリ

Google Play を利用する

・ Google Play の利用には Google アカウントの設定が必要です。

アプリケーションを検索してインストールする

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[Play ストア]
Google Play 画面が表示されます。
- 2 アプリを検索→インストールするアプリをタップ
表示内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

有料のアプリケーションを購入するときは

アプリが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。
・ アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後の再ダウンロードには料金がかかりません。

Google Play のアプリの削除

- 1 Google Play 画面で画面右上の Google アカウントアイコンをタップ→[アプリとデバイスの管理]→[管理]→[インストール済み]
- 2 アプリを選択
- 3 [アンインストール]→[アンインストール]

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[アプリ]
- 2 [特別なアプリアクセス]→[不明なアプリのインストール]
- 3 アプリを選択→「この提供元のアプリを許可」の「」をタップして にする

インストールしたアプリを表示する

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[アプリ]
- 2 [XX 個のアプリをすべて表示]→アプリを選択

アプリをアンインストールする

アプリをアンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

・ アプリによってはアンインストールできない場合があります。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[アプリ]
- 2 [XX 個のアプリをすべて表示]→アプリをタップ
- 3 [アンインストール]→[OK]
アプリがアンインストールされます。

時計

時計を利用する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[時計]

2	アラーム	アラームを設定します。
	時計	現在時刻を表示します。 世界各地の時刻を表示させることもできます。
	タイマー	カウントダウンタイマーを利用できます。
	ストップウォッチ	ストップウォッチを利用できます。
	おやすみ時間	就寝/起床の時間やディスプレイの明るさ、入眠時や目覚ましの音などを設定して、規則正しい睡眠の管理に役立てることができます。

らくらくコミュニティ

らくらくコミュニティを利用する

共通の趣味や話題を通じて会員同士が交流できる安心・安全なインターネットコミュニティです。

- らくらくコミュニティは無料のサービスです。ただし、サービス利用には、利用登録が必要です。また、パケット通信料がかかります。
- 登録番号とパスワードは、端末の修理や機種変更の際などに必要となります。メモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[らくらくコミュニティ]

2 [同意して次へ]→[ユーザー登録する(無料)]→[かんたん登録する]

表示内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
登録が完了すると、登録番号とパスワードが表示されます。
・登録番号とパスワードをすでにお持ちの場合は「ご登録済みの方はこちら」をタップしてください。

3 [はじめよう!]

らくらくコミュニティのトップページが表示されます。タイムラインから興味あるユーザーの投稿をタップしてみましょう。

- らくらくコミュニティの使いかたなどを確認するときは、らくらくコミュニティのトップページで[メニュー]→[ヘルプ]と操作したり、らくらくコミュニティのトップページで[マイページ]→[ステップガイド]と操作してください。

radiko+FM

ラジオを聴く

インターネット経由で、今いるエリアで放送しているラジオ番組を聴いたり、アナログFMラジオに切り替えて聴いたりすることができます。アナログFMラジオを聴く場合は、アンテナとしてイヤホンケーブル(別売)*1を本機のステレオイヤホン端子に接続しておく必要があります。

*1 ケーブルの長さが0.6m~1.5m程度のもを使用してください。安定したアナログFMラジオ受信のためには、1m以上のケーブルを推奨します。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[radiko+FM]

インターネットラジオの番組表画面が表示されます。
・確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 番組をタップ

選択した番組の画面が表示されます。

memo

- ◎ ラジオの楽しみ方を確認する場合は、インターネットラジオの番組表画面で[🔍]→[ラジオの楽しみ方]と操作してください。
- ◎ ラジオのヘルプを確認する場合は、インターネットラジオの番組表画面で[🔍]→[ヘルプ]と操作してください。

ララしあコネクト

ララしあコネクトを利用する

歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧(ユーザーが入力)などのデータを元に、健康管理をサポートします。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[ララしあコネクト]

初期設定画面(生年月日、身長、体重などの入力画面)が表示されます。

2 各データを入力→[始める]

ララしあコネクトのメイン画面が表示されます。
・生年月日・性別・身長・体重などのデータは正確な数値を入力してください。入力したデータを元にした測定が行われます。

ララしあコネクトでの測定

ララしあコネクトのメイン画面では、本製品を使用して各種測定やデータ入力が行えます。



- 1 **メニュー**
各種設定やヘルプなどの情報を表示します。
- 2 **測定メニュー**
測定/入力メニューを表示します。
- 3 **歩数・歩速などの表示**
歩数や移動距離、歩速、脂肪燃焼量、消費カロリー、活動量などを表示します。
- 4 **心拍数の測定**
インカメラを利用して顔を認識し、心拍数を測定・表示します。
- 5 **睡眠の測定**
睡眠時、本製品を枕元に置いて睡眠時間や眠りの深さを測定・表示します。
- 6 **連携項目**
Google Fit と連携して栄養情報や身長、体重などの情報を取得します。
- 7 **ランキング**
測定値を元に、同年代/同地域の利用者内でのランキングを表示します。
- 8 **データ引き継ぎ**
ララしあコネクトのデータをクラウドに同期します。
- 9 **プロフィール**
生年月日や身長、体重など基礎データを編集・表示します。
- 10 **メッセージ**
本製品で測定したバイタル情報を元に、簡易なメッセージや健康管理のヒントを表示します。
- 11 **脳力ストレッチング**
各種ゲームをプレイすることで、脳年齢、脳力指標を測定・表示します。
- 12 **血圧/脈拍の記録**
利用している血圧計で測定した最高/最低血圧と脈拍数を入力できます。
ご利用の血圧計の測定結果をカメラで撮ることで、値を自動的に入力することもできます。
- 13 **並べ替え**
心拍数や血圧管理などの項目を並べ替えます。

memo

- ◎ 心拍数の測定にあたっては、なるべく明るい室内で測定するなどの測定環境や、前髪がかからないようにするなどの開始前の注意事項をご確認ください。
 - ・周囲の環境や測定状態によっては測定できない場合があります。
 - ・医療行為には使用できません。
- ◎ その他の機能や操作などについては、「☰」をタップして「ヘルプ・よくあるお問い合わせ」などをご覧ください。

FASTメモ

FASTメモを起動する

本製品のロック画面からすばやくテキストメモや音声メモを登録したり、カメラを起動して静止画をメモとして保存したりすることができます。

- 1 **ロック画面で「F」を左にスライド**
FASTメモメニューが表示されます。
- 2 **「📝」/「📷」/「🗣️」に指を合わせて離す**
選択したメモが起動します。
- 3 **画面の指示に従って操作→[保存する]/[保存]**

FASTメモを確認する

- 1 **ホーム画面で画面を上スライド→[FASTメモ]**
FASTメモ画面が表示されます。
・確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 **メモをタップ**



◎手順2で「🗣️」→[テキストメモ]/[音声メモ]/[写真メモ]と操作すると、メモを作成できます。

FASTウォレット

お店を登録する

お店で使うアプリの上にアプリアイコンを表示して、複数アプリを使うお店の支払いをスムーズにします。

- 1 **ホーム画面で画面を上スライド→[FASTウォレット]**
FASTウォレット画面が表示されます。
・確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
・初期状態では、「ケンタッキーフライドチキン」「よく使うお店」が表示されています。
- 2 **[+追加]**
以降は、画面の指示に従って操作してください。

FASTウォレットを利用する

- 1 **ホーム画面で画面を上スライド→[FASTウォレット]**
- 2 **利用するアプリアイコンをタップ**
選択したアプリが起動し、起動したアプリの上に次に起動するためのアプリアイコンが表示されます。
アプリアイコンは表示位置から近いほうのディスプレイの端に向かってフリックすると最小化できます。最小化したアイコンをタップすると元の大きさに戻ります。



◎ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[FASTウォレット]の「設定する」をタップしてもご利用いただけます。
◎お店の名前や、登録情報を初期状態の状態に戻すには、「アプリのデータやキャッシュの削除」で「ストレージを消去」の操作を行ってください(▶P.65)。
◎「+追加」からお店を追加できます。なお、各店舗の事情で当該アプリが利用できなくなっている場合がございます。

かんたんお引越し

かんたんお引越しを利用する

携帯電話の電話帳やスケジュールなどのデータを、microSDメモ리카ードを利用して本製品に移行できます。

- ・あらかじめ、携帯電話で移行したいデータをmicroSDメモ리카ードにバックアップしておいてください。
バックアップの方法については、携帯電話の取扱説明書等をご覧ください。
- 1 **ホーム画面で画面を上スライド→[かんたんお引越し]**
 - 2 **復元するデータにチェックを付ける→[復元開始]**
以降は画面の指示に従って操作してください。



◎お使いの携帯電話の機種やデータの種類によっては、データを移行できない場合があります。

ゲームゾーン

ゲームゾーンを利用する

ゲームを快適に、楽しくプレイするための機能や自分好みのカスタマイズができます。

- 1 **ホーム画面で画面を上スライド→[ゲームゾーン]**
- 2 **[ゲームチューニング]**
ゲームチューニング画面が表示されます。
 - ・「🔘」をタップすると、ゲームチューニングのON/OFFを切り替えることができます。
 - ・「ゲーム管理」をタップすると、お好みのゲームをランチャーに追加できます。
 - ・「🔍」をタップすると、ゲームゾーンについての詳細な情報が閲覧できます。

3 クイック設定	ゲーム中の通知*1のON/OFF、ナビゲーションバーのロックをタップですばやく設定できます。
ゲームチューニング	Wi-Fi®接続時の通信の遅延を抑えたり、ゲーム起動時のメモリを解放したりするかどうかを設定します。
フォーカス設定	ゲームプレイ中の着信を抑止、通知を抑止、スライドインランチャーを無効化、ナビゲーションバーをロックなどを設定します。

*1 他メーカーアプリからの着信などをした場合は、通知の機能が動作しないことがあります。

ファイル管理

ファイル管理	56
本製品の保存領域について	56
microSDメモリカードを利用する	56
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	56
USB Type Cケーブルでパソコンと接続する	57
メモリの使用量を確認する	57
ファイルを利用する	57

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品では、内部ストレージとmicroSDメモリカードにデータを保存できます。

内部ストレージ	アプリや各アプリが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

memo

◎ アプリによっては、microSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、内部ストレージに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHC/microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

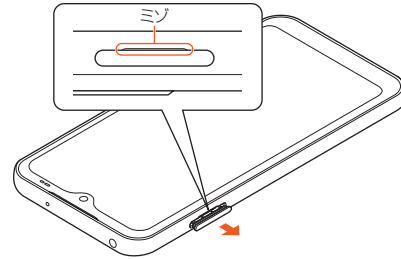
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードの取り付け/取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

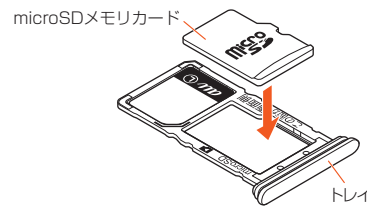
microSDメモリカードを取り付ける

- 1 本製品のディスプレイ面を上に向け、ミゾに指先をかけて、microSDメモリカード/SIMカード挿入口のスロットキャップをまっすぐ水平に引き出す



- 2 microSDメモリカードの端子面を下にして、トレイ (microSDメモリカード) にはめ込む

トレイからmicroSDメモリカードが浮かないように、はめ込んでください。

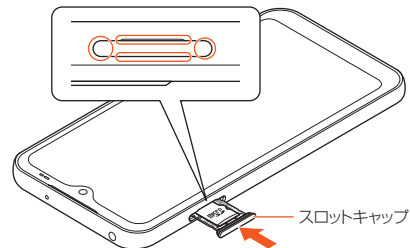


- 3 本製品のディスプレイ面が上に向いていることを確認して、トレイをまっすぐ水平に差し込む

- 4 スロットキャップをしっかりと押しつけて閉じる

トレイを差し込む方向にご注意ください。

◎ 部分をしっかりと押し、本体とスロットキャップにすき間がないことを確認してください。

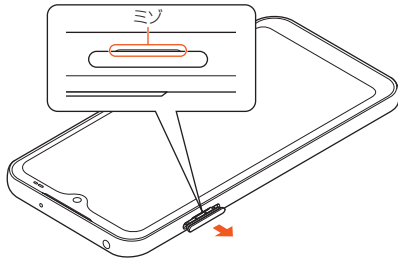


memo

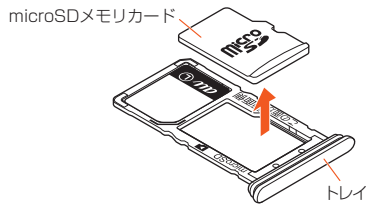
◎ microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

- 1 本製品のディスプレイ面を上に向け、ミゾに指先をかけて、microSDメモリカード/SIMカード挿入口のスロットキャップをまっすぐ水平に引き出す



- 2 トレイからmicroSDメモリカードを取り出す

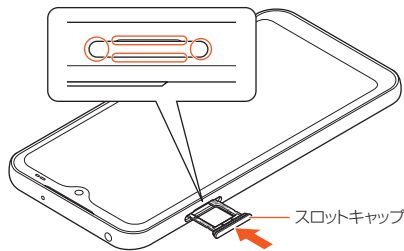


- 3 本製品のディスプレイ面が上に向いていることを確認して、トレイをまっすぐ水平に差し込む

- 4 スロットキャップをしっかり押して閉じる

トレイを差し込む方向にご注意ください。

○部分をしっかりと押し、本体とスロットキャップにすき間がないことを確認してください。



memo

◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USB Type Cケーブルでパソコンと接続する

パソコンに接続すると、本体の内部ストレージおよびmicroSDメモリカードのデータをパソコンとやりとりできます。

- ・ USB Type-Cケーブル(市販品)を利用してパソコンに接続する方法を説明します。
- ・ 次のオペレーティングシステム(OS)に対応しています。
 - ・ Microsoft Windows 11
 - ・ Microsoft Windows 10
- ・ データ転送中にUSB Type-Cケーブル(市販品)を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

memo

◎一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されていない場合もあります。

- 1 USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とパソコンを接続
- 2 [ファイル転送] / [PTP]
- 3 パソコンにポータブルデバイスとして本製品が表示されていることを確認

メモリの使用量を確認する

本製品の内部ストレージ、microSDメモリカードの容量を確認できます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ストレージ]

memo

◎ microSDメモリカードが認識されていない場合は、microSDメモリカードを取り付けた状態で、ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ストレージ]→[このデバイス]→[SDカード]→[:]→[マウント]と操作してください。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードを初期化できます。

- ・ フォーマットを行うと、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて消去されますのでご注意ください。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ストレージ]→[このデバイス]
- 2 [SDカード]
- 3 [:]→[フォーマット]
- 4 [SDカードをフォーマット]
- 5 [完了]

ファイルを利用する

本体内のファイルをmicroSDメモリカードにコピーする

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[Files]
- 2 項目一覧から内部ストレージを選択→フォルダを選択
- 3 コピー/移動するファイルをロングタッチ→[i]→[コピー] / [移動]
- 4 項目一覧からmicroSDメモリカードを選択
- 5 任意の場所で[ここにコピー] / [ここに移動]

データ通信

Bluetooth[®]機能	60
Bluetooth [®] 機能を利用する	60
Bluetooth [®] 機能をONにする	60
Bluetooth [®] 機器を登録する	60
Bluetooth [®] でデータを送受信する	60
無線LAN(Wi-Fi[®])機能	61
無線LAN(Wi-Fi [®])機能を利用する	61
無線LAN(Wi-Fi [®])機能をONにする	61
無線LAN(Wi-Fi [®])機能をOFFにする	61
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する	61
接続中のWi-Fi [®] ネットワークの設定を削除する	61
テザリング機能	62
テザリングについて	62
Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する	62
Bluetooth [®] テザリング機能を利用する	62
USBテザリング機能を利用する	62
イーサネットテザリング機能を利用する	62

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。

memo



- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能をONにする

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[接続済みのデバイス]→[新しいデバイスとペア設定]

Bluetooth®機能がONになり、本製品が他のBluetooth®機器から検出可能になります。

memo

- ◎ Bluetooth®機能をONにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をOFFにしてください。また、航空機内や病院などご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ Bluetooth®機能のON/OFFを切り替えるには、ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]→[] / []と操作します。

Bluetooth®機器を登録する

本製品とBluetooth®機器を接続するには、ペア設定(登録)が必要です。

- ・ あらかじめペア設定を行う機器側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がONになっていることを確認してください。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[接続済みのデバイス]→[新しいデバイスとペア設定]

Bluetooth®設定画面が表示され、「使用可能なデバイス」欄に検出されたBluetooth®機器名が一覧表示されます。



2 ペア設定を行うBluetooth®機器名をタップ

ペア設定を行うかどうかの確認画面が表示されます。

3 [ペア設定する]

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキーを入力します。
「その他のデバイス」欄や「保存済みのデバイス」欄にペア設定されたBluetooth®機器名が表示されます。

memo

- ◎ ペア設定済みのBluetooth®機器名または右側の「」をタップすると、相手のBluetooth®機器の名前を変更したり、使用目的を設定したりできます。
- ◎ ペア設定を解除するには、解除するBluetooth®機器名または右側の「」をタップ→[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]と操作します。

■ パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器どうしが初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

memo

- ◎ パスキーの入力には、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

Bluetooth®でデータを送受信する

あらかじめ、Bluetooth®機能をONにして、相手のBluetooth®機器とペア設定を行ってください。

Bluetooth®でデータを送信する

1 各機能の共有メニューで[Bluetooth]→送信するBluetooth®機器を選択

- ・ 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®でデータを受信する

1 相手のBluetooth®機器からデータを送信

ステータスバーにが表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 Bluetooth®の通知をタップ→[承諾]

memo

- ◎ 受信したデータを確認するには、データの受信後にステータスバーを下にスライド→受信したデータの通知をタップ→表示するデータをタップします。

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]
- 2 「Wi-Fi」の「」をタップして にする
Wi-Fi®がONになります。
Wi-Fi®がONになるまで、数秒かかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi®がONのときでもデータ通信を利用できます。Wi-Fi®ネットワークが切断された場合には、自動的に5G/4G(LTE/WiMAX 2+)ネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったまま利用すると、データ通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ◎ Wi-Fi®を使用するときには十分な電波強度が得られるようにご注意ください。

無線LAN(Wi-Fi®)機能をOFFにする

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]
- 2 「Wi-Fi」の「」をタップして にする

Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]
Wi-Fi®設定画面が表示されます。
利用可能なWi-Fi®ネットワークが表示されます。
セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークには が表示されます。
- 2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択
「ネットワークを追加」の「」をタップすると、Wi-Fi®ネットワークの情報をQRコードから読み取って接続できます。
セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)を入力→[接続]と操作します。
接続が完了すると、ステータスバーに が表示されます。
※ 1 アイコンの右側に表示される数字は、接続中の無線LAN(Wi-Fi®)の規格により異なります。

memo

- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれなかったりする場合があります。
- ◎ Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する場合は、Wi-Fi®設定画面→[ネットワークを追加]と操作し、Wi-Fi®ネットワークのネットワーク名(SSID)など必要な情報を入力してください。

Wi-Fi®の設定をする

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→[ネットワーク設定]
- 2

Wi-Fi を自動的にONにする	高品質の保存済みWi-Fi®ネットワークを検出したとき、自動的にWi-Fi®をONにして接続するかどうかを設定します。
利用可能なパブリックネットワークを通知する	高品質の公共ネットワークが利用可能ときに通知するかどうかを設定します。
証明書をインストール	証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct	アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct®機能に対応した機器間で直接Wi-Fi®接続ができます。

接続中のWi-Fi®ネットワークの設定を削除する

- 1 Wi-Fi®設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択
- 2 [削除]

memo

- ◎ 設定を削除すると、再接続のときにセキュリティキーの入力が必要になる場合があります。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や有線LANケーブル対応機器、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることができる機能です。

memo

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品を無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントとして利用し、複数の無線LAN(Wi-Fi®)対応機器をインターネットに同時に接続することができます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 [Wi-Fi アクセス ポイント]→[Wi-Fi アクセス ポイントの使用]の[]
- 3 注意事項画面の内容を確認して[OK]

memo

◎ 初期状態ではパスワードがランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更することもできます。
◎ [QR]をタップするとパスワード(セキュリティキー)のQRコードを表示します。QRコードを読み取ると簡単な操作でWi-Fi®テザリングに接続できます。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

本製品とパソコンなどをBluetooth®機能で接続し、パソコンなどをインターネットに接続することができます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 [Bluetooth テザリング]の[]
- 3 注意事項画面の内容を確認して[OK]

memo

◎ Bluetooth®機器から本製品に接続するには、ペア設定(▶P.60)を行い、Bluetooth®機器で本製品との接続方法を設定する必要があります。Bluetooth®機器からの操作については、Bluetooth®機器の取扱説明書をご覧ください。

USBテザリング機能を利用する

本製品をUSB対応のパソコンと接続し、モデムとして利用することで、パソコンをインターネットに接続することができます。

・ USB Type-Cケーブル(市販品)を利用してパソコンに接続する方法を説明します。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とパソコンを接続
- 3 [USB テザリング]の[]
- 4 注意事項画面の内容を確認して[OK]

memo

◎ USBテザリングに必要なパソコンのオペレーティングシステム(OS)は次の通りです。
・ Microsoft Windows 11
・ Microsoft Windows 10

イーサネットテザリング機能を利用する

本製品をUSB-LANアダプタ(市販品)と有線LANケーブル(市販品)でパソコンなどと接続し、モデムとして利用することで、パソコンなどをインターネットに接続することができます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 USB-LANアダプタ(市販品)と有線LANケーブル(市販品)で本製品とパソコンなどを接続
- 3 [イーサネット テザリング]の[]
- 4 注意事項画面の内容を確認して[OK]

機能設定

機能設定.....	64
設定メニューを表示する.....	64
ネットワークとインターネットの設定をする.....	64
接続済みのデバイスの設定をする.....	65
アプリの設定をする.....	65
通知の設定をする.....	66
バッテリーの設定をする.....	66
ストレージの設定をする.....	66
表示の設定をする.....	66
音の設定をする.....	67
通話に関する設定をする.....	68
ユーザー補助の設定をする.....	68
セキュリティの設定をする.....	69
プライバシーの設定をする.....	70
位置情報の設定をする.....	70
緊急情報と緊急通報の設定をする.....	70
arrowsオススメ機能.....	71
パスワードとアカウントの設定をする.....	72
システムの設定をする.....	73
デバイス情報に関する設定をする.....	74

機能設定

設定メニューを表示する


設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズ、セキュリティの設定、データの初期化などができます。

設定メニューを起動する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]

設定メニュー画面が表示されます。



◎パネルスイッチ(▶P.25)で「」をタップしても、設定メニュー画面を表示できます。

設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	ページ
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®やテザリング、機内モード、VPNなど、ネットワークやインターネットに関する設定をします。	P.64
接続済みのデバイス	Bluetooth®やキャストなど、他の機器との接続に関する設定をします。	P.65
アプリ	アプリ情報の確認や、通知や権限などの設定をします。	P.65
通知	通知の管理などの設定をします。	P.66
バッテリー	電池残量などの確認や電池の消費を抑える設定などをします。	P.66
ストレージ	ストレージの使用状況の確認など、ストレージに関する確認・設定をします。	P.66
ホーム画面切替	本製品で使用するホーム画面を切り替えます。	P.23
表示の設定	画面の明るさや画面消灯(スリープ)など、画面表示に関する設定をします。	P.66
壁紙	画面の壁紙を設定します。	—
音	着信音や通知音の変更など、音に関する設定をします。	P.67
通話設定	伝言メモや迷惑電話対策など通話に関する設定をします。	P.68
ユーザー補助	ユーザー補助のサービスや機能に関する設定をします。	P.68
セキュリティ	画面ロックや指紋の設定など、ロック画面とセキュリティに関する設定をします。	P.69
プライバシー	アプリの権限の管理や通知内容の表示、Googleの自動入力サービスなどの設定をします。	P.70
位置情報	位置情報に関する設定をします。	P.70
緊急情報と緊急通報	緊急速報メールや緊急時情報などの設定を行います。	P.70
arrowsオススメ機能	スライドイン機能やはっきり文字の設定などを行います。	P.71
パスワードとアカウント	オンラインサービスのアカウントの追加・管理や、データ同期に関する設定などをします。	P.72
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	本製品の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりして、使い過ぎを抑えることができます。また、保護者による使用制限を設定することもできます。	—
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認/変更/削除などができます。	—
システム	言語と入力、歩数計、日付と時刻、バックアップ、リセットなど、本製品のシステムに関する設定をします。	P.73
デバイス情報	電話番号など、本製品のさまざまな情報を確認できます。	P.74



◎設定の状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

ネットワークとインターネットの設定をする

Wi-Fi®やテザリング、機内モード、VPNなど、ネットワークやインターネットに関する設定をします。


1 設定メニュー画面→[ネットワークとインターネット]

インターネット	モバイルネットワーク(▶P.64)やWi-Fi®(▶P.61)に関する設定をします。
通話とSMS	通話とSMSに関する情報を表示します。
SIM	▶P.64「モバイルネットワークに関する設定をする」
機内モード	▶P.64「機内モードをONにする」
アクセスポイントとテザリング	▶P.62「テザリング機能」
データセーバー	アプリがバックグラウンドで行うモバイルデータ通信を制限し、モバイルデータ使用量を抑制するかどうかを設定します。
VPN	▶P.65「VPNを利用する」
プライベートDNS	対応するDNSサーバーに接続したとき、通信を暗号化するかどうかを設定します。プライベートDNSを登録することもできます。

モバイルネットワークに関する設定をする

モバイルデータ通信のON/OFFを設定したり、本製品を海外で利用するための設定をしたりします。

1 設定メニュー画面→[ネットワークとインターネット]→[SIM]

SIMを使用	SIMカードを使用するかどうかを設定します。
データ使用量等の表示	モバイルデータ使用量や警告するデータの使用量、使用サイクルの残りの日数を確認できます。
モバイルデータ	モバイルデータ通信をON/OFFに設定します。 ・初期状態では「モバイルデータ」はONに設定されています。
データローミング	▶P.82「海外利用に関する設定を行う」
アプリのデータ使用量	アプリごとのモバイルデータ使用量を確認できます。 ・使用サイクルを変更するには「  」→「モバイルデータの使用サイクル」→「開始日を選択」→「設定」と操作します。
データ使用量の警告と制限	モバイルデータの使用サイクルや、データ使用量の警告と制限を設定します。
4G回線による通話	4Gサービスを使用して、音声やその他の通話の品質を改善します。
優先的ネットワークの種類	優先的に接続するモバイルネットワークの種類を設定します。
ネットワークを自動的に選択	利用するモバイルネットワークを自動的に選択するかどうかを設定します。 ・初期状態では「ネットワークを自動的に選択」はONに設定されています。
ネットワークを選択	「ネットワークを自動的に選択」をOFFに設定しているとき、利用可能なネットワークを検索します。
アクセスポイント名	インターネットに接続するためのアクセスポイントを確認します。また、新しいアクセスポイントを追加したり、変更をしたりできます。

機内モードをONにする

機内モードを設定すると、本製品のワイヤレス機能(電話、パケット通信、Wi-Fi®、テザリング、Bluetooth®機能)が無効になります。ただし、Wi-Fi®、Bluetooth®機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]

2 「機内モード」をONにする



◎イヤホンなど本製品と音声通信するBluetooth®機器を接続中に機内モードを設定しても、該当機器とのBluetooth®接続は切断されません。

VPNを利用する

VPN(Virtual Private Network:仮想プライベートネットワーク)は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本製品からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

VPNを追加する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]

2 [+]→各項目を設定→[保存]

VPNに接続する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]

2 接続するVPNを選択

3 必要に応じて認証情報を入力→[接続]

VPNを切断する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]


2 切断するVPNを選択

3 [切断]

接続済みのデバイスの設定をする

Bluetooth®やキャストなど、他の機器との接続に関する設定をします。

1 設定メニュー画面→[接続済みのデバイス]

2	新しいデバイスとペア設定	▶P.60「Bluetooth®機能をONにする」		
	保存済みのデバイス	以前接続されていてペアリング情報が残っているBluetooth®機器が表示されます。機器名をタップして接続したり、「  接続の設定	Bluetooth	Bluetooth®機能のON/OFFを切り替えます。
NFC/おサイフケータイ 設定	NFC機能や画面ロック連動機能のON/OFFなどを設定します。			
キャスト	Google Cast 対応機器などに本製品の画面を表示します。			
印刷	印刷サービスのアプリをインストールします。			
Chromebook	本製品と Chromebook™ をリンクします。			
ニアバイシェア	本製品の付近にあるデバイスとファイルを共有できます。			
Android Auto	Android Auto に対応した車のディスプレイに接続し、Google マップや音声操作などを利用できます。			
コーデック選択	コーデックを選択します。			

アプリの設定をする

1 設定メニュー画面→[アプリ]

2	最近開いたアプリ	最近起動したアプリがある場合にアプリの一覧が表示されます。アプリをタップすると、アプリ情報を表示できます。
	XX 個のアプリをすべて表示	▶P.65「アプリの管理をする」
	デフォルトのアプリ	標準で使用するアプリの設定を確認/変更します。 ▶P.23「ホーム画面を切り替える」
	利用時間	ダッシュボードが表示され、本製品の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりできます。
	使用されていないアプリ	使用されていないアプリを表示します。
	特別なアプリアクセス	本製品の機能や情報にアクセスするアプリなどの設定を確認/変更します。

アプリの管理をする

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

アプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[アプリ]→[XX 個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[権限]

アプリのデータやキャッシュの削除

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[アプリ]→[XX 個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[ストレージとキャッシュ]→[ストレージを消去]/[キャッシュを削除]
・「ストレージを消去」を選択した場合は「削除」をタップします。

アプリを削除する

- ・ Play ストアで入手したアプリは、Google Play 画面で削除することをおすすめします(▶P.52)。
- ・ 初期状態でインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本製品をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[アプリ]→[XX 個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[アンインストール]→[OK]

アプリを無効化する

アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ画面やホーム画面などに表示されず、起動もできなくなりますが、アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[アプリ]→[XX 個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[無効にする]/[有効にする]
・「無効にする」を選択した場合は「無効にする」をタップします。

memo

◎ アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。
その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

電池を最適化する

アプリごとの電池消費を抑えるために、本製品を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[アプリ]→[XX 個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[バッテリー]→[制限なし]/[最適化]/[制限]

通知の設定をする

アプリや機能の通知に関する設定を行います。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[通知]

2 アプリの設定	各アプリからの通知を設定します。
通知履歴	通知パネルに表示された通知の履歴を見ることができます。
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示できます。
バブル	指定した相手からメッセージ着信があったことをフローティングアイコンでお知らせするかを設定します。
デバイスとアプリの通知	通知を読み取れるアプリとデバイスを設定します。
ロック画面上の通知	ロック画面上に会話、デフォルトやサイレント通知を表示するかを設定します。
機密性の高い通知 ^{*1}	機密性の高いコンテンツをロック画面上に表示するかを設定します。
サイレントモード	サイレントモード中の通知に関する詳細を設定します。
緊急速報メール	緊急速報メールの履歴を確認したり、緊急速報メールの設定を行うことができます。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	ステータスバーにサイレント通知を表示するかを設定します。
通知のスヌーズを許可	通知のスヌーズを許可するかを設定します。
アプリアイコン上の通知ドット	アイコンにドット(点)を表示してアプリの通知をお知らせするかを設定します。
拡張通知	操作の候補や返信の候補などを利用するかを設定します。

^{*1} セキュリティ解除方法を「なし」/「スワイプ」に設定している場合は表示されません。

バッテリーの設定をする

1 設定メニュー画面→[バッテリー]

2 バッテリー ^{*1}	電池残量が表示されます。
バッテリー使用量	電池使用量の状況などが表示されます。
バッテリーセーバー	本製品の動作と一部の機能を制限し、電池の消費を抑えることができます。 • 「スケジュールの設定」で「残量に応じて自動でON」を選択すると、指定した電池残量になったときにバッテリーセーバーを有効にするように設定できます。スライダを設定する位置でタップ、または左右にドラッグして、有効にする電池残量を指定できます。 • 「充電時にOFFにする」をONにすると、電池残量が90%になると自動的にバッテリーセーバーがOFFになります。
5G通信の最適化	画面OFF時に通信量に応じて5G通信を最適化します。
自動調整バッテリー	電池の使用量が多いアプリによる電池の使用を制限します。
バッテリー残量	ステータスバーに電池残量(%)を表示するかどうかを設定します。
電池長持ち充電	充電量を抑えて電池の寿命を延ばすかどうかを設定します。
電池の性能	電池の充電能力を表示します。

^{*1} 使用状況によって表示が異なる場合があります。

memo

○手順2で「バッテリー使用量」と操作すると、電池残量と使用状況から予測された残りの使用可能時間などが表示されます。

ストレージの設定をする

内部ストレージやmicroSDメモリーカードの容量を確認したり、microSDメモリーカードを初期化(フォーマット)したりできます。

1 設定メニュー画面→[ストレージ]

2 XXGB 使用合計 64 GB	内部ストレージの使用容量および合計容量が表示されます。
このデバイス	内部ストレージの使用容量/合計容量が表示されます。
SDカード ^{*1}	microSDメモリーカードの使用容量/合計容量が表示されます。

^{*1} microSDメモリーカードの認識状態によって表示が変わります。

表示の設定をする

1 設定メニュー画面→[表示の設定]

2 明るさのレベル	画面の明るさレベルを調節します。 ▶P.66「画面の明るさを設定する」
明るさの自動調節	環境に合わせて画面の明るさを自動的に調節します。
ロック画面	ロック画面上に表示する通知や、ロック画面から起動できる機能について設定します。 ▶P.67「ロック画面の表示を設定する」
画面消灯	画面を消灯するまでの無操作状態の時間を設定します。 ▶P.66「画面の消灯までの時間を設定する」
持つてる間ON	本製品を手にとって動きのある間は画面を点灯し続けるかを設定します。
ダークモード	黒を基調とした画面表示に切り替えます。
フォント	画面に表示するフォントを設定します。
表示サイズとテキスト	画面に表示する文字のサイズや太さなどを変更したり、画面上のアイテムのサイズを設定します。
くっきり表示	表示画面内の文字が小さい文章ブロックなどを一時的に拡大させるくっきり表示機能について設定します。 ▶P.67「くっきり表示を利用する」
ブルーライトカットモード	画面が発する青い光を弱めて、目の負担を軽減します。
画面の自動回転	本製品の向きに応じて画面の縦横を自動的に回転して切り替えます。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの種類や起動するタイミングを設定します。 ▶P.67「スクリーンセーバーを設定する」
シンプルホーム設定	シンプルホームの機能を設定します。
シンプルモード設定	シンプルホーム、かんたんキーボード、かんたん電話、はっきり文字を有効にします。また、ナビゲーションバーを3ボタン式に設定します。 • スライドイン機能はOFFになります。

画面の明るさを設定する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[表示の設定]→[明るさのレベル]

2 スライダーをスライドして明るさを調整

画面の消灯までの時間を設定する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[表示の設定]→[画面消灯]

2 時間を選択

ロック画面の表示を設定する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[表示の設定]→[ロック画面]

2 プライバシー	ロック画面に表示する通知を設定します。
ロック画面にテキストを追加	ロック画面に表示するメッセージを入力します。
スライドでカメラ起動	ロック画面の右下にあるカメラアイコンを左にスワイプ(フリック)してアウトカメラを起動するかを設定します。
スマートセルフィーの起動	ロック画面の左下にあるスマートセルフィーアイコンを右にスワイプ(フリック)したり、インカメラ下の矢印を下にスワイプ(フリック)したりして、インカメラを起動するかを設定します。
FASTメモの起動	ロック画面にあるFASTメモアイコンをスワイプ(フリック)してFASTメモを起動するかを設定します。
デバイスコントロールを表示	ロック画面にデバイスのコントロールを表示するかを設定します。
ロックされたデバイスから操作する	デバイスコントロールアプリで許可されている場合、画面ロックを解除しなくても他のデバイスを操作できるようにするかを設定します。
新しい通知	通知を受信したときに通知の画面を表示するかを設定します。

くっきり表示を利用する



表示画面内の文字が小さい文章ブロックなどを一時的に拡大させるくっきり表示機能について設定します。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[表示の設定]→[くっきり表示]

2 「くっきり表示機能」の「」をタップしてにする





3 アイコン表示方法	アイコンの表示を「常時ON」または「自動ON」(「見やすさ補正強度設定」で設定した見やすさ度合いに応じてアイコンを自動表示)から選択します。
アイコン表示アプリ指定	くっきり表示機能を使用するアプリを指定します。
見やすさ補正強度設定	見やすさ度合いを設定します。
アイコン初期表示位置指定	アイコンの初期表示位置を設定します。 ・画面上でアイコンをドラッグして表示位置を変更することもできます。
機能説明	くっきり表示機能の使いかたを確認できます。

くっきり表示のご利用について

くっきり表示機能をONにすると、見えにくいと判断された画面にが表示されます。「」をタップすることで、表示画面内の文字が小さい文章ブロックなどを一時的に拡大させることができます。

- ・くっきり表示機能のON/OFF、基本設定については、「くっきり表示を利用する」(▶P.67)をご覧ください。
- ・くっきり表示中は、アプリの操作はできません。
- ・カメラの撮影画面、分割画面表示中など、一部の表示画面では本機能が動作しないことがあります。
- ・くっきり表示中でも、表示画面によっては見えにくくなる場合があります。
- ・くっきり表示中でも、表示画面によっては横方向への拡大が動作しないことがあります。

くっきり表示の操作方法

あらかじめ、くっきり表示機能をONにします(▶P.67)。
画面に表示されるをタップすると、画面全体が拡大表示されます(第1段階)。続けて画面内の見えにくい位置をタップすると、タップした位置の周辺や文章ブロックがさらに拡大表示されます(第2段階)。元の表示に戻すには、第1段階の状態ではをタップします。第2段階の状態では→の順にタップします。

memo

- ◎各アプリでくっきり表示機能を使用するには、「くっきり表示」の「アイコン表示アプリ指定」でアプリを指定する必要があります(▶P.67)。
- ◎くっきり表示のアイコンは、画面上でドラッグして表示位置を変更できます。

スクリーンセーバーを設定する

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[表示の設定]→[スクリーンセーバー]

2 「スクリーンセーバーを使用する」の「」をタップしてにする→設定するスクリーンセーバーを選択


3 必要に応じて[カスタマイズ]→各項目を設定

4 [起動するタイミング]→項目を選択

・「プレビュー」をタップすると、スクリーンセーバーが起動します。

音の設定をする

1 設定メニュー画面→[音]

2 メディアの音量	音楽や動画などの音量を調節します。 ▶P.67「音量を設定する」
通話の音量	音声通話時の音量を設定します。 ▶P.67「音量を設定する」
着信音と通知の音量	着信音や通知の音量を設定します。 ▶P.67「音量を設定する」
アラームの音量	アラームの音量を設定します。 ▶P.67「音量を設定する」
着信のバイブレーション強度	着信時のバイブレーションの強度を設定します。
通知時のバイブレーション強度	通知時のバイブレーションの強度を設定します。
サイレントモード	サイレントモード中の通知に関する詳細を設定します。
着信音	電話の着信音を設定します。
メディア	音楽再生終了時のパネルスイッチの表示などを設定します。
バイブレーションとハプティクス	着信音や通知音、アラーム音、操作音が鳴っているときに振動でもお知らせするかなどを設定します。
着信音ミュート用のショートカット	電源キーと音量大キーを同時に押して着信音や通知音を鳴らさないようにするかを設定します。
デフォルトの通知音	通知音を設定します。
デフォルトのアラーム音	アラーム音を設定します。
ダイヤルパッドの操作音	ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。
画面ロックの音	電源キーを押して画面ロックをかけた時や、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかを設定します。
充電時の音とバイブレーション	充電開始時に音と振動でお知らせするかを設定します。
タッチ操作音	項目などをタップしたときに音を鳴らすかを設定します。
バイブレーションモード	マナーモード(バイブあり)を設定しているときに、ステータスバーに  を表示するかを設定します。

音量を設定する

メディア再生音、通話音、着信音、アラームの音量を調節できます。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[音]

2 「メディアの音量」/「通話の音量」/「着信音と通知の音量」/「アラームの音量」のスライダーをスライドして音量を調節

通話に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[通話設定]

着信転送・お留守番サービス	▶P.76「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」 ▶P.77「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」
割込通話サービス	▶P.79「割込通話サービスを利用する(オプションサービス)」
発信者番号通知	▶P.77「発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)」
伝言メモ	▶P.33「伝言メモを利用する」
クイック返信	電話に出られないときに送るメッセージを確認したり、編集したりできます。
ブロック中の電話番号	着信をブロックする発信元を設定します。
通話音声の自動調整	通話相手がマスクをしていても聞こえやすくなる、マスク通話モードのON/OFFを設定します。
通話時間アラーム	発信時にアラームで通話時間をお知らせするように設定します。
電源ボタンで通話を終了	通話中に、電源キーを押して通話を終了するように設定できます。
国際ダイヤルアシスト	国際ダイヤルアシストに関する設定をします。
迷惑電話対策	連絡先のない相手からの電話の場合、通話相手に内容を録音することを伝えて録音するかを設定します。
プレフィックス設定	プレフィックスに関する設定をします。

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2 auセルフケア	auセルフケアを設定します。
Super ATOK ULTIAS	パスワード入力時にWebページの安全性確認を行うかを設定します。
あんしんフィルター for au アプリ規制	あんしんフィルター for au アプリ規制を設定します。
ウイルスブロック	ウイルスブロックを設定します。
TalkBack	ユーザー補助サービスのTalkBackを利用するかを設定します。
選択して読み上げ	選択して読み上げ機能を利用するかを設定します。
表示サイズとテキスト	画面に表示する文字のサイズや太さなどを変更したり、画面上のアイテムのサイズを設定します。
色と動き	色補正や色反転、ダークモード、アニメーションの無効化、マウスポインタの拡大の設定をします。
さらに輝度を下げる	設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くするかを設定します。
拡大	画面の拡大操作ができるようにするかを設定します。
タイミングの調節	長押しする時間 ロングタッチを感知するまでの時間を設定します。
	操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト) 操作が必要なメッセージが表示される時間を設定します。
	自動クリック(一定時間の静止) マウス使用時にポインタが停止したらクリック操作を行うようにするかを設定します。

システム操作	システムナビゲーション	ホーム画面の表示や、アプリの切り替え、1つ前の画面に戻るなどの操作方法を選択できます。 設定の種類と、それぞれの操作方法は次の通りです。 ジェスチャー ナビゲーション 画面の左端/右端からスワイプ(フリック): 1つ前の画面に戻る 画面の下部から上にスワイプ(フリック): ホーム画面を表示する 画面の下部から上にスライドし、ロングタッチ: 最近使用したアプリを表示する 3 ボタン ナビゲーション ◀(戻る): 1つ前の画面に戻る ◻(ホーム): ホーム画面を表示する ◻(最近): 最近使用したアプリを表示する
	片手モード	片手操作に画面を縮小するモードを設定します。
	電源ボタンで通話を終了	電源キーを押して通話を終了できるようにするかどうかを設定します。 通話中にスリープモードになった場合は、電源キーを押してスリープモードを解除してから電源キーを押すと通話を終了できます。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、縦/横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
	バイブレーションとハプティクス	着信音や通知音、アラーム音、操作音が鳴っているときに振動でもお知らせするかなどを設定します。
	字幕の設定	字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕の言語や文字サイズなどを設定したりします。
	音声による説明	対応する映画や番組にて、画面の表示内容の説明を読み上げるかどうかを設定します。
	音声の調整	モノラル音声 音声をモノラル再生するかどうかを設定します。 オーディオバランス ステレオ再生時の音声出力の左右バランスを調整します。
	ユーザー補助機能のショートカット	ユーザー補助機能ボタン ユーザー補助機能の設定をします。 ロック画面からのショートカット ロック画面で音量大キー/音量小キーを同時に数秒長押ししたときに、ユーザー補助機能を起動するかどうかを設定します。
	テキスト読み上げの設定	テキスト読み上げの設定を行います。 ▶P.73「テキスト読み上げの設定」

セキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]

2	Google Play プロテクト	本製品を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかを設定します。
	デバイスを探す	本製品の紛失時にリモートで本製品の位置を特定したり、ロックやデータ消去をしたりするかを設定します。
	セキュリティ アップデート	▶P.86「ソフトウェアを更新する」
	Google Play システムアップデート*	Google Play でシステムのアップデートを行います。
	セキュリティ解除方法	画面ロックの解除方法を設定します。 ・画面ロックなし、もしくは「スワイプ」「パターン」「暗証番号」「パスワード」のいずれかの解除方法から設定します。 ▶P.69「画面ロックの解除方法を設定する」
	指紋管理/FASTフィンガーランチャー	セキュリティ解除に使用する指紋の管理と指紋に紐づけて登録したアプリをロック解除と同時に起動するかを設定します。
	プライバシーモード	プライバシーを保つために、ホーム画面に表示されるアプリ、通知、着信をまとめて隠すかを設定します。
	arrows passport	ID(アカウント)やパスワードなど認証情報を登録して管理します。 ▶P.69「arrows passportを利用する」
セキュリティの詳細設定	Smart Lock	持ち運んでいたり、信頼できる場所にいる、信頼できるデバイスのそばにいたりするときに、自動的にロックを解除した状態にするかを設定します。 ▶P.69「Smart Lockを利用する」
	デバイス管理アプリ	デバイス管理アプリを有効にするかを設定します。
	SIM カードロック**	電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。 ▶P.70「SIMカードロックを設定する」
	暗号化と認証情報	スマートフォンの暗号化や認証情報、証明書を表示や管理などができます。
	信頼エージェント	Smart Lockなどの機能の信頼できるエージェントを管理します。
	利用アプリの固定	現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定します。 ▶P.70「利用アプリを固定する」

*1 Google アカウント設定時に表示されます。

**2 SIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]

2 認証操作

- ・初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3	なし	ロック画面を表示しないように設定します。
	スワイプ	スワイプ(フリック)でロックを解除するように設定します。
	パターン	最低4つの点を結びパターンでロックを解除するように設定します。
	暗証番号	暗証番号(4~16桁の数字)でロックを解除するように設定します。
	パスワード	パスワード(4~16桁の英数字と記号)でロックを解除するように設定します。

4 必要に応じて「セキュリティ解除方法」の[🔒]

- ・セキュリティ解除方法の設定により表示される項目は異なります。

パターンを表示する	画面ロック解除時のパターン入力時にパターンを表示するかを設定します。
画面消灯後からロックまでの時間	認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。
電源ボタンですぐにロックする	電源キーを押してすぐに画面ロックをかけるかを設定します。画面ロックを解除するには認証操作が必要です。

画面ロックをかける

セキュリティ解除方法を設定(▶P.69)した後に、電源キーを押してスリープモードにする、または自動的に画面が消灯してから「画面消灯後からロックまでの時間」で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- ・画面ロックを解除する場合は、電源キーを押してスリープモードを解除し、セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作を行います。
- 上記の方法で解除できない場合は、au Style/auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。ご利用可能にするためにはご購入時の状態に戻す(初期化する)必要があるため、メールや写真など、重要なデータについてはあらかじめデータをバックアップされることをおすすめします。

arrows passportを利用する

ID(アカウント)やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます(▶P.29)。

- ・あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります(▶P.69)。
- ・最大100件登録できます。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[セキュリティ]→[arrows passport]→認証操作

2 [新規登録]→各項目を設定→[完了]

- ・タイトルをタップすると各項目を編集できます。
- ・タイトルをロングタッチして画面下部のゴミ箱アイコンまでドラッグすると削除できます。
- ・タイトルをロングタッチして移動先までドラッグして並べ替えることができます。
- ・画面右上のメニューから「チュートリアル」をタップすると、機能説明を見られます。
- ・画面右上のメニューから「バックアップ/リストア」をタップすると、登録内容のバックアップや復元ができます。バックアップした内容は、OSのバージョンによっては正しくリストアできないことがあります。
- ・画面右上のメニューから「全件削除」をタップするとすべての登録内容を削除できます。

Smart Lockを利用する

外部機器からの接続時などで画面ロックを解除する方法について設定します。

- ・あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります(▶P.69)。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティの詳細設定]→[Smart Lock]→認証操作

2 各項目を設定

SIMカードロックを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティの詳細設定]→[SIM カードロック]
- 2 [SIM カードをロック]→PINコードを入力→[OK]

memo

- ◎ 初めてPINコードを入力する場合は、「1234」を入力してください。
- ◎ 設定を解除するには、手順2で「SIM カードをロック」をOFFにします。

PINコードを入力する

- 1 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→[●]

PINロックを解除する

PINコードがロックされた場合(PUKロック)は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- 1 コード入力画面でPINロック解除コード(PUK)を入力→[●]
- 2 新しいPINコードを入力→[●]
- 3 もう一度新しいPINコードを入力→[●]



PINコードを変更する

あらかじめPINコードを設定(「SIM カードをロック」をONにする)しておく必要があります。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティの詳細設定]→[SIM カードロック]
- 2 [SIM PINの変更]
- 3 現在のPINコードを入力→[OK]
- 4 新しいPINコードを入力→[OK]
- 5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

利用アプリを固定する

現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティの詳細設定]→[利用アプリの固定]
- 2 「アプリ固定機能を使用」をONにする→[OK]
- 3 固定したいアプリを起動
- 4 [□]→固定したいアプリのアイコンをタップ→[固定]→[OK]
 - ・アプリの固定を解除するには、「」(バック)と「」(履歴)を同時にロングタッチします。

memo

- ◎ 手順2で「解除時のセキュリティ認証」をONにすると、アプリの固定を解除するときにセキュリティ解除操作が必要になるように設定できます。

プライバシーの設定をする

1 設定メニュー画面→[プライバシー]

2	プライバシー ダッシュボード	権限を最近使用したアプリが表示されます。
	権限マネージャー	アプリの権限の設定を変更できます。
	パスワードの表示	暗証番号/パスワード入力時に入力した文字を表示するかを設定します。
	ロック画面上の通知	ロック画面にプライベートな内容の通知を表示するかを設定します。
	Android System Intelligence	交流したユーザー、操作したアプリやコンテンツに基づいて候補を表示します。
	アプリのコンテンツ	Android システムにコンテンツを送信することを、アプリに許可するかを設定します。
	クリップボードへのアクセスを表示	クリップボードにコピーしたテキストや画像などにアプリがアクセスすると、メッセージで通知するかを設定します。
	Google の自動入力サービス	Google アカウントに保存されているパスワードなどを自動で入力するかを設定します。
	Google ロケーション履歴	本製品を持って訪れた場所を保存するかを設定します。
	アクティビティ管理	ウェブとアプリのアクティビティを保存するかを設定します。
	広告	Google 広告のカスタマイズ設定を管理します。
	使用状況と診断情報	使用状況と診断情報を Google に自動的に送信するかを設定します。

位置情報の設定をする

1 設定メニュー画面→[位置情報]

2 「位置情報を使用」の[●]→ユーザーの同意画面の内容を確認して[同意する]

3	最近のアクセス	最近の位置情報データを使用したアプリやサービスが表示されます。
	すべて表示	最近の位置情報データを使用したすべてのアプリやサービスが表示されます。
	アプリへの位置情報の利用許可	位置情報を使用するアプリの権限を確認/変更します。
位置情報サービス	Google ロケーション履歴	Google ロケーション履歴の確認や変更をします。
	Google 位置情報の精度	Google 位置情報の精度を改善するかを設定します。
	Google 現在の共有機能	Google でリアルタイムに現在地情報を共有しているユーザーを表示します。
	地震アラート	地震アラートについて設定します。
	緊急位置情報サービス	緊急通報番号に発信するかメッセージを送信したときに、緊急位置情報サービス(ELS)から緊急通報の担当者に、位置情報を自動的に送信するかを設定します。
Wi-Fi スキャン	Wi-Fi [®] 機能がOFFの場合でも、Wi-Fi [®] ネットワークのスキャンを許可するかを設定します。	
Bluetooth のスキャン	Bluetooth [®] 機能がOFFの場合でも、Bluetooth [®] 機器のスキャンを許可するかを設定します。	

緊急情報と緊急通報の設定をする

1 設定メニュー画面→[緊急情報と緊急通報]

2	緊急時情報	緊急時の初期対応で役立つ血液型などの情報や、緊急時の連絡先を登録します。
	緊急 SOS	緊急SOSに関する設定を行います。
	緊急位置情報サービス	緊急通報番号に発信するかメッセージを送信したときに、緊急位置情報サービス(ELS)から緊急通報の担当者に、位置情報を自動的に送信するかを設定します。
	地震アラート	地震アラートについて設定します。
	緊急速報メール	緊急速報メールの履歴を確認したり、緊急速報メールの設定を行うことができます。
	運転中の通知をサイレントにする	通知などの割り込みを制限するため、運転中は自動的にマナーモードをオンにするかどうかを設定します。

arrowsオススメ機能

スライドイン機能やはっきり文字の設定などを行います。

- ・設定や利用するには、各項目の「設定する」や「使ってみる」などをタップしてください。

1 設定メニュー画面→[arrowsオススメ機能]

2	はっきり文字	文字やアイコンのサイズを自動で調整し、いつもはっきり見えるように設定します。
	Super ATOK ULTIAS	各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録(ユーザー辞書)や定型文の編集、設定の初期化などもできます。
	FAST Appドライブ	よく使うアプリを登録することで、アプリをすばやく起動することができます。 ▶P.71「FAST Appドライブを利用する」
	FASTフィンガーランチャー	登録した指紋に紐づくアプリを登録し、指紋認証と同時に登録したアプリを起動するように設定します。
	スライドイン機能	画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたり、画面を指でなぞって文字をコピーしたりできるように設定します。 ▶P.71「スライドイン機能を設定する」
	スマートセルフィー	ロック画面からポートレートですばやく起動します。
	FASTメモ	すばやくメモ(テキスト・音声)を登録したり、写真をメモとして保存することができます。 ▶P.54「FASTメモ」
	プライバシーモード	ホーム画面に表示されるアプリや通知、着信をまとめて隠すことでプライバシーを保つように設定します。
	arrows passport	ID(アカウント)やパスワードなど認証情報を登録して管理します。 ▶P.69「arrows passportを利用する」
	迷惑電話対策機能	迷惑電話に対応するための設定をします。 ▶P.71「迷惑電話対策機能を利用する」
	緊急時ブザー	緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らすことができます。 ▶P.71「緊急時ブザーを設定する」
	電池長持ち充電	充電量を抑えて電池の寿命を延ばすかどうかを設定します。
	診断サポート	本製品のお困りごとを診断し、解決をサポートします。
	洗い方とメンテナンス方法	本製品の洗い方とメンテナンス方法を確認できます。
	FASTウォレット	お店での支払いや、アプリの利用をスムーズにできます。 ▶P.54「FASTウォレット」
	FASTショッピング	FASTショッピングの使い方を確認できます。
	ゲームゾーン	快適にゲームをプレイするための各種設定やランチャー/ギャラリー機能が利用できます。
	オンラインコミュニケーションマネージャー	快適にオンラインコミュニケーションを行うための各種設定ができます。 ▶P.72「オンラインコミュニケーションマネージャーを利用する」
	シンプルモード設定	シンプルホーム、かんたんキーボード、かんたん電話、はっきり文字を有効にします。また、ナビゲーションバーを3ボタン式に設定します。 ・スライドイン機能はOFFになります。
	ジュニアモード	アプリや利用時間の制限を設定することができます。 ▶P.72「ジュニアモードを設定する」

FAST Appドライブを利用する

よく使うアプリを登録することで、アプリをすばやく起動することができます。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[FAST Appドライブ]の[設定する]

2 [⊕]→登録するアプリを選択

- ・アプリをタップすると、アプリの終了、登録の解除、アプリの変更ができます。
- ・アプリの右側に表示される「=」をドラッグして並べ替えることで、アプリの優先度を変更できます。

スライドイン機能を設定する

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたり、画面を指でなぞって文字をコピーしたりできるように設定します。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[スライドイン機能]の[設定する]

2 「スライドイン機能」の「○」をタップして●にする

3 各項目を設定

- ・「機能説明」をタップすると、スライドインランチャー、キャプメモ、なぞってコピー、FASTショッピングの使いかたを確認できます。



◎ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

迷惑電話対策機能を利用する

連絡先に登録していない相手から着信した場合、または連絡先に登録していない相手に発信した通話に還付金詐欺に関する内容が含まれていることを検出した場合は、通話を自動で録音することができます。着信時には特別な着信音でお知らせし、還付金詐欺の危険性を検出したときは通知音と警告表示でお知らせして、相手には通話を録音する旨の音声メッセージを流します。

- ・迷惑メモは1件あたり最長60分、最大50件録音されます。50件を超えると、保護されていない古い迷惑メモから順に上書きされます。残しておきたい迷惑メモは保護してください。
- ・還付金詐欺の危険性を検出した場合、1件あたりの録音時間は上限なしとなります。
 - ・割り込み通話の利用中は、次の動作になります。
 - 通話中に発信、および着信した場合、本機能は動作しません。
 - 迷惑メモ録音中に別の相手と通話をすると録音が中断されることがあります。
 - ・通話の内容によっては、迷惑電話であっても機能しない場合や、迷惑電話ではないのに誤って機能する場合があります。
 - ・還付金詐欺対策機能は、警視庁犯罪抑止対策本部からの助言を参考にFCNT株式会社が開発したものです。

迷惑電話対策機能のON/OFFを設定する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[迷惑電話対策機能]の[設定する]

2 [迷惑電話対策]

録音した会話を再生する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[迷惑電話対策機能]の[設定する]

2 [迷惑メモリスト]

3 迷惑メモを選択→[▶]

機能説明を確認する

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[迷惑電話対策機能]の[設定する]

2 [機能説明]



◎迷惑電話対策機能は、海外ではご利用できません。

緊急時ブザーを設定する



緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らすことができます(▶P.28)。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[緊急時ブザー]の[設定する]

2	自動音声電話発信	緊急時ブザーを鳴らしたときに、指定の番号に自動で電話をかけます。
	自動SMS送信	緊急時ブザーを鳴らしたときに、指定の番号に自動でSMSを送信します。 ・SMSの送信にはご契約に応じて料金がかかりますので、ご注意ください。
	発信先番号の登録	自動音声電話発信/自動SMS送信を行う電話番号を3件まで登録します。 ・緊急通報番号、SIP電話の番号は登録できません。

オンラインコミュニケーションマネージャーを利用する

快適にオンラインコミュニケーションを行うための各種設定ができます。



- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[オンラインコミュニケーションマネージャー]の[設定する]
- 2 「オンラインコミュニケーションマネージャー」の「」をタップしてにする

3 通知を抑制	通知の表示と通知音を抑制します。
着信時SMSで応答	電話の着信を行わずに、設定したメッセージを電話の発信元にSMSで返信します。
応答メッセージ	着信時にSMSで返信するメッセージを設定します。
省電力	画面の明るさやパフォーマンスを下げて、電池の消費を抑えます。
画面撮影タイマー	画面を撮影するためのタイマーを使用するかを設定します。
初期表示位置	オンラインコミュニケーションマネージャーの起動時の表示位置を設定します。
表示色	オンラインコミュニケーションマネージャーの表示色を設定します。
アプリを登録	オンラインコミュニケーションマネージャーを利用するアプリを登録します。初期状態では「Meet」が登録されています。

ジュニアモードを設定する

アプリや利用時間の制限を設定することができます。ジュニアモードをONにすると、初期状態では下記アプリケーションが「使用可能なアプリを選択する」にて、使用不可(チェックなし)となっています。

- ・小学生: カメラ、ドライブ、フォト、らくらくコミュニティ、Amazon ショッピング、Chrome、Facebook、FASTウォレット、FASTメモ、Google TV、Meet、News Suite、Photoshop Express、radiko+FM、YouTube、YouTube Music
- ・中学生: ドライブ、フォト、らくらくコミュニティ、Amazon ショッピング、Chrome、Facebook、FASTウォレット、Google TV、Meet、News Suite、YouTube
- ・高校生: フォト、らくらくコミュニティ、Chrome、Meet、News Suite、YouTube



- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]
- 2 「ジュニアモード」の[設定する]
- 3 パスワードを入力→パスワードを再入力
 - ・パスワードは4~16桁の英数字や記号が設定できます。
- 4 秘密の質問と答えを登録
- 5 保護者の電話番号を入力→保護者の電話番号を再入力
- 6 [小学生] / [中学生] / [高校生] → [OK]
 - ・「」をタップすると使用可能なアプリ、使用できない時間帯、1日の使用可能時間の上限を設定できます。
 - ・「」をタップするとパスワードの変更、保護者の電話番号の変更が確認できます。

memo

- ◎ アプリの使用を制限する際は、あんしんフィルター for auのアプリインストール制限を有効にしてください。使用不可に設定したアプリが解除される場合があります。
- ◎ ジュニアモードの設定を行うと、ホーム画面上のアプリの配置が変更されます。
- ◎ 設定後にジュニアモードをOFFにした際は、改めてアプリの配置を行ってください。
- ◎ ジュニアモード設定中に、全データを消去(出荷時リセット)を行うと、端末が初期化されて、ジュニアモードが解除されます(▶P.74)。
- ◎ バックグラウンドにて動作するアプリについては、制限時間になっても動作し続けます。

パスワードをリセットする

パスワードや秘密の質問を忘れた場合は、パスワード登録時に登録した電話番号から、本製品に特定の数字を入力したSMSを送信すると、パスワードがリセットできます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[ジュニアモード]の[設定する]→[忘れた場合]→[忘れた場合]
 - SMSに入力する特定の数字が文中に表示されます。
- 2 パスワード登録時に登録した電話番号から、手順1で確認した数字を入力してSMSを送信
 - ・パスワードのリセットはSMSでのみ利用可能です。
 - +メッセージを利用する場合は、メッセージ入力画面右上の /  → [SMSに切替]と操作しSMSに切り替えてから、メッセージを送信してください。

パスワードとアカウントの設定をする

- 1 設定メニュー画面→[パスワードとアカウント]
- 2

パスワード	パスワード マネージャーでパスワードを管理できます。
自動入力サービス	自動入力サービスの選択や設定ができます。
アカウントを追加	本製品で利用できる各種アカウントを追加します。 ▶P.72「アカウントを追加する」
アプリデータを自動的に同期する	アカウントのデータの同期を自動で行うかを設定します。
マイプロフィール	自分の名前や電話番号、メールアドレスなどを登録します。
自分から設定	健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報を設定します。

アカウントを追加する

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[パスワードとアカウント]
- 2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→画面の指示に従って操作
 - ・追加したアカウントを設定するには、アカウントを選択して各項目を設定します。

アカウントを削除する

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[パスワードとアカウント]
- 2 アカウントを選択→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

手動で同期する

- 1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[パスワードとアカウント]
- 2 アカウントを選択→[アカウントの同期]→[::]→[今すぐ同期]
 - ・同期を中止するには、同期中に「同期をキャンセル」をタップします。


システムの設定をする

1 設定メニュー画面→[システム]

2	言語と入力	▶P.73「言語と入力に関する設定をする」
動作	カメラをすばやく起動	電源キーを2回押すとカメラを起動するように設定します。ONにすると、どの画面からでもカメラを起動できるようになります。
	システム ナビゲーション	▶P.68「システム ナビゲーション」
	片手モード	片手操作用に画面を縮小するモードを設定します。
	電源ボタンを長押し	電源キーを長押ししたときの動作を設定します。
	着信音のミュート	電源キーと音量大キーを同時に押すと、着信音や通知音を鳴らさないようにするかを設定します。
歩数計	▶P.73「歩数計を利用する」	
日付と時刻	▶P.74「日付と時刻の設定をする」	
バックアップ	アプリのデータや本製品の設定などを、Google One にバックアップするかどうかを設定します。 Google One については下記のホームページをご参照ください。 https://one.google.com/about ・手動でバックアップする場合は「今すぐバックアップ」をタップします。	
システム アップデート	▶P.86「ソフトウェアを更新する」	
リセット オプション	Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット	Wi-Fi®、モバイルデータ、Bluetooth® の設定をリセットできます。
	アプリの設定をリセット	アプリの無効化やデフォルトのアプリの設定、バックグラウンドデータの制限、アプリの権限などをリセットできます。
	全データを消去(出荷時リセット)	▶P.74「本製品をリセットする」
ハードウェアのフィードバック	種別、設定や性能データを提供してハードウェアの改善に協力します。	
診断データ送信	詳細な診断データを提供して端末の品質改善に協力します。	

言語と入力に関する設定をする

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[システム]→[言語と入力]

2	言語	▶P.73「言語の表示を切り替える」
	アプリの言語	アプリごとに言語を設定します。
画面 キーボード	Gboard	▶P.30「文字入力の設定をする」
	Super ATOK ULTIAS	
	Google 音声入力	
物理 キーボード	画面キーボードの使用	本製品にキーボードを接続して文字を入力するとき、ソフトウェアキーボードも表示できるようにするかを設定します。
	キーボード ショートカット	本製品に接続したキーボードで使用できるショートカットを表示します。
音声入力	Google の音声サービスを設定します。	
テキスト読み上げの設定	優先するエンジン	テキスト読み上げエンジンの選択や設定を行います。 ・テキスト読み上げエンジンの設定をする場合は「  」をタップします。
	言語	テキスト読み上げの言語を設定します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	音の高さ	テキストを読み上げる音声の高さを設定します。
	再生	読み上げのサンプルを再生します。
	リセット	「音声の速度」「音の高さ」の設定を標準に戻します。
スペルチェック	スペルチェックを行うかどうかを設定します。	

単語リスト	スペルチェッカーアプリなどで使われる単語を追加できます。
ポインタの速度	マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。

言語の表示を切り替える

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[言語]

2 [言語を追加]→使用する言語を選択→必要に応じて国・地域を選択

3 使用する言語の「=」を最上段(「1」の位置)までドラッグ→[OK]

本製品が再起動して、使用する言語が切り替わります。

歩数計を利用する

歩数のカウントを開始するかを設定します。

- ・「歩数計利用」をONにすると、歩数情報を利用するアプリやウィジェットが使用できるようになります。
- ・「自分から設定」で身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます(▶P.72)。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[システム]→[歩数計]

2 「歩数計利用」の「」をタップしてにする

- ・全履歴を削除するには[歩数計の全履歴削除]→[実行]→[はい]と操作します。カウント中の歩数も含め、履歴がすべて削除されます。

歩数計ご利用時の注意事項

- ・歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して(キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる)毎分100~120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- ・正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行が本製品に伝わらない状態では、歩数のカウントが正確に行われなことがあります。
- ・次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
 - ・本製品を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本製品を腰やかばんにぶら下げたとき
 - ・すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
 - ・立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物(自転車、車、電車、バスなど)に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
 - ・歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- ・本製品に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントが正確に行われなことがあります。

memo

- ◎ 誤カウントを防ぐために歩行を始めかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- ◎ カウントした歩数は約60分ごとに保存されます。ただし、当日カウントされない歩数については、翌日補正されます。
- ◎ 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直す反映されます。
- ◎ 歩数の情報は本製品の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

日付と時刻の設定をする

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[システム]→[日付と時刻]

2 日時を自動的に設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
日付	日付を手動で設定します。
時刻	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的にタイムゾーンを設定します。
タイムゾーンの設定に位置情報を使用	タイムゾーンの設定に位置情報を使用します。
タイムゾーン	タイムゾーンを手動で設定します。
言語／地域で一般的な形式を使用する	「言語」(▶P.73「言語の表示を切り替える」)の設定に従って自動的に24時間表示にするかどうかを設定します。
24時間表示	24時間表示を手動で設定します。

memo

- ◎ 日付、時刻、タイムゾーン、24時間表示を手動で設定する場合、あらかじめ「日時を自動的に設定」「タイムゾーンを自動設定」「言語／地域で一般的な形式を使用する」をOFFにする必要があります。
- ◎ 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、「タイムゾーン」でタイムゾーンを設定してください。

本製品をリセットする

本製品をリセットすると、ダウンロードしたアプリを含むすべてのデータ、およびアカウントなどが削除され、本製品は初期状態に戻ります。

- ・ 必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。
- ・ 充電しながら行うか、電池が十分に充電された状態で行ってください。

1 ホーム画面で画面を上をスライド→[設定]→[システム]→[リセット オプション]→[全データを消去(出荷時リセット)]

2 [すべてのデータを消去]

必要に応じて画面ロックの解除方法(「パターン」/「暗証番号」/「パスワード」)を入力します。

3 [すべてのデータを消去]

「すべてのデータを消去」をタップすると本製品は自動的に再起動します。本製品の再起動または初期化中は、そのままお待ちください。

デバイス情報に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[デバイス情報]

2 デバイス名	本製品の名前を登録します。
電話番号	自分の電話番号が表示されます。
法的情報	サードパーティライセンスや Google 利用規約などを確認できます。
規制ラベル	本製品固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認証番号を含む)について確認できます。
SIM のステータス	バージョンや各種番号、SIMカードのステータスなどを確認できます。
モデルとハードウェア	
IMEI	
Android バージョン	
IP アドレス	
Wi-Fi MAC アドレス	
デバイスの Wi-Fi MAC アドレス	
Bluetooth アドレス	
稼働時間	
ビルド番号	

auのネットワークサービス

auのネットワークサービス	76
auのネットワークサービスについて	76
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	76
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	76
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	77
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	77
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	77
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	79
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	79
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	80
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	80

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス	参照先	
標準サービス	+メッセージ(SMS)	P.38
	着信お知らせサービス	P.76
	着信転送サービス	P.76
	発信番号表示サービス	P.77
	番号通知リクエストサービス	P.77
有料オプションサービス ^{*1}	お留守番サービスEX	P.77
	三者通話サービス	P.79
	割込通話サービス	P.79
	迷惑電話撃退サービス	P.80
	通話明細分計サービス	P.80

^{*1} 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップ/au Styleもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波が届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- ◎ 「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの無応答・話中転送を設定してください。
※ 有料オプションサービスにご契約されていない場合にも設定を行ってください。
- ◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が19桁以上の場合にはお知らせしません。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大100件です。
- ◎ 着信があつてから約168時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービス総合案内(▶P.77)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

memo

- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など、一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.77)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話通信事業者でも転送できない場合があります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客さまのご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 1 ホーム画面で[☎]→[●]→[1][4][2][2]→[●]
- 2 ガイダンスに従い転送先電話番号を入力
- 3 ガイダンスに従い操作

memo

◎ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]→[着信転送・お留守番サービス設定]
ホーム画面で[☎]→[●]→[1][4][2][4]→[●]→ガイダンスに従って転送先電話番号を入力→ガイダンスに従って操作しても設定できます。
- 2 [着信転送]
「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 3 [転送先番号]→転送先電話番号を設定→[設定]→[OK]

memo

◎ フル転送を設定している場合は、お客さまの本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを停止する

- 1 ホーム画面で[☎]→[●]→[1][4][2][0]→[●]

memo

◎ 着信転送サービスを停止すると、お留守番サービスも停止します。お留守番サービスを再度ご利用する方法は「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」(▶P.77)をご参照ください。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客さまの電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客さまの本製品のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客さまの電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客さまの電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

- ◎ 発信者番号(お客さまの電話番号)はお客さまの大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けてください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客さまの電話番号が表示されないことがあります。
- ◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由が本製品のディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Unknown)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[通話設定]

2 [発信者番号通知]→[発信者番号通知]→[番号を通知]

memo

- ◎ 電話をかけるときに、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定に関わらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」をONにしても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号通知」をOFFに設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直してほしいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービスEX(▶P.77)、着信転送サービス(▶P.76)、割込通話サービス(▶P.79)、三者通話サービス(▶P.79)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.80)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面で[☎]→[●]→[1][4][8][1]→[●]

memo

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客さまの電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ SMS
 - ・ その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面で[☎]→[●]→[1][4][8][0]→[●]

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.64)をONにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・ 本製品のご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・ お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.77)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで*1
お預かりできる件数	100件まで*2
1件あたりの録音時間	3分まで

*1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

*2 件数は伝言とボイスメール(▶P.78)の合計です。101件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番に関わりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 * お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

お留守番サービスEXに加入中の場合、総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 ホーム画面で[☎]→[●]→[1][4][1]→[●]

2 ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面で[☎]→[●]→[1][4][1][1]→[●]

memo

- ◎ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]→[着信転送・お留守番サービス設定]
ホーム画面で[📞]→[📞]→[1][4][1][2]→[🟢]と操作しても設定できません。
- 2 [お留守番サービス]
「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 3 [設定]→[OK]

memo

◎フル転送を設定している場合は、お客さまの本製品は呼び出されません。

お留守番サービスを停止する

- 1 ホーム画面で[📞]→[📞]→[1][4][2][0]→[🟢]

memo

◎お留守番サービスを停止すると、着信転送サービスも停止します。着信転送サービスを再度ご利用する場合は「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」(▶P.76)をご参照ください。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

- 1 お留守番サービスで留守応答
かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、お客さまが本製品から設定した応答メッセージで応答します(▶P.78「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2へ進むことができます。
- 2 伝言を録音
録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりししません。
- 3 「#」を押して録音を終了
録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
[1]: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
[9]: 録音した伝言を消去して、取り消す
[*]: 録音した伝言を消去して、録音し直す
- 4 電話を切る

memo

◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

- 1 ホーム画面で[📞]→[📞]→[1][6][1][2]+相手の方のau電話番号を入力→[🟢]
- 2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

memo

◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は100件です。
◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

- 1 ホーム画面で[📞]→[📞]→[1]をロングタッチ→[接続する]
ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[伝言メッセージを再生する]→[OK]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
- 2 ガイダンスに従ってキー操作
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
[1]: 同じ伝言をもう一度聞く
[7]: 再生済みの伝言をすべて消去
[9]: 伝言を消去
[0]: 伝言再生中の操作方法を聞く
[#]: 次の伝言を聞く
[*]: 前の伝言を聞く
- 3 [🔍]

memo

◎ホーム画面で[📞]→[📞]→[1][4][1][7]→[🟢]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.78)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

新しい応答メッセージの録音や、現在設定されている応答メッセージの内容の確認/変更などの設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面で[📞]→[📞]→[1][4][1][4]→[🟢]
■すべてお客さまの声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)
2 [1]→[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[🔍]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
■電話番号の代わりに読み上げるお客さまのお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)
2 [1]→[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[🔍]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
■設定/保存されている応答メッセージを確認する場合
2 [3]→応答メッセージを確認→[🔍]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
■蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)
2 [1]→[3]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[🔍]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[2]→[1]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って[1]→[4]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておく、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

詳しくは「応答メッセージの録音/確認/変更をする」(▶P.78)をご参照ください。

1 ホーム画面で[☰]→[●]→[1][6][1][0]→[●]

2 ガイダンスを確認→[●]



memo

- ◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- ◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面で[☰]→[●]→[1][6][1][1]→[●]

2 ガイダンスを確認→[●]



memo

- ◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(無条件)開始	1418
留守番転送設定(無条件)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号/PINコードについて」(▶P.13)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作



memo

- ◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送付できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で[☰]→[●]→[1][4][1][9][1]→[●]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [●]



memo

- ◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で[☰]→[●]→[1][4][1][9][0]→[●]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [●]

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力

電話番号入力画面で[☑]をタップして、通話履歴や連絡先から相手を選択することもできます。

2 [●]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、「●」をタップするとAさんとの通話に戻ります。

Bさんとの通話を保留にしてAさんとの通話に戻るには、「切り替え」をタップします。

4 [統合]

3人で通話できます。

「●」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。



memo

- ◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- ◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。



memo

- ◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。
- ただし、修理からのご返却時またはSIMカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[通話設定]→[割込通話サービス]→[割込通話サービス]の[●]をタップして●にする

ホーム画面で[☰]→[●]→[1][4][5][1]→[●]と操作しても開始できます。



memo

- ◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.77)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.80)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ 割込通話サービスを停止する

- 1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[通話設定]→[割込通話サービス]→[割込通話サービスの「●」をタップして▶にする
ホーム画面で[📞]→[🔴]→[1][4][5][0]→[🟢]と操作しても停止できません。

■ 割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

- 1 Aさんと通話中に「📞」が表示される
- 2 「📞」を上スワイプ(フリック)
「📞」を上スワイプ(フリック)した場合はAさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。

memo

- ◎ 一方の通話を保留中に、通話中の相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- ◎ 割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

■ 迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

■ 撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

- 1 ホーム画面で[📞]→[🔴]→[1][4][4][2]→[📞]

memo

- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客さまのご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・SMS

■ 登録した電話番号を全件削除する

- 1 ホーム画面で[📞]→[🔴]→[1][4][4][9]→[📞]

■ 通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計する通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

- 1 ホーム画面で[📞]→[🔴]→[1][3][1]+相手先電話番号を入力→[📞]
- 2 [📞]

memo

- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

海外利用	82
au世界サービスについて.....	82
海外利用に関する設定を行う	82
渡航先で電話をかける	82
渡航先で電話を受ける	82
お問い合わせ方法	83
海外でのご利用上の注意.....	83

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご利用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTS/LTEネットワークでご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- 特別な申し込み手続きや月額料の定額料は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
※新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。
ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話(発信)した翌々日よりご利用が可能です。
- ご利用可能な国、地域、料金、その他サービス内容などの詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/>

■ 海外でご利用のお客さま

渡航前に必ずご確認ください。

https://www.au.com/information/notice_mobile/global/



memo



- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、利用できるネットワークを検出して自動的に切り替えるように設定されています。

- 海外で電源を入れると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます。
- データ通信を行う場合は「データローミング」(▶P.82)をONに設定します。

データ通信を利用する

- 1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]
- 2 [SIM]
- 3 「データローミング」の「」をタップして  にする→[OK]



memo

- ◎ 5G NETまたは5G NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。

世界データ定額

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/>

海外ダブル定額

<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/>

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

- 1 ホーム画面で画面を上スライド→[設定]→[ネットワークとインターネット]
- 2 [SIM]
- 3 [優先ネットワークの種類]→[5G/4G/3G/GSM]/[4G/3G/GSM]のどちらかを選択
初期状態では「5G/4G/3G/GSM」に設定されています。






memo

- ◎ 5G NETにご加入されていない場合は、VoLTEをご利用できません。
- ◎ 「5G/4G/3G/GSM」に設定していても、「5G」エリア外では自動的に「4G」「3G」「GSM」のネットワークに切り替わります。
- ◎ VoLTEが利用できる国・地域についてはauホームページをご参照ください。
- ◎ 海外で通話やデータ通信の品質が悪い場合は、「3G/GSM」にすると改善されることがあります。ただし、日本国内では常時「5G/4G/3G/GSM」で利用してください。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/volte/>

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

- 1 ホーム画面で  → 
- 2 「0」をロングタッチ
「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。
- 3 相手の国番号を入力
- 4 地域番号(市外局番)を入力
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部例外もあります。
- 5 相手の電話番号を入力→ 

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

+ 81 (国番号) 3 (市外局番) 1234XXXX (相手の電話番号)

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合

+ 1 (国番号) 123 (市外局番) 456XXXX (相手の電話番号)



memo

- ◎ 電話をかける相手が日本の携帯電話の場合は、相手の渡航先に関わらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
- ◎ 一部の特番など、渡航先ではかけられない電話番号があります。
- ◎ 国番号についてはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/call/country-code/>

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。



memo

- ◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信通話料がかかります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間:24時間

1 ホーム画面で[☎]→[📞]

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[☎]

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>



◎ 渡航先でご利用いただけない場合、本製品を再起動することでご利用可能となる場合があります。

海外でのご利用上の注意

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはSIMカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.83)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客さまの負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているSIMカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.70)をご参照ください。

■ auのネットワークサービス(▶P.76)に関するご注意

- 次のサービスは、au世界サービス[VoLTE]利用中以外のご利用いただけません。「VoLTE」利用中であっても、渡航先の通信事情によりご利用いただけない場合があります。
 - 着信転送サービス(標準サービス)の無応答・話中転送
 - お留守番サービスEX(オプションサービス)
 - 三者通話サービス(オプションサービス)^{※1}
 - 割込通話サービス(オプションサービス)
 - 通話明細分計サービス(オプションサービス)
- 発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航して着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合があります。番号通知リクエストサービスは、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- 迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、au世界サービス[VoLTE]利用中以外には受信拒否リストへの登録ができません。また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。

※1 au世界サービス[VoLTE]利用中であっても、グラム・サイパンではご利用いただけません。

付録・索引

付録	86
ソフトウェアを更新する.....	86
故障とお考えになる前に.....	86
アフターサービス.....	87
遠隔操作サポート.....	87
位置検索サポート.....	87
SIMロック解除.....	87
周辺機器.....	88
主な仕様.....	88
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	88
Declaration of Conformity.....	89
Federal Communications Commission (FCC) Notice.....	89
FCC RF Exposure Information.....	89
輸出管理規制.....	90
知的財産権について.....	90
索引	91

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスやセキュリティ向上を実現し、最新の拡張機能を入手できます。
お客さまに、より快適に、本製品をご利用いただく為、ご購入後も機能・操作性・セキュリティの向上を目的として、定期的にソフトウェアの更新による品質向上を行っております。

ソフトウェア更新が必要な場合、本製品では、自動的に最新ソフトウェアを取得し、深夜時間帯にソフトウェア更新を実施する場合がございます。ソフトウェアの更新を行わない場合は、インターネット上のウイルスなどに感染する危険が高まったり、機能の改善や不具合の修正が反映されないうままとなりますため、常に最新のソフトウェアに更新してご使用ください。

■ ご利用上のご注意

- モバイルデータ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生しますので、ご自宅等のWi-Fi®環境がご利用可能な場合はWi-Fi®回線へ接続した上で、ソフトウェア更新することをお勧めします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客さまにご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップ/au Styleもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客さまに、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗することがあります。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップ/au Styleもしくはトヨタ au取扱店(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

Wi-Fi®回線を利用したインターネット経由で、本製品の設定メニューから直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面で画面を上へスライド→[設定]→[システム]→[システム アップデート]

以降は画面の指示に従って操作してください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、使い方サポートアプリのかんたん診断をお試しください。

■ **かんたん診断**は使い方サポートアプリから無料でご利用可能です。診断結果に応じた解決方法もご確認いただけます。使い方サポートアプリのDLはこちらから。
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.kddi.newsupport&hl=ja>



* 使い方サポートアプリの[診断]→[かんたん診断]

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？ 電源キーを2秒以上長押ししていますか？	P.18 P.18
画面が動かなくなり、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に電源キーと音量大キーを同時に8秒以上長押しし、画面が消灯した後に指を離すと強制的に電源を切ることができます。 電源キーと音量大キーを同時に32秒以上長押しし、起動画面が表示された後に指を離すと強制的に再起動させることができます。 <small>※ 強制的に電源を切ったり、再起動させたりする操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。</small>	P.18
電話がかかけられない	SIMカードが挿入されていますか？ 電話番号が間違っていないですか？(市外局番から入力していますか？) 「機内モード」が設定されていませんか？	P.17 P.32 P.64
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？ サービスエリア外にいませんか？ 「機内モード」が設定されていませんか？ 着信転送サービスが設定されていませんか？	P.24 P.24 P.64 P.76
キー/タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？ 画面ロックが設定されていませんか？ 電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.18 P.69 P.18
おサイフケータイ®が使えない	内蔵電池は充電されていますか？ NFC機能をOFFにしていますか？ 「画面ロック中はロック」を設定していませんか？ 画面ロックを解除してください。 本製品のマークがある位置をリーダー/ライターにかざしていますか？	P.18 P.50 P.50 P.50
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。 爪の先で操作したり、異物を操作面にのせたまま操作したりしていませんか？	P.22 P.22
充電ができない	指定の充電用機器(別売)は正しく取り付けられていますか？	P.18
電池を利用できる時間が短い	内蔵電池が寿命となっていないですか？ [] (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.10 P.24
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？ 明るさ/近接センサーをふさいだり、明るさ/近接センサーの上にシールなどを貼り付けたりしていませんか？	P.66 P.16
相手の方の音が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？ 受話口を耳でふさいでいませんか？ 受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.32 P.16
画面をタップしたとき/キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	—
「SIM カードなし」と表示される	SIMカードが挿入されていますか？	P.17
microSDメモリーカードを認識しない	microSDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？ microSDメモリーカードのマウントが解除されていませんか？	P.56 P.57

『オンラインマニュアル』またはauホームページ掲載の『取扱説明書 詳細版』の「故障とお考えになる前に」もあわせてご覧ください。

<https://www.au.com/online-manual/fcg01/>
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

アフターサービス

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客さまが新規ご購入された日より1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客さまへ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
 - ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤ 地震、風水害などの天災および火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害および損失利益に関しては負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者および、それ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

au/ UQ mobileの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、au/ UQ mobileホームページをご確認ください。

- auをご契約のお客さま
<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>
- UQ mobileをご契約のお客さま
<https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/repair/>

※ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカード(SIMカード)について

au ICカード(SIMカード)は、auからお客さまにお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップ/ au Styleもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

遠隔操作サポート

遠隔操作サポートを利用する

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客さまのスマートフォンの画面を共有し、お客さまの操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

- ご利用にあたっては使い方サポートまたは、auスマートサポート、auスマートパスプレミアム、auスマートパス、故障紛失サポート等のいずれかにご加入いただくことでご利用いただけます。

詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/support/support-enkaku/>

1 お客さまセンター、使い方サポートセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパスプレミアム・auスマートパス会員は局番なしの157番（au電話から・通話料無料）、

☎0077-7-111（一般電話から・通話料無料）までご連絡ください。

使い方サポート会員は、専用アプリからご予約、または☎0120-984-955（一般電話から・通話料無料）までご連絡ください。

auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 オペレーターの指示に従って操作

位置検索サポート

位置検索サポートを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客さまのパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索をすることができます。

本製品を遠隔操作で位置検索する場合は、auスマートサポート、auスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポート、安心サポートパック等のいずれかへの加入が必要です。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した位置情報に起因する損害および逸失利益に関して、その原因の内容に関わらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

また、サービスエリア内でも地下街など、電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

SIMロック解除

本製品にはSIMロックはされておりません。

他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA) (別売)
- TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA) (別売)
- MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA) (別売)
- auキャリングケースGブラック(0106FCA) (別売)



memo

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。商品によってはお取り扱いを終了している場合がございます。
<https://onlineshop.au.com/>

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	約5.7インチ、TFT、約1,677万色 1,520×720ドット	
重量	約172g	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約71mm×147mm×9.4mm(最厚部10.2mm)	
内蔵メモリ容量	ROM:約64GB RAM:約4GB	
外部メモリ	microSDメモ리카ード 2GBまで対応 microSDHCメモ리카ード 32GBまで対応 microSDXCメモ리카ード 1TBまで対応 (2023年3月現在)	
カメラ画素数	メインカメラ:有効画素数 約1,310万画素/約190万画素 フロントカメラ:有効画素数 約500万画素	
連続通話時間	国内	約1,770分
	海外(GSM)	約910分
連続待受時間	国内	約660時間
	海外(GSM)	約500時間
充電時間	TypeC共通ACアダプタ01(別売)使用時:約230分 TypeC共通ACアダプタ02(別売)使用時:約190分	
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台	
ネットワーク環境	無線LAN(Wi-Fi®) 機能IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠*1	
Bluetooth®機能	通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver.5.1に準拠
	出力	Bluetooth®標準規格 Power Class 1
	通信距離*2	見通しの良い状態で約10m以内
	対応 Bluetooth®プロファイル*3	HSP、HFP、PBAP*4、A2DP*5、AVRCP、SPP、OPP、HID、HOGP、PAN-NAP、PANU
	使用周波数帯	2.4GHz帯(2,400MHz~2,483.5MHz)

- *1 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。
- *2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
- *3 Bluetooth®機器どうしの使用目的に応じた仕様のごとで、Bluetooth®標準規格で定められています。
- *4 連絡先データの内容によっては、相手の機器で正しく表示されない場合があります。
- *5 音声コーデックAAC、Qualcomm® aptX™、aptX HD、aptX Adaptive、LDAC™、SBCに対応しています。



memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種FCG01の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は1.485W/kg*2、身体に装着した場合のSARの最大値は0.571W/kg*2です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

*1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

*2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ:
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ:
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- auのホームページ:
<https://www.au.com/mobile/product/sar-list/>
- FCNTの製品情報ページ:
<https://www.fcnt.com/support/sar/#anc-02>

Declaration of Conformity

Trade Mark: arrows
 Model Name: FCG01
 Hereby, FCNT LIMITED declares that the RE product of "FCG01" is in compliance with RED 2014/53/EU.
 The full text of the EU DoC is available at the following internet address:
<https://www.fcnt.com/support/ce/#anc-02>

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR¹ limits² for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR¹ value, when tested for compliance against the standard was 0.43 W/kg³ for HEAD and 0.97 W/kg³ for BODY. While there may be differences between the SAR¹ levels of various phones and at various positions, they all meet⁴ the EU requirements for RF exposure.

- *1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
- *2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.
- *4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type/Description	Transmitter Frequency	Maximum Output Power
GSM	GSM900	880-915MHz
	DCS1800	1710-1785MHz
UMTS	FDD 1	1920-1980MHz
LTE	FDD 1	1920-1980MHz
	FDD 3	1710-1785MHz
	FDD 28	703-733MHz
	TDD 42	3400-3600MHz
WLAN 2.4GHz	IEEE 802.11b	2400-2483.5MHz
	IEEE 802.11g	2400-2483.5MHz
	IEEE 802.11n	2400-2483.5MHz
WLAN 5GHz	IEEE 802.11a	5150-5350MHz
		5470-5725MHz
	IEEE 802.11n	5150-5350MHz
		5470-5725MHz
	IEEE 802.11ac	5150-5350MHz
	5470-5725MHz	
Bluetooth	Bluetooth	2400-2483.5MHz
RFID	NFC	13.56MHz
		-19.1dBμA/m at 10m

The manufacturer of this product is FCNT LIMITED with its registered place of business at 7-10-1 Chuurinkan, Yamato-shi, Kanagawa 242-0007, Japan.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions :
 - ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network.

In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone. Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 1.08 W/kg*, and when worn on the body, is 0.90 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID 2AYY9FMP186). For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates,

uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on,

the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客さまの責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- ☎はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。
- LDACおよびLDACロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「おサイフケータイ」および「おサイフケータイ」ロゴは、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。
- Amazon, Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。
- TELASAおよびTELASAロゴは、TELASA株式会社の商標または登録商標です。
- InstagramおよびInstagramロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- MessengerおよびMessengerロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google, Android, Google Play, YouTube、およびその他のマークはGoogle LLCの商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、FCNT株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- 「UD新ゴNT」は、株式会社モリサフより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
「UD新ゴNT」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi, Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance, WMM, Wi-Fi CERTIFIED, Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA, WPA2, WPA3, Wi-Fi Enhanced Open, Wi-Fi Direct, MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「Vidhance® and Vidhance® Live Auto Zoom™」はMINT Image Intelligence AB社の商標です。
- Adobe, Adobe Photoshop Express, およびAdobe Photoshop Expressロゴは、Adobe(アドビ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。



■ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の一部分に、ArcSoft, Inc.が開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客さまが個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客さまにより符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り)を復写するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com>をご参照ください。

■ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアにFCNT株式会社が必要な変更を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。

当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面上にフリック→[設定]→[デバイス情報]→[法的情報]→[サードパーティ ライセンス]をご参照ください。

オープンソースライセンスに基づきFCNT株式会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。

<https://www.fcnt.com/support/develop/>

索引

記号/数字/アルファベット

+メッセージ(SMS).....	38
グループ.....	38
公式アカウントを登録.....	38
作成.....	38
設定.....	38
送信.....	38
ブロックリスト.....	39
利用方法の確認.....	38
連絡先を登録.....	38
5G/4G/GPS/Wi-Fi®/Bluetooth®アンテナ部..	16
5G/4Gアンテナ部.....	16
5G NET.....	42
5G NET for DATA.....	42
ACアダプタ.....	18
arrowsオススメ機能.....	71
arrows passport.....	71
FAST Appドライブ.....	71
FASTショッピング.....	71
FASTフィンガーランチャー.....	71
FASTメモ.....	71
Super ATOK ULTIAS.....	71
洗い方とメンテナンス方法.....	71
オンラインコミュニケーションマネージャー.....	71
緊急時ブザー.....	71
ゲームゾーン.....	71
ジュニアモード.....	71
診断サポート.....	71
シンプルモード設定.....	71
スマートセルフィー.....	71
スライドイン機能.....	71
電池長持ち充電.....	71
はっきり文字.....	71
プライバシーモード.....	71
迷惑電話対策機能.....	71
au国際電話サービス.....	32
auのネットワークサービス.....	76
英語ガイドンス.....	79
遠隔操作サービス.....	79
応答メッセージ.....	78
お留守番サービスEX.....	77
お留守番サービス総合案内.....	77
三者通話サービス.....	79
蓄積停止.....	79
蓄積停止解除.....	79
着信お知らせサービス.....	76
着信転送サービス.....	76
通話明細分計サービス.....	80
伝言お知らせ.....	78
伝言の録音.....	78
日本語ガイドンス.....	79
発信番号表示サービス.....	77
番号通知リクエストサービス.....	77
フル転送.....	76,78
ボイスメール.....	78
ボイスメールの録音.....	78
無応答・話中転送.....	76,77
迷惑電話撃退サービス.....	80
留守伝言再生.....	78
割込通話応答.....	80
割込通話サービス.....	79
auメール.....	36
迷惑メールフィルター.....	36
利用方法の確認.....	36
Bluetooth®.....	60
起動.....	60
バスキー.....	60
ペア設定.....	60
Bluetooth®アンテナ.....	16
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能の注意事項.....	13
Chrome.....	42
画像ダウンロード.....	43
タブ.....	42
テキスト検索.....	42
テキストコピー.....	43
ブックマーク.....	43
履歴.....	43
履歴削除.....	43
リンク.....	43
FAST Appドライブ.....	71
FASTウォレット.....	54
FASTメモ.....	54
FeliCa®.....	50
Gmail.....	39

作成.....	39
受信.....	39
送信.....	39
Google.....	64
Google Play.....	52
Google アカウントのセットアップ.....	19
Google 音声検索.....	25
GPSアンテナ.....	16
microSDメモリーカード.....	56
取り付け.....	56
取り外し.....	57
フォーマット.....	57
microSDメモリーカード/SIMカード挿入口.....	16
My au.....	51
My UQ mobile.....	51
NFC.....	50
画面ロック中はロック.....	13
PINコード.....	13
PINロック解除コード.....	13
radiko+FM.....	53
SAR.....	88
SIMカード.....	16,17
取り付け.....	17
取り外し.....	17
SIMカードロック.....	70
SIMロック解除.....	87
UQ mobileメール.....	37
初期設定.....	37
迷惑メールフィルター.....	37
USB Type Cケーブルでパソコンと接続.....	57
USB Type-C接続端子.....	16
VPN.....	65
Wi-Fi®.....	61
起動.....	61
接続.....	61
設定.....	61
設定を削除.....	61
Wi-Fi®アンテナ.....	16

あ

アイコン.....	24
ステータスアイコン.....	24
通知アイコン.....	24
アウトカメラ.....	16
アカウント追加.....	72
明るさ/近接センサー.....	16
アフターサービス.....	87
アプリ.....	23,52,65
アプリ一覧.....	46
アンインストール.....	52
インストール.....	52
管理.....	52
最近開いたアプリ.....	65
使用されていないアプリ.....	65
提供元不明のアプリ.....	52
デフォルトのアプリ.....	65
特別なアプリアクセス.....	65
利用時間.....	65
アプリ画面.....	23
アプリの管理.....	65
アプリの権限.....	14
暗証番号.....	13
あんしんフィルター for au.....	51
安全上のご注意.....	6
位置検索サポート.....	87
位置情報.....	70
Bluetooth のスキャン.....	70
Google 位置情報の精度.....	70
Google 現在の共有機能.....	70
Google ロケーション履歴.....	70
Wi-Fi スキャン.....	70
アプリへの位置情報の利用許可.....	70
緊急位置情報サービス.....	70
最近のアクセス.....	70
イミテーションコール.....	28
イヤホン接続.....	19
インカメラ.....	16
インターネット.....	42
ご利用データ通信料.....	42
データ通信.....	42
ウィジェット.....	23
削除.....	23
追加.....	23
英語ガイドンス.....	79
遠隔操作サポート.....	87
おサイフケータイ®.....	50
ご利用上の注意.....	50
音.....	67
アラームの音量.....	67
画面ロックの音.....	67

サイレントモード.....	67
充電時の音とバイブレーション.....	67
ダイヤルパッドの操作音.....	67
タッチ操作音.....	67
着信音.....	67
着信音と通知の音量.....	67
着信音ミュート用のショートカット.....	67
着信のバイブレーション強度.....	67
通知時のバイブレーション強度.....	67
通話の音量.....	67
デフォルトのアラーム音.....	67
デフォルトの通知音.....	67
バイブレーションとハブティクス.....	67
バイブレーション モードのときにアイコンを常に表示.....	67
メディア.....	67
メディアの音量.....	67
音設定.....	67
音声検索.....	25
オンラインコミュニケーションマネージャー.....	72
音量小キー.....	16
音量大キー.....	16

か

海外利用.....	82
VoLTEを有効.....	82
お問い合わせ方法.....	83
注意事項.....	83
データ通信.....	82
各部の名称.....	16
カメラ.....	47
Live Auto Zoomで撮影する.....	48
QRコードを読み取る.....	49
撮影画面.....	47
撮影設定.....	48
静止画を撮影する.....	48
動画を撮影する.....	48
画面の自動回転.....	25
画面ロック.....	69
画面ロック解除.....	19
画面ロック中はロック.....	50
かんたんお引越し.....	54
機内モード.....	64
キャブメモ.....	28
緊急時ブザー.....	28
緊急時ブザー設定.....	71
緊急情報と緊急通報.....	70
運転中の通知をサイレントにする.....	70
緊急 SOS.....	70
緊急位置情報サービス.....	70
緊急時情報.....	70
緊急速報メール.....	70
地震アラート.....	70
クイック検索ボックス.....	25
くっきり表示.....	67
携帯電話機の比吸収率.....	88
携帯電話をリセット.....	74
ゲームゾーン.....	54
言語と入力.....	73
画面キーボード.....	73
スペルチェック.....	73
単語リスト.....	73
テキスト読み上げの設定.....	73
物理キーボード.....	73
ポインタの速度.....	73
言語表示切替.....	73
検索.....	25
国際電話.....	32,82
故障とお考えになる前に.....	86
故障紛失サポート.....	87

さ

再起動.....	18
最近使用したアプリ.....	23
サイレントモード.....	66
システム.....	73
言語と入力.....	73
システムアップデート.....	73
診断データ送信.....	73
動作.....	73
バックアップ.....	73
日付と時刻.....	73
リセット オプション.....	73
自分の連絡先.....	33
指紋センサー.....	16
指紋認証機能.....	27
登録.....	27
認証.....	27
充電.....	18

ACアダプタを使う.....	18
パソコンを使う.....	18
周辺機器.....	88
修理.....	87
デュオモード.....	72
受話口.....	16
仕様.....	88
ショートカット.....	23
削除.....	23
追加.....	23
初期設定.....	19
Google アカウント.....	19
スクリーンショット.....	26
ステータスバー.....	24
ステレオイヤホン端子.....	16
ストレージ.....	66
SDカード.....	66
このデバイス.....	66
ストレージ(保存領域).....	56
スピーカー.....	16
スライドイン機能.....	28
スライドイン機能設定.....	71
スライドインランチャー.....	28
スリープモード.....	19
静止画再生.....	49
セカンドマイク.....	16
セキュリティ.....	69
arrows passport.....	69
Google Play システムアップデート.....	69
Google Play プロテクト.....	69
SIM カードロック.....	69
Smart Lock.....	69
暗号化と認証情報.....	69
指紋管理/FASTフィンガーランチャー.....	69
信頼エージェント.....	69
セキュリティ アップデート.....	86
セキュリティ解除方法.....	69
デバイス管理アプリ.....	69
デバイスを探す.....	69
プライバシーモード.....	69
利用アプリの固定.....	69
接続済みのデバイス.....	65
Android Auto.....	65
Bluetooth®.....	65
Chromebook.....	65
NFC/おサイフケータイ設定.....	65
新しいデバイスとペア設定.....	65
印刷.....	65
キャスト.....	65
ニアバイシェア.....	65
設定メニュー.....	64
送話口.....	16
ソフトウェア更新.....	86
ダウンロード.....	86
注意事項.....	86
た.....	22
タッチパネル.....	22
タッチパネル操作.....	22
スライド.....	22
スワイプ.....	22
タップ.....	22
ダブルタップ.....	22
ドラッグ.....	22
ピンチ.....	22
フリック.....	22
ロングタッチ.....	22
縦横表示切替.....	25
着信履歴.....	32
通知.....	66
アプリアイコン上の通知ドット.....	66
アプリの設定.....	66
会話.....	66
拡張通知.....	66
機密性の高い通知.....	66
緊急速報メール.....	66
サイレントモード.....	66
ステータスバーにサイレント通知を表示しない.....	66
通知のスヌーズを許可.....	66
通知履歴.....	66
デバイスとアプリの通知.....	66
バブル.....	66
ロック画面上の通知.....	66
通知パネル.....	24
通話音量.....	32
通話設定.....	68
クイック返信.....	68
国際ダイヤルアシスト.....	68
着信転送・お留守番サービス.....	68
通話音声の自動調整.....	68
通話時間アラーム.....	68
電源ボタンで通話を終了.....	68
伝言メモ.....	68
発信者番号通知.....	68
プレフィックス設定.....	68
ブロック中の電話番号.....	68
迷惑電話対策.....	68
劃込通話サービス.....	68
通話履歴.....	32
ディスプレイ.....	16
データ.....	57
コピー/移動.....	57
初期化.....	74
複数選択.....	26
データ通信料についてのご注意.....	14
テザリング.....	62
Bluetooth®テザリング.....	62
USBテザリング.....	62
Wi-Fi®テザリング.....	62
イーサネットテザリング.....	62
デバイス情報.....	74
Android バージョン.....	74
Bluetoothアドレス.....	74
IMEI.....	74
IP アドレス.....	74
SIM のステータス.....	74
Wi-Fi MAC アドレス.....	74
稼働時間.....	74
規制ラベル.....	74
デバイスの Wi-Fi MAC アドレス.....	74
デバイス名.....	74
電話番号.....	74
ビルド番号.....	74
法的情報.....	74
モデルとハードウェア.....	74
電源キー.....	16
電源を入れる/切る.....	18
伝言メモ.....	33
電池の最適化.....	65
電話.....	32
応答.....	32
国際電話.....	32
スピーカー.....	32
着信.....	32
着信拒否.....	33
伝言メモ.....	33
発信.....	32
ハンズフリー.....	32
ミュート.....	32
メッセージ送信.....	33
動画再生.....	49
時計.....	53
取り扱い上のご注意.....	9
日時を自動的に設定.....	74
表記方法.....	1
表示の設定.....	66
明るさの自動調節.....	66
明るさのレベル.....	66
画面消灯.....	66
画面の自動回転.....	66
くっきり表示.....	66
シンプルホーム設定.....	66
シンプルモード設定.....	66
スクリーンセーバー.....	66
ダークモード.....	66
表示サイズとテキスト.....	66
フォント.....	66
ブルーライトカットモード.....	66
持っている間ON.....	66
ロック画面.....	66
ファイルの利用.....	57
フォト.....	49
表示.....	49
フォルダ.....	23
アイコン移動.....	23
削除.....	23
追加.....	23
名称変更.....	23
不在着信履歴.....	32
ブックマーク.....	43
登録.....	43
開く.....	43
プライバシー.....	70
Google の自動入力サービス.....	70
Google ロケーション履歴.....	70
アクティビティ管理.....	70
クリップボードへのアクセスを表示.....	70
権限マネージャー.....	70
広告.....	70
使用状況と診断情報.....	70
パスワードの表示.....	70
プライバシー ダッシュボード.....	70
ロック画面上の通知.....	70
フラッシュ.....	16
分割画面.....	26
防水/防塵性能に関するご注意.....	11
防犯ツール.....	28
ホーム画面.....	22
アイコン移動.....	23
ウィジェット.....	23
ショートカット.....	23
設定.....	23
ドック.....	22
フォルダ.....	23
歩数計.....	73
ま.....	16
マイク.....	16
マナーモード.....	25
ミュート.....	32
銘板プレート.....	16
迷惑電話対策機能.....	71
メール.....	36
+メッセージ(SMS).....	36,38
auメール.....	36
Gmail.....	36,39
UQ mobileメール.....	36,37
メニュー表示.....	26
メモリ.....	57
文字入力.....	29
QWERTY.....	29
切り取り.....	30
コピー.....	30
設定.....	30
ソフトウェアキーボード.....	29
テンキー.....	29
入力方法.....	29
貼り付け.....	30
編集メニュー.....	30
モバイルネットワーク.....	64
4G回線による通話.....	64
SIM を使用.....	64
アクセス ポイント名.....	64
アプリのデータ使用量.....	64
データ使用量等の表示.....	64
データ使用量の警告と制限.....	64
データローミング.....	64
ネットワークを自動的に選択.....	64
ネットワークを選択.....	64
モバイルデータ.....	64
優先ネットワークの種類.....	64
な.....	28
なぞってコピー.....	28
日本語ガイドス.....	79
ネットワークとインターネット.....	64
VPN.....	64
アクセスポイントとテザリング.....	64
インターネット.....	64
機内モード.....	64
通話とSMS.....	64
データセーバー.....	64
プライベートDNS.....	64
は.....	72
パスワードとアカウント.....	72
発信履歴.....	32
バッテリー.....	66
5G通信の最適化.....	66
自動調整バッテリー.....	66
電池長持ち充電.....	66
電池の性能.....	66
バッテリー.....	66
バッテリー残量.....	66
バッテリー使用量.....	66
バッテリーセーバー.....	66
パネルスイッチ.....	25
日付と時刻.....	74
24時間表示.....	74
言語/地域で一般的な形式を使用する.....	74
時刻.....	74
タイムゾーン.....	74
タイムゾーンの設定に位置情報を使用.....	74
タイムゾーンを自動設定.....	74
日付.....	74

や

ユーザー補助	68
オーディオ バランス	68
拡大操作	68
片手モード	68
画面の自動回転	68
さらに輝度を下げる	68
システム ナビゲーション	68
自動クリック(一定時間の静止)	68
字幕の設定	68
操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)	68
テキスト読み上げの設定	68
電源ボタンで通話を終了	68
長押しする時間	68
バイブレーションとハプティクス	68
モノラル音声	68
ユーザー補助機能ボタン	68
ロック画面からのショートカット	68

ら

ライト	16
らくらくコミュニティ	53
ラジオ	53
ララしあコネクト	53
リセット	74
連絡先	33
削除	33
自分の電話番号	33
電話をかける	33
登録	33
編集	33
連絡先画面	33

auサポート

アプリ・Web サイト

■ My auアプリ

ご利用料金、ポイント、ご契約内容などの確認や、各種お手続きができます。

※povoをご利用のお客さまは、povo2.0アプリ/povo1.0アプリでのご確認になります。



ダウンロードは
コチラ



■ auサポート (web)

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/Gf9>



メッセージ

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！

AIが24時間素早く回答、アドバイザーが詳しくお応えします。

URL <http://kddi-l.jp/Bz6>



電話

お問い合わせ内容ごとの直通番号を au ホームページで
ご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/NuR>



UQ mobileサポート

アプリ・Web サイト

■ My UQ mobile (アプリ)

データ残量、ご請求額、各種サービスの加入状況を確認できます。
通信モードの切り替えもワンタッチです。



ダウンロードは
コチラ



■ UQ mobileサポート (web)

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/jQX>



チャット

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！

AIが24時間素早く回答、アドバイザーが詳しくお応えします。

URL <http://kddi-l.jp/j9z>



電話

お客さまに最適なお問い合わせ先を UQ mobile
ホームページでご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/aIt>



故障紛失サポート会員向けサービス

故障紛失サポートセンター (年中無休 / 通話料無料)

au携帯電話 / UQ mobile / 一般電話から

故障相談・交換用電話機お届けサービス受付
(受付 9:00~20:00)

 0120-925-919



やめましょう、
歩きスマホ。



有害サイトから
子供を守る！




キケン！
水ぬれ充電

濡れた状態で充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用
するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・
充電器を、ブランド・メーカーを問わず  マークのあるお
店で回収し、リサイクルを行っています。



あぶない！
電池への衝撃

衝撃や過度な外圧を加えると、電池
の破損・変形等により発煙・発火等
の原因となり大変危険です。